



第79回国民スポーツ大会



相撲競技会



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA 輝く国スポ

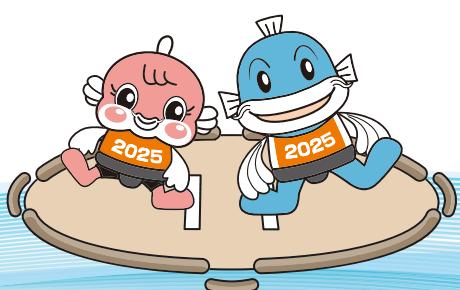
会期 令和7年9月29日(月)~10月1日(水)

会場 県民共済ドーム長浜

主催: 公益財団法人日本スポーツ協会

文部科学省／滋賀県

公益財団法人日本相撲連盟／長浜市



国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストレーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャッフィー

どんぐさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャッフィー

「キャッフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャッフィー」に教えてもらっています。

「キャッフィー」と「チャッフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目 次

あいさつ	公益財団法人日本スポーツ協会会長	遠 藤 利 明	・ ・ ・ ・ 1
あいさつ	文部科学大臣	あ べ 俊 子	・ ・ ・ ・ 2
あいさつ	公益財団法人日本相撲連盟会長	豊 田 章 男	・ ・ ・ ・ 3
歓迎のことば	滋賀県知事	三 日 月 大 造	・ ・ ・ ・ 4
歓迎のことば	長浜市長	浅 見 宣 義	・ ・ ・ ・ 5
歓迎のことば	滋賀県相撲連盟会長	八 田 憲 児	・ ・ ・ ・ 6
規 程			
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程			・ ・ ・ ・ ・ 7
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程			・ ・ ・ ・ ・ 8
役 員			
大会役員	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	9
競技会役員	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	13
競技役員	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	15
競技補助員	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	17
競技会係員	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	18
競技会補助員	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	19
実施要項等			
相撲綱領	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	21
国スポの競技方法・ドーピング検査	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	22
総則	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	23
相撲競技会実施要項	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	42
競 技			
競技日程	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	45
都道府県別参加人員	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	46
相撲競技の見方	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	47
第1日目			
開会行事	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	49
少年男子参加監督・選手一覧表	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	50
少年男子団体予選対戦表	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	58
少年男子団体予選勝数得点表	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	64
少年男子団体予選同点決勝戦対戦表	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	65

第2日目

少年男子団体決勝トーナメント戦組合せ表	67
少年男子団体決勝トーナメント戦対戦表	68
少年男子個人決勝トーナメント戦組合せ表	70
少年男子表彰式	71
成年男子参加監督・選手一覧表	72
成年男子団体予選対戦表	78
成年男子団体予選勝数得点表	84
成年男子団体予選同点決勝戦対戦表	85

第3日目

成年男子団体決勝トーナメント戦組合せ表	87
成年男子団体決勝トーナメント戦対戦表	88
成年男子個人決勝トーナメント戦組合せ表	90
成年男子表彰式	91
総合表彰式	92
相撲競技成績採点方法	93
総合成績（天皇杯得点）得点表	94

栄光の記録

これまでの競技開催地	95
栄光の総合成績優秀団体	96
栄えある勝者	97

会場案内等

競技会場配置図	111
競技会場周辺図	113
関係機関連絡先一覧	114

あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会長 遠藤 利明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元氣にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年から「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文部科学大臣

あべ 俊子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一緒に取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

令和7年7月31日

あ い さ つ



公益財団法人日本相撲連盟

会長 豊田 章男

「わた SHIGA 輝く 国スポ・障スポ 2025」第 79 回国民スポーツ大会相撲競技会が、琵琶湖の北東に位置し、豊かな自然と歴史・文化に彩られた滋賀県長浜市において盛大に開催されますことを、心より嬉しく、また深く感謝申し上げます。

戦国の名将・豊臣秀吉が開いた城下町として知られる長浜市は、黒壁の町並みや曳山まつりに代表される伝統文化が今なお息づき、自然と調和した暮らしが息づく地域です。こうした歴史と文化が薫る土地で、相撲競技会が開催される意義は大きく、選手の皆様にもこの特別な舞台での取組が、生涯の誇りとなることでしょう。

本大会は、従来の「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へと名称を新たにし、スポーツ基本法に基づき「世界共通の人類の文化としてのスポーツの価値」を広く共有することを目的としております。

1500 年以上の歴史を持つ相撲もまた、アマチュアスポーツとして 100 年の歩みを重ね、今や世界各国で愛される競技へと発展しております。その中で、相撲本来の精神——すなわち「礼に始まり、礼に終わる」「勝っても負けても相手を敬い、土俵上で助け合う姿勢」は、日本武道の真髄として、世界から高く評価されています。

本大会に出場される皆様には、この相撲の精神を胸に、日頃の鍛錬の成果をいかんなく發揮され、正々堂々とした熱戦を展開されることを心より期待しております。

結びに、本大会の開催にあたり多大なるご尽力を賜りました関係者各位ならびに役員の皆様に、深甚なる敬意と感謝を表するとともに、本大会の成功と相撲界のさらなる発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三日月 大造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できることは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にしていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会会長

長浜市長 浅見 宣義

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」相撲競技会が、全国各地から選手・監督をはじめ、多くの皆様をお迎えし、長浜市で盛大に開催できることは誠に光栄であり、市民を代表して心から歓迎いたします。

滋賀県での開催は、昭和 56 年の「びわこ国体」以来 44 年ぶり 2 度目の開催であり、長浜市では、相撲競技をはじめとする国スポ正式競技 5 競技、公開競技 1 競技、デモンストレーションスポーツ 1 競技、障スポ正式競技 1 競技を開催いたします。本大会の開催に際し、大会期間中、本市に訪れるすべての方々を心のこもったおもてなしでお迎えできますよう、市民一丸となって準備を進めてまいりました。

出場される選手の皆様におかれましては、郷土の代表として、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮され、すばらしい成績を収められるとともに、参加選手や地域の方々との交流、親睦の輪を広げていただき、本大会が皆様にとって思い出に残る大会となりますことをお祈り申し上げます。

さて、本市は豊臣秀吉公の出世の地として縁が深く、織田信長公のもとで戦った「姉川合戦場」や「小谷城跡」、初代城主となった「長浜城」、天下人を決定付けた「賤ヶ岳古戦場」などがあり、戦って日本一を決めるに相応しい歴史ある地域です。また、400 年以上続く伝統行事「長浜曳山祭」、雄大なびわ湖に浮かぶ神の島「竹生島」、現存する最古の駅舎「旧長浜駅舎」など、時代を超えて多くの文化遺産を持つ県内有数の観光都市でもあります。長浜駅直近の観光エリア「黒壁スクエア」は、城下町の面影があるレトロな街並み散策を楽しめる人気のスポットです。皆様には、時間の許す限り長浜市の魅力も存分に感じていただき、再び本市にお越しいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申しあげますとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘・ご活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



滋賀県相撲連盟

会長 八田 憲児

戦国時代の戦い舞台、そして名だたる偉人たちが功績を成し遂げた歴史のまち長浜において、第79回国民スポーツ大会「わたS H I G A 輝く国スポ相撲競技会」が盛大に開催されますことは、誠に喜ばしいことであり、全国各地からお越しの役員、選手、関係者の皆様を滋賀県相撲連盟一同、心より歓迎申し上げます。

アマチュア相撲は、武道としての側面とスポーツとしての側面とが両面混在し、心技体の言葉が示すように、人格形成を図るとともに、勤勉さを育み、健康な体づくりには、最良のスポーツであります。幼児の発達を促し、青少年の健全育成に寄与することは間違ありません。

選手の皆さんには、郷土の誇りを胸に日頃の鍛錬された技量を十二分に發揮され、手に汗握る熱戦を開いていただくことを大いに期待するところであります。

結びに、本大会開催のため絶大なるご指導を賜りました公益財団法人日本相撲連盟をはじめ関係各位のご支援、ご協力に心よりの感謝と敬意を表し、本大会の成功を祈念し歓迎のことばといたします。

規 程



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

- 第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。
- 2 第1位が2都道府県以上の場合、当該都道府県で共有する。
- 第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。
- 第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。
- 第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。
- 附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定
昭和45年1月22日一部改定
昭和48年7月10日一部改定
昭和54年5月9日一部改定
平成17年6月16日一部改定
平成22年3月17日一部改定
本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。
平成30年4月1日一部改定
令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定
昭和45年1月22日一部改定
昭和48年7月10日一部改定
昭和54年5月9日一部改定
平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改定
令和6年1月1日一部改定

役員

大 会 役 員

2025年7月31日現在
(順不同・敬称略)

慎太郎 三敏蔵樹隆美厚彦郎雄宏清子二一弘也ん人弘英也彥人朗一恭也昌實吾一俊人
西邊戸成原良林中野野寺本椋浜澤合場田島田川城増川谷田部藤田宗田石田村河
小渡城宮藤奈小野矢上小宮小永深川馬河牧土筐岩達大熊新阿伊池越檍大塩有小
治一泰子治子一新宏子子英英人靖也明二一威成樹也士裕世剛章彦也純義郎彦也
英祐章秀朝廣幸治裕展嘉和恒達英光真弘秀知清元英秀元達正祥俊康和
尾村木木良藤部子村野村浦本間山道村砂耕羽谷村野角野村藤山田口隈井崎
横河青辛平佐菊武增有北武北杉宮仲富安中真世丹小北大花高大齋丸後山日赤岩
晃美希彦成弘子子健行子紀子彦地泰子文室郎次子生子司浩治二史男政郎直子彦
ひ祐勝幸隆妙純敦由レック泰聖大和裕恭玄喜正素裕美祐伸達多知昭嗣誠益住政
田本越柳元上木口松野田井野木須屋丸谷野保川村藤田本谷橋岡部生杉江
奥堂馬小岩川宇山赤浅嘉斎藤アレック泰聖大和裕恭玄喜正素裕美祐伸達多知昭嗣誠益住政
彦幸稔武格朗司孝邦毅孝史悟勉子一志治男満男郎馨司一博浩隆俊泉英男博ニ圭辰
一一嘉正泰敏隆信定裕東直良章幸幸有富義隆知岩隆デ圭辰
田藤中本本河近田藤藤大河小寺金茂大こやり伊有坂藤砂豊村町番寶鶴福山馳田西宮莉大甲玉糲井狩

史勉修輔茂男輔史司三也紀潤輝紀輔紀香伸也博史朗宏人晃和巳門孝
光良斗敬博浩雅佑雅 茂大祐晶晴哲康英義昌直裕延知長右衛好淳一郎
野野野川泉原藤中前口澤口藤波田貫谷玉葉原田口田本城間内田
細濱高宮岡西衛山越川富田近沼見大深児稻木前河前濱宮菅竹武田刈黒
崇義生二潔之生吾男男子子映広昭紀男史里史学也也幸良史也之稔弘彦一
奥信憲剛哲信二眞理恵百章弘和尚直由剛 純新英度尚雅宏 守直公
栗品舟加和岸長鈴中東品小宇横高瀬岩戒林曾中田辻松山千柄碓沼吉平
原田喜藤田川南木山野治原高江井谷埜田我嶋口岡山元葉澤井田岡江
栗品舟加和岸長鈴中東品小宇横高瀬岩戒林曾中田辻松山千柄碓沼吉平
洋司男美巖治昇壽子二里花大子子敦規暢行司浩子行成和哉司洋彦守治也
幸裕重正宏 千明好友百遙佳直 正 克隆宗綾孝一美信真雅元健吉
士間川藤口井橋井根本口 中本水木野保澤田村本田鷺山藤田井後井木部
福佐黒安川平高三関杉野坊田池清鈴高新井藤吉松高尾横遠角酒今松荒綾
夫太郎淳則広祐幸雄亘由和航佑芳久雄真貴達美健守和康賢瑞勇義俊雅通
康圭秀章大正久由和航佑芳久雄真貴達美健守和康賢瑞勇義俊雅通
本邊澤梶木口原辺本田子岡垣野藤田田松浦橋本米井野野藤瀨上内崎渡嘉敷
渡寺中鈴田菅渡井吉金政寺南門加太金村杉高松久次笠吉高須東井竹寺渡嘉敷

競技会役員

(順不同・敬称略)

名会副顧

長長長問

参考会

与

一郎 大晃 幸夫 典男 治直 行史 浩弘 司 晴真 史子 摩也 雄裕 努昌 也 勝文 洋実 張和 浩幸 史
誠一一 弘和 泰正 利 康博 顕正 裕 芳天 貴律 久直 一和 哲将 豊幹 元明 忠宗 隆
田沢 林谷 田渕 守村 倉谷 高下 山木 美 田口 野留村 藤澤 田海 森 所谷 島留村
藤逢 小熊宮 増古川 北関 森山 通青 加々 高浜 山小満 田齋 伊廣 角田 乾 小堀 田濫 秀持 野こやり
児文 彦雅 聰男 典広 哲郎 人己 則勉 久淳 弘弘 仁也 和香 守彦 夫蔵 一夫 司伸 成夫哉 二司郎
憲和 一一 昭隆 隆壯 一岩 一智 恭敏 義久 智恒 遥 幸利 雄淳 富博 満隆 和祐 正賢
田 木田 藤藤井 塚田 島島 野野崎 田田山 木野 本田 屋沢宮 下内利賀 井家 井部 野
八 南青 櫻佐 須土 砂前 五北 鶴中 西木織屋 龍辻 鈴畠 宮舛山 黒清 岡寺 竹真 大堀 領土 阿上
子 芳彦 之大忠 一志 行彦 望明 一也 子雄 岳男 洋雄 憲代 助仁 之太弘 浩宣 史義 児博 伸治 二
美和 信仁 裕雄 幸元 弘和 幸哲 光喜 美大 一公 一孝 一弘 良光 吉雅 外健 利繁 賢
東角崎 村木田 間野 藤木岡口 村内藤 力中 内園 村野崎 藤上 田田 関下 浦和 田井原
安八磯 中鈴池 佐夏 近高 平樋嶋 中柳 伊等 嶋竹倉 西西木 森加 村岸 村尾 山石 千南 梅澤 井
義男 三吾 茂穂 弘豊 幸義 彦規 剛士 成則 生隆 久治帆 親典 紀明 治淳 浩央 均郎 晃涉 弘寿 雄志 孝
宣章 晃新 昭俊 雅勝 靖功 一勝 幸仁 良眞 信保 敏利 邦光 紳太 真高 幹和
見田 田尾 破田 渕沢 野野村 塚本 島崎 慶川 野藤 田園 波尾 田原 神藤 子田 藤里 村須川 松野 城居
浅 豊勝 松石 岩黒 大水 下平 橋小竹 和吉 中伊 黒倉 川西 山櫻 白伊 益村 安福 北矢 大小 河宮 浅

競技役員

(順不同・敬称略)

実行委員長	木崎智久	阿部正司	内田安佳					
実行副委員長	櫟原利明							
総務委員長	木崎孝之助							
総務副委員長	安井和男	奈良文彦	内田安佳					
総務委員員	田中敦司	高田英明						
競技委員長	齋藤一雄	辻久美仁						
競技副委員長	八木典彦	舛田守	石前辰徳	辻久美仁				
規律指導委員	齋藤一雄	舛田守	石前辰徳	辻久美仁				
審判長	舛田守	浦嶋三郎	禧矢昭久	廣瀬	神松本	一生和		
副審判長	八木典彦	阿嶋義郎	久須喜矢	涉	伊勢本	一司		
	下谷内田直也	阿部三義	和浩	伊勢	伊勢	登志仁		
主審	畠野恒和	木田一郎	布辻角	弥浩	伊勢	登志仁		
	門林三千	田嶋正良	藤東	翔良	金	勢仁		
副審	嶋佐雅之	成木田富士	伊野	茂将	伊勢	章		
	石前智成	幸宣	本	翔良	金	章		
	阿部辰志	涼人	野根	史雄	伊勢	木利		
	金堀智鉄	和政	坂木	彦和	金堀	立吉		
	山田幹公	昭和	根村	和	木利	伸		
	安田竜	由美	木高	豊	立吉	満		
	角藤兼	志	古	和	木利	知		
	前田廣	崇	木	白	立吉	直		
審判幹事	石前辰利	緒德	辻角	多田	木利	泰		
決まり手委員長	櫟原利明	明功	木高	尾羅	立吉	塚		
決まり手委員	宮田功弘	弘敏	坂木	木高	木利	伸		
総合成績計算委員長	屋田敏弘	太孝	根村	和	立吉	満		
総合成績計算委員	伊谷孝太	信	木坂	豊	木利	知		
抽選委員長	齋藤一浩	信	辻角	和	立吉	直		
抽選委員員	榎波恒史	良瀬	木田	浩	木利	泰		
式典表彰委員	畠恒三千	木田	辻角	翔	立吉	塚		
	門林三千	良富士	木田	和	木利	伸		
進行委員員	佐藤敦英	池成	辻角	浩	立吉	満		
放送委員員	中里英也	新竹	木田	翔	木利	知		
	寺中哲也	立	辻角	和	立吉	直		
	中西哲也	大貴	木田	豊	木利	泰		
		喜絵	辻角	和	立吉	塚		

記録	委員	員	真利川	順吉	一高	吉鍔	野田	豊安	生雄	渡神	邊鳥	博史	小栄	寺	孝陽	幸翔	
掲示	委員	員	小伊	禮	実	謙	井	涼	介	山	口	潔	幸	野	陽	也	
			青	木	太	司郎	上	智	之	川	崎	富	河	橋	力	明	
			田	中	裕	田	駒	隆	唯	山	本	喜	高	宮	利	史	
			田	中	英	國	森	悠		島	居	孝			博		
選手	委員	員	谷	口	大	貴				島	泰	樹	山	田	祥	威	
			平	光	真	規	菜		手	大	雅	暉	朴	チゾリグ			
土俵	委員	員	田	村	瑠	生	響	谷	野	元	氣	伊	勢	力	都	輝	
			清	水	伊	翔	來	川	口	慧	輝	松	村	俊	大	伸	
庶務	委員	員	清	水	伊	莉	大	米	田	海	輝	國	領	雅	規	木	
			国	島	清	水	莉	古	山	郁	夫	下	祐			介	
報道	委員	員	柴	谷	拓	也		岡	村	博	之						
医務	委員	長					辻										
医務	委員	員					久美仁										
会場	委員	員					和文										
							嶋南										
							佐雅										
							國島										
							柴谷										

競 技 補 助 員

(順不同・敬称略)

滋 賀 県 立 虎 姫 高 等 學 校

競技会係員

(順不同・敬称略)

競技会場部長	久保田 武 次								
会場総務班長	田 中 亮 平								
会場総務係長	涌 井 陽 子								
会場 総務 係	尾 崎 栄 治	坪 井 隆 昭	村 田 彩 加	前 田 洋 美					
	佐 野 美 佳	浅 山 遥	心 山 聰 子	富 永 祐 紀					
	山 本 有 紗	松 田 憲 之							
会場受付係長	西 村 領 太 郎								
会場 受付 係	菊 池 雅 彦	雨 森 之 彦	大 音 喜 美 子	木 下 由 紀 子					
	柏 菜穂子	佐 野 知 佳 子	酒 井 み ゆ き	浅 見 哲 也					
	富 岡 智 子								
競技式典班長	石 谷 享 之								
会場警備係長	服 部 浩 樹								
会場 警備 係	津 田 文 彦	山 本 孝 行	主 馬 央 統	高 木 麻 里 子					
	森 由 貴 子								
記録速報係長	岡 田 輝 之								
記録 速報 係	小 山 紗 代 子	工 藤 彰	笠 根 純 平						
式典表彰係長	橋 本 幸 大								
式典 表彰 係	津 田 莉 沙	小 林 誠							
輸送交通班長	米 田 豊								
輸送交通係長	中 川 真								
輸送 交通 係	小 川 浩	渡 邊 利 陸							
駐車場係長	廣 部 健								
駐 車 場 係	野 崎 正 寿	清 水 英 明	奥 長 廣 平	奥 野 涼 輔					
	横 山 琢 哉								
おもてなし班長	伊 吹 真 二								
おもてなし・弁当係長	江 畑 彰 宏								
おもてなし・弁当 係	伊 藤 淳	大 島 茉 実	今 村 真 貴	奥 長 奏					
	馬 場 富 幸								
環境美化係長	山 田 均	中 村 友 亮	清 水 あ か ね	加 藤 紗 貴 子					
環 境 美 化 係	藤 川 和 寛								

競 技 会 補 助 員

(順不同・敬称略)

ボ ラ ン テ イ ア 一 同

[MEMO]

実 施 要 項 等

相 摂 紹 領

相撲は、迫力とスピード感あふれる近代的スポーツであると同時に、長い歴史と伝統を持った日本の国民的文化でもある。私たちは、相撲を愛し、相撲の鍛錬をすることによって、たくましい肉体とねばりづよい精神をつくりあげ、心身ともに立派な人間として社会のために大いに貢献するよう心掛けなければならない。そして又、私たちは、このようなすばらしい相撲を世界中の多くの人々に親しんでもらうように、相撲を世界に広めていくよう努めなければならない。

ここに、相撲に携わる者（以下「相撲競技者」という。）として心すべき事項を掲げ、各人の努力精進のよすがとするものである。

- 相撲競技者は、常にスポーツマンとしての自覚と誇りを持ち、健康に努め、明るく、正しく生活しなければならない。
- 相撲競技者は、相撲を取るに当たっては、技量の向上及び健康の保持増進を旨としなければならない。
- 相撲競技者は、勝敗にこだわることなく、全力を尽くしたことに喜びを感じとともに相手の健闘をたたえ、終始礼儀正しく行動しなければならない。
- 相撲競技者は、競技規則を守り、審判の判定に従い、常にフェアプレーの精神に基づいて競技しなければならない。
- 相撲競技者は、体力の優劣にかかわらず、合理的かつ科学的な考え方の下に精進を重ね、個性を発揮しつつ、自己の可能性を不斷に追求するよう努めなければならない。
- 相撲競技者は、積極果断、沈着冷静、不撓不屈、質実剛健な精神力を養うとともに、先輩への敬慕と後輩への慈愛の念、他者への思いやりや周囲への気配り等、豊かな心をはぐくむよう努めなければならない。
- 相撲競技者は、誰もが相撲に親しみやすく、取り組みやすくなり、国内はもとより海外においても競技者人口が増加していくよう、常に研究及び普及指導に努めなければならない。

国スポの競技方法

国民スポーツ大会の相撲競技は、47都道府県の代表選手が出場します。

競技は、少年男子、成年男子の2種別で行われ、天皇杯得点は、この2種別の総合成績で採点されます。

選手の資格は、少年男子は18歳未満の者（当年の4月1日現在）です。

成年男子の3選手には特に規制をしない、いわゆる無差別としています。

団体戦の少年男子は1チーム5名で、成年男子は1チーム3名で予選3回戦を行い、その勝数と得点により、16チームの優秀団体を選抜し、抽選により組み合せを決めてトーナメント戦方式で第1位から第4位まで各1団体と第5位4団体までの順位を決定します。

個人戦は、団体予選を兼ねる予選の全勝者に出場資格を与え、抽選により組み合せを決め、トーナメント戦方式で第1位から第4位まで各4名、第5位4名の順位を決定します。

ドーピング検査

本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。

また、未成年者である本競技会参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。

本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動など個人的な諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合などは、ドーピング防止規則違反となる。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁などを受けることになるので留意すること。なお、検査に伴って生じた交通費や宿泊費は個人の負担とする。

日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

大会実施要項

総則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (7 競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ (26 競技)

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウェルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカロム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレー ボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球

2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技 (15市、4町：計19市町)

会期	会場地
2025年9月28日（日） ～10月8日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年9月6日（土） ～9月15日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年9月21日（日） ～9月25日（木） 〔5日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技 (7市：計7市町)

会期	会場地
2025年8月23日（土） ～9月21日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストレーションスポーツ (13市、1町：計14市町)

会期	会場地
2025年4月12日（土） ～9月14日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025年1月1日から2025年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」(TUE) の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚または離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

- d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帶同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ウ) 勤務地

(エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していかなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

- (ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。
 - (イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。
 - (ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。
- イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別および各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

- (1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込むものとする。

- (2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

- (3) 参加申込締切日

締切日	競技
2025年 8月20日(水) 【12競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025年 9月4日(木) 【27競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウェイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区分	負担金
少年の種別に参加する選手	3,000円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6,000円

[注] 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025年9月5日(金)

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上 の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満 の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満 の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。
なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の1日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025年9月4日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 観察員

- (1) 観察員は、1都道府県3名以内とする。ただし、2026年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県100名以内、宮崎県および長野県60名以内、群馬県および島根県40名以内とする。
- (2) 都道府県の観察員の参加申込は、2025年9月4日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード (Accreditation Card) を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付されたADカードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関する取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いについて以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は1人1競技に限る。

(4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

(6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、観察員ならびにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

(3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

- (1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。
- (3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2) - ②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) - ③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) - ③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

（ア） 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

（イ） 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていないとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

- 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
- 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

（ア） 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

（イ） 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) -③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

- <例>
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実施要項

1 期　日 2025年9月29日（月）から10月1日（水）まで（3日間）

種別	9月29日（月）	9月30日（火）	10月1日（水）
成年男子		団体予選 1～3回戦	団体決勝 個人決勝
少年男子	団体予選 1～3回戦	団体決勝 個人決勝	

2 会　場 長浜市　県民共済ドーム長浜（滋賀県立長浜ドーム）

3 種別及び参加人員

種別	監督	選手	都道府県	小計	合計（人）
成年男子	1	3	47	188	470
少年男子	1	5	47	282	

(注) 選手、監督の兼任はできない。

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規程は、公益財団法人日本相撲連盟「競技会規程」による。

(2) 各種別の選手編成は次のとおりとする。

ア 成年男子

3人制（正選手3名、予備登録選手2名）

イ 少年男子

5人制（正選手5名、予備登録選手2名）

（ただし、5人のうち総則5(1)ア(イ)に該当する者は、1名までとする。）

(3) 団体戦の競技方法は次のとおりとする。

ア 団体戦は各種別とも予選3回戦を行い、勝数得点により優秀団体を決定する。

各種別の優秀団体は、16団体とする。

イ 団体決勝は、優秀団体によりトーナメント戦方式で優勝を決定する。

ウ 各種別とも第3位決定戦は行うが、第5位から第8位までの決定戦は行わない。

(4) 個人戦の競技方法は次のとおりとする。

ア 種別ごとに、各種別の団体予選の全勝者をもって抽選を行い、トーナメント戦方式で優勝を決定する。

イ 各種別とも第3位決定戦は行うが、第5位から第8位までの決定戦は行わない。

5 予選方法

各都道府県連盟は、都道府県大会を実施し、種別ごとに本大会に出場する代表を決定する。

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 監督及び選手は、公益財団法人日本相撲連盟会員登録規程に基づき、会員登録をしてい
る者及び国スポ予選出場のため当該都道府県選手として一時登録が認められた者とする。
- (2) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認相撲コー
チ1、公認相撲コーチ2のいずれかの資格を有する者とする。
- (3) 参加種別は都道府県大会及び本大会を通じて1種別とする。

7 総合成績決定方法

総合成績（天皇杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順
に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

- (1) 競技得点

天皇杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子	1位 24点、2位 21点、3位 18点、4位 15点、5位(4チーム)7.5点 の競技得点を与える。
少 年 男 子	1位 40点、2位 35点、3位 30点、4位 25点、5位(4チーム)12.5点 の競技得点を与える。

- (2) 参加得点

大会に参加した都道府県に10点を与える。

8 表彰

- (1) 総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別（団体戦）の第1位から第5位（4チーム）までに、賞状を授与する。
- (4) 各種別（個人戦）の第1位から第5位（4選手）までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入
力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025年8月20日（水）までに申込み手続
きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は、所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセス
できなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手・監督変更は、疾病、傷害など特別な場合に限り認めるものと
し、参加申込み時に登録した予備登録選手との交代に限り認める。

ア 提出期日　　監督会議まで

イ 提出先

(ア) 〒169-0073 東京都新宿区百人町一丁目15番20号
公益財団法人日本相撲連盟
TEL 03-3368-2211 FAX 03-3368-0440

(イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836
MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp

(ウ) 〒526-0066 滋賀県長浜市大島町37番地
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会事務局
(長浜市市民協働部国スポ・障スポ大会推進室 競技運営第一係)
TEL 0749-65-6303 FAX 0749-65-6702
MAIL nagahama2025@city.nagahama.lg.jp

※ なお、(イ)(ウ)については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、上記への提出後、別途、所定の手続きにより、参加申込情報を修正すること。

10 参加上の注意

- (1) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、必ずその都道府県の標識及び段位章をつけること。
- (2) 各監督（特に少年男子の監督）は、選手の健康管理その他について十分配慮すること。

11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025年8月22日（金）午後2時
場 所 公益財団法人日本相撲連盟
〒169-0073 東京都新宿区百人町一丁目15番20号
TEL 03-3368-2211 FAX 03-3368-0440

(2) 審判・監督会議

日 時 2025年9月28日（日）午後5時
場 所 長浜文化芸術会館 大ホール
〒526-0066 長浜市大島町37番地
TEL 0749-63-7400 FAX 0749-63-7401

(3) 総合表彰式

日 時 2025年10月1日（水）正午
場 所 県民共済ドーム長浜（滋賀県立長浜ドーム）
〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1320番地
TEL 0749-64-0808 FAX 0749-62-2006

競技

競 技 日 程

会議名	日 時	会 場
審判・監督会議	9月28日（日） 17時00分	長浜文化芸術会館 大ホール (滋賀県長浜市大島町37番地)

月 日	日 程	時 間	県民共済ドーム長浜	
第1日目 9月29日 (月)	少年男子 団体予選第1回戦	9:40	～	12:05
	少年男子 団体予選第2回戦	12:05	～	14:30
	少年男子 団体予選第3回戦	14:30	～	16:55
	少年男子 団体予選同点決勝戦	16:55	～	17:35
	<第1日目 競技終了宣言>	17:40		
	少年男子 団体決勝・個人決勝トーナメント戦抽選	17:40	～	
第2日目 9月30日 (火)	<第2日目 競技開始宣言>	9:00		
	少年男子 団体決勝トーナメント戦	9:00	～	11:20
	少年男子 個人決勝トーナメント戦	11:35	～	12:50
	少年男子 表彰式	13:00	～	13:20
	成年男子 団体予選第1回戦	13:30	～	15:20
	成年男子 団体予選第2回戦	15:20	～	17:10
	成年男子 団体予選第3回戦	17:10	～	19:00
	成年男子 団体予選同点決勝戦	19:00	～	19:25
	<第2日目 競技終了宣言>	19:30		
	成年男子 団体決勝・個人決勝トーナメント戦抽選	19:30	～	
第3日目 10月1日 (水)	<第3日目 競技開始宣言>	9:00		
	成年男子 団体決勝トーナメント戦	9:00	～	10:30
	成年男子 個人決勝トーナメント戦	10:35	～	11:20
	成年男子 表彰式	11:35	～	11:55
	総合表彰式	12:00	～	12:30

総合表彰式	10月1日（水）	12時00分	県民共済ドーム長浜
-------	----------	--------	-----------

競技会場	県民共済ドーム長浜 (〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1320番地 電話：0749-64-0808)
------	---

都道府県別参加人員

都道府県名	少 年 男 子		成 年 男 子	
	監 督	選 手	監 督	選 手
北海道	1	5	1	3
青森県	1	5	1	3
岩手県	1	5	1	3
宮城県	1	5	1	3
秋田県	1	5	1	3
山形県	1	5	1	3
福島県	1	5	1	3
茨城県	1	5	1	3
栃木県	1	5	1	3
群馬県	1	5	1	3
埼玉県	1	5	1	3
千葉県	1	5	1	3
東京都	1	5	1	3
神奈川県	1	5	1	3
山梨県	1	5	1	3
新潟県	1	5	1	3
長野県	1	5	1	3
富山县	1	5	1	3
石川県	1	5	1	3
福井県	1	5	1	3
静岡県	1	5	1	3
愛知県	1	5	1	3
三重県	1	5	1	3
岐阜県	1	5	1	3
滋賀県	1	5	1	3
京都府	1	5	1	3
大阪府	1	5	1	3
兵庫県	1	5	1	3
奈良県	0	0	1	3
和歌山县	1	5	1	3
鳥取県	1	5	1	3
島根県	1	4	1	3
岡山县	1	5	1	3
広島県	1	5	1	3
山口県	1	5	1	3
香川県	1	5	1	3
徳島県	1	5	1	3
愛媛県	1	5	1	3
高知県	1	5	1	3
福岡県	1	5	1	3
佐賀県	1	5	1	3
長崎県	1	5	1	3
熊本県	1	5	1	3
大分県	1	5	1	3
宮崎県	1	5	1	3
鹿児島県	1	5	1	3
沖縄県	1	5	1	3

相撲競技の見方

日本の国技として

相撲は、わが国において古くから行われた競技で、江戸時代には勧進相撲にまで発展し、歴史的に伝統ある「日本の国技」として、また一方、いわゆる大相撲として親しまれ、今日に至っています。

大相撲の人気は、ややもすれば「見る相撲」にかたよらせ、あるいはアマチュアスポーツ精神を損なう危惧なしとしません。アマチュア相撲は決して大相撲の真似でないことを、深く認識したいものです。

公益財団法人日本相撲連盟は、アマチュア相撲界の中核となり、スポーツ精神の涵養と相撲の普及、体位の向上に一貫して努力しています。

フェアな心と立ち合い

相撲は「礼に始まり、礼に終わる」競技だと言われます。選手が土俵だまりで整列して交わす立礼、競技開始の「ちりちょうど」の礼、競技を終えたあと交わす立礼と「勝ち名乗り」、審判員が交代するつど整列して交わす立礼など相撲独特のものであり、礼儀正しく行うことをフェアな心の表現として、選手も役員も体得していかなければなりません。

選手が身につける「まわし」は、心構えを象徴するものとして、所定の方法できつく締めるよう指導しています。これもフェアな心を示すものです。

相撲の勝負は「立ち合いできる」と、よく言われますが、立ち合いの大切さを強調しています。

選手双方に平等な条件で競技させることが原則であり、そのための立ち合いでなければなりません。「心」「技」「体」のすべてを充実させて、激しい気力で立ち会うことを理想としています。

この立ち合いについて、公益財団法人日本相撲連盟は令和6年4月に改正した「審判規程」で、つぎのように規定しました。

「選手双方が両手を同時に付き静止した後、『引きますよ』『ハッケヨイ』の掛け声により行う」この規定に従って、平等な条件で競技することが、フェアな心をあらわすことにもなります。

勝負の判定

競技における審判の公正な判定は、選手のフェアな敢闘と相まって、競技を明確にする基本です。

公益財団法人日本相撲連盟は、「競技会規程」とともに「審判規程」や「土俵規程」を設けて、その規程するところにより、競技会を開き、運営に当たります。

また「公認審判員規定」の定めにより、審判員を認定し、選ばれた公認審判員が競技の審判に当たり、勝負を判定します。

勝負の判定は、主審が行いますが、さらに一層の公正を期するため4名の副審を配して主審を補佐し、審判長がこれを統括します。

選手は審判員の判定には絶対に服さなければなりません。また、当該審判員以外のいかなる人も、異議や疑義の申し立てをすることを許されません。

[MEMO]

第 1 日 目
9月29日（月）

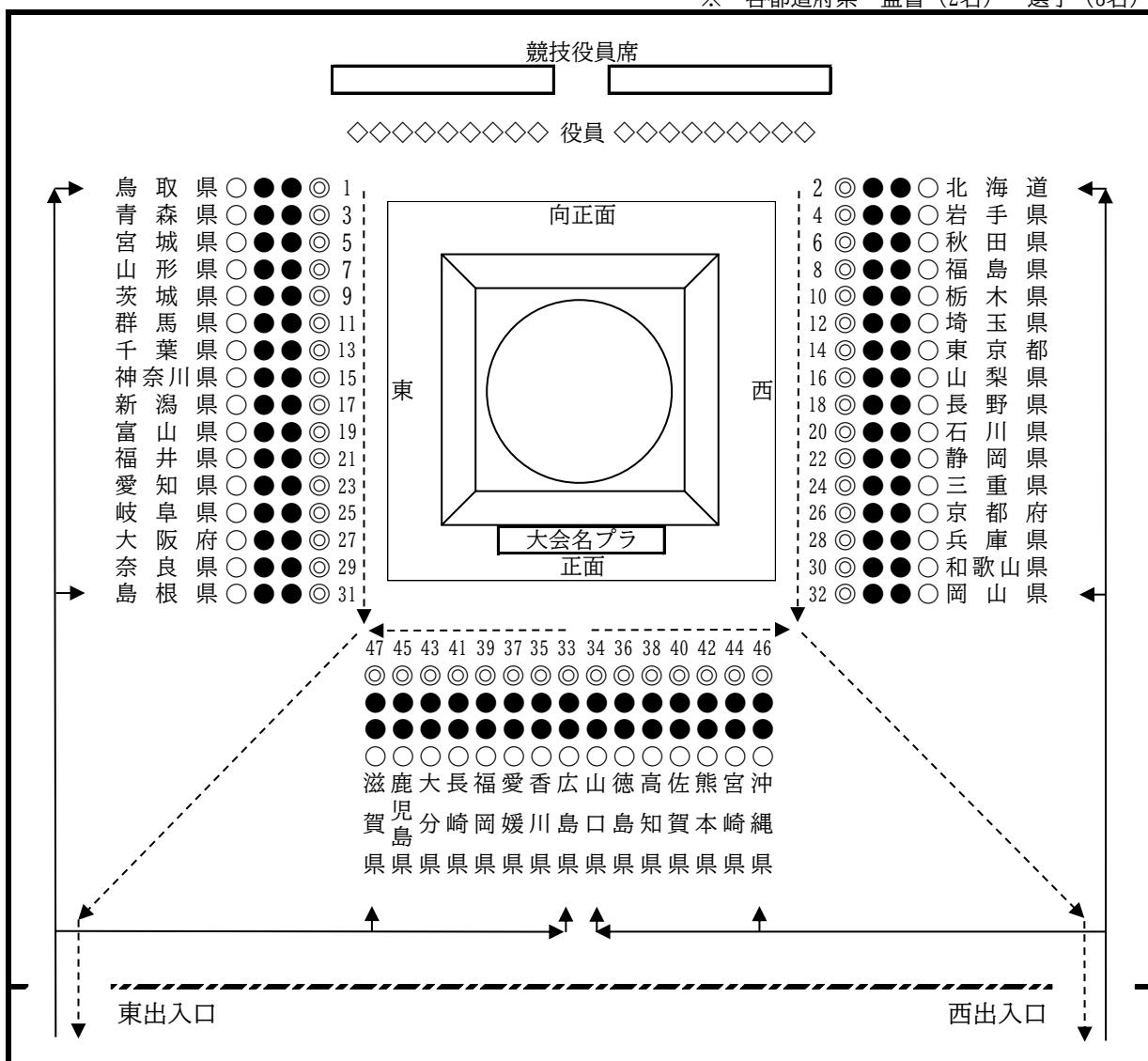
開 会 行 事

9月29日（月） 9時00分

次	第
<p>[役員・選手団整列]</p> <p>1. 開式通告</p> <p>2. 競技開始宣言 競技会 委員長 木崎 智久</p> <p>3. 国旗儀礼、国歌齊唱</p> <p>4. 大会旗・連盟旗・県旗・市旗儀礼、「若い力」齊唱</p> <p>5. 大会会長トロフィー返還 前回競技会総合優勝 烏取県</p>	<p>6. 競技会会長あいさつ (公財)日本相撲連盟 会長 豊田 章男</p> <p>7. 歓迎のことば わたSHIGA輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会 会長(長浜市長) 浅見 宣義 滋賀県相撲連盟 会長 八田 憲児</p> <p>8. 閉式通告 [役員・選手団退場]</p>

選手団配置概要図

※ 各都道府県 監督（2名）・選手（8名）



【凡 例】 プラカード ◎ 監督 ● 選手 ○ 入場経路 → 退場経路 - - - - -

少年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	在 学 校 名 等	年齢	段位	身長 cm	体重 kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
北海道	杉原健伸	先鋒	濱野涼	北海道大野農業高等学校	15		174	90				1 - 1	
		二陣	赤石海	北海道函館水産高等学校	15		178	130				1 - 2	
		中堅	藤本元気	北海道大野農業高等学校	15		170	73				1 - 3	
		副将	鈴木一二三	北海道大野農業高等学校	17	2	175	95				1 - 4	
		大将	牧野大樹	北海道函館水産高等学校	16	初	177	150				1 - 5	
		選手	佐藤悠人	北海道函館水産高等学校	16	初	164	58				1 - 6	
		選手	外崎藍聖	北海道函館水産高等学校	16		162	71				1 - 7	
青森県	長谷川将臣	先鋒	小笠原広祐	青森県立三本木農業恵拓高等学校	16	初	180	115				2 - 1	
		二陣	須々田蒼天	青森県立弘前実業高等学校	15	初	167	96				2 - 2	
		中堅	藤田偉榮	青森県立弘前実業高等学校	15	初	175	124				2 - 3	
		副将	三浦孝太	青森県立三本木農業恵拓高等学校	17	初	183	103				2 - 4	
		大将	奈良悠真	青森県立三本木農業恵拓高等学校	16		173	120				2 - 5	
		選手	岡崎良太郎	青森県立三本木農業恵拓高等学校	17	初	168	125				2 - 6	
		選手	三浦惺侑	青森県立弘前実業高等学校	15	初	169	115				2 - 7	
岩手県	鈴木裕介	先鋒	安ヶ平琉真	岩手県立盛岡農業高等学校	16		165	75				3 - 1	
		二陣	工藤琉誠	岩手県立平館高等学校	17	初	170	105				3 - 2	
		中堅	武田明馬	岩手県立平館高等学校	16		170	125				3 - 3	
		副将	武田昇馬	岩手県立平館高等学校	16	初	171	130				3 - 4	
		大将	佐々木勇吾	岩手県立平館高等学校	17		181	110				3 - 5	
		選手	山口晃誠	岩手県立盛岡農業高等学校	16		167	85				3 - 6	
		選手											
宮城県	松野靖広	先鋒	遠藤健太郎	宮城県農業高等学校	17		167	115				4 - 1	
		二陣	佐々木蓮斗	宮城県農業高等学校	16		186	99				4 - 2	
		中堅	千葉優弥	加美農業高等学校	17	初	170	70				4 - 3	
		副将	北條篤生	加美農業高等学校	15		175	105				4 - 4	
		大将	富田陸斗	加美農業高等学校	16	初	167	90				4 - 5	
		選手	熊谷収	加美農業高等学校	15		174	65				4 - 6	
		選手	紺野祐介	小牛田農林高等学校	17		170	98				4 - 7	
秋田県	小林晃	先鋒	石川晟	秋田県立金足農業高等学校	16	2	173	105				5 - 1	
		二陣	石川神羽	秋田県立金足農業高等学校	17	2	176	130				5 - 2	
		中堅	岸野公祐	秋田県立秋田北鷹高等学校	16	初	183	115				5 - 3	
		副将	長岐征馬	秋田県立秋田北鷹高等学校	16	初	177	97				5 - 4	
		大将	伊藤綱大	秋田県立金足農業高等学校	17	3	171	97				5 - 5	
		選手	和田聖翔	秋田県立秋田北鷹高等学校	16		177	130				5 - 6	
		選手	仲條峻太郎	秋田県立金足農業高等学校	16	初	164	93				5 - 7	
山形県	泉山史	先鋒	樋口大和	山形県立新庄神室産業高等学校	15		175	115				6 - 1	
		二陣	今川令羅	山形県立加茂水産高等学校	15		172	130				6 - 2	
		中堅	板垣成	山形県立加茂水産高等学校	17	初	168	65				6 - 3	
		副将	沼澤利珠	山形県立新庄神室産業高等学校	15		161	62				6 - 4	
		大将	星川怜紅	山形県立新庄南高等学校金山校	17		175	125				6 - 5	
		選手											
		選手											

少年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	在学学校名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
福島県	市原孝行	先鋒	菊田流雅	日本大学東北高等学校	17	初	176	140				7 - 1	
		二陣	佐藤光汰朗	日本大学東北高等学校	17	初	170	70				7 - 2	
		中堅	蓮沼一聖	学校法人松韻学園福島高等学校	17		175	110				7 - 3	
		副将	五十嵐涼馬	福島県立会津農林高等学校	17	初	172	98				7 - 4	
		大将	清野勇翔	学校法人松韻学園福島高等学校	17		174	130				7 - 5	
		選手	石川浬玖	学校法人松韻学園福島高等学校	16	初	172	110				7 - 6	
		選手	大竹緋奈多	福島県立会津農林高等学校	16	初	175	102				7 - 7	
茨城县	山本紳童	先鋒	清水毅史	茨城県立水戸農業高等学校	17		178	120				8 - 1	
		二陣	今井望夢	東洋大学附属牛久高等学校	16		180	100				8 - 2	
		中堅	谷川太志郎	東洋大学附属牛久高等学校	17		172	138				8 - 3	
		副将	秦大士	東洋大学附属牛久高等学校	16		180	100				8 - 4	
		大将	磯田天音	東洋大学附属牛久高等学校	17		170	107				8 - 5	
		選手	真家叶翔	東洋大学附属牛久高等学校	15		175	140				8 - 6	
		選手	山野邊玲優	東洋大学附属牛久高等学校	15		165	65				8 - 7	
栃木県	後藤剛	先鋒	石川大凱	栃木県立矢板高等学校	16	初	182	115				9 - 1	
		二陣	横山颯	栃木県立黒羽高等学校	17		176	170				9 - 2	
		中堅	深澤真咲斗	栃木県立黒羽高等学校	15		178	135				9 - 3	
		副将	廣瀬櫂都	栃木県立矢板高等学校	16	初	168	78				9 - 4	
		大将	高橋安滋	栃木県立黒羽高等学校	16		170	100				9 - 5	
		選手	星日々希	栃木県立黒羽高等学校	17		170	95				9 - 6	
		選手											
群馬県	村上良太	先鋒	吉田浩大	明照学園樹徳高等学校	16		175	75				10 - 1	
		二陣	里見成彦	明照学園樹徳高等学校	17	初	175	120				10 - 2	
		中堅	石川陽斗	明照学園樹徳高等学校	16		165	95				10 - 3	
		副将	丸橋翼	明照学園樹徳高等学校	17	初	180	105				10 - 4	
		大将	松田興征	明照学園樹徳高等学校	16		175	120				10 - 5	
		選手	大木智暖	明照学園樹徳高等学校	15		165	120				10 - 6	
		選手	大石悠生	明照学園樹徳高等学校	17		170	75				10 - 7	
埼玉県	矢島健一	先鋒	田宮愛喜	埼玉栄高等学校	16	初	176	138				11 - 1	
		二陣	垣添玄空	埼玉栄高等学校	17		181	109				11 - 2	
		中堅	奥田蒼真	埼玉栄高等学校	17	初	175	120				11 - 3	
		副将	竹澤光	埼玉栄高等学校	16		178	118				11 - 4	
		大将	永松慧悟	埼玉栄高等学校	16	初	183	110				11 - 5	
		選手	田原煌輝	埼玉栄高等学校	16		183	145				11 - 6	
		選手	末川敦喜	埼玉栄高等学校	15		197	108				11 - 7	
千葉県	角田昌	先鋒	浦山将瑛	拓殖大学紅陵高等学校	17	初	180	130				12 - 1	
		二陣	澤和輝	拓殖大学紅陵高等学校	16		175	145				12 - 2	
		中堅	喜友名琉	拓殖大学紅陵高等学校	17	初	170	140				12 - 3	
		副将	鴻田匠汰	拓殖大学紅陵高等学校	16		180	130				12 - 4	
		大将	加藤丈尊	専修大学松戸高等学校	17		165	99				12 - 5	
		選手	牧鷹山	拓殖大学紅陵高等学校	15		175	120				12 - 6	
		選手	甲賀英暉	拓殖大学紅陵高等学校	16		170	105				12 - 7	

少年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	在学学校名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
東京都	松永昭久	先鋒	宮崎慶仁朗	東京工業高等専門学校	17	初	183	130				13 - 1	
		二陣	児玉颯飛	目黒日本大学高等学校	17	2	178	125				13 - 2	
		中堅	甲斐田龍馬	東京都立足立新田高等学校	17	初	191	150				13 - 3	
		副将	重田直太郎	東京都立足立新田高等学校	17	初	177	110				13 - 4	
		大将	澤田一輝	目黒日本大学高等学校	17		172	142				13 - 5	
		選手	横山奏	東京都立足立新田高等学校	15		178	105				13 - 6	
		選手	瀧田朔乃介	東京都立足立新田高等学校	17	2	182	111				13 - 7	
神奈川県	岸田光弘	先鋒	バトエルデンバトボルド	新名学園旭丘高等学校	17		175	117				14 - 1	
		二陣	吉岡竜大	神奈川県立向の岡工業高等学校	17	2	165	115				14 - 2	
		中堅	根上航平	新名学園旭丘高等学校	17		178	135				14 - 3	
		副将	太田力月	神奈川県立向の岡工業高等学校	16		170	98				14 - 4	
		大将	木村弥雲	神奈川県立向の岡工業高等学校	16		167	115				14 - 5	
		選手	小貫一心	神奈川県立向の岡工業高等学校	16		177	126				14 - 6	
		選手	平野埜明斗	神奈川県立向の岡工業高等学校	17		176	110				14 - 7	
山梨県	重森誠市	先鋒	金子聖	山梨県立都留興譲館高等学校	17	初	175	79				15 - 1	
		二陣	天野雄策	山梨県立甲府工業高等学校	16		182	99				15 - 2	
		中堅	土方蓮志	山梨県立都留興譲館高等学校	16		170	123				15 - 3	
		副将	帶金秀弥	山梨県立甲府工業高等学校	16		167	73				15 - 4	
		大将	中村那偉斗	山梨県立甲府工業高等学校	17		175	140				15 - 5	
		選手	井上瑛翔	山梨県立都留興譲館高等学校	15		175	99				15 - 6	
		選手	鈴木雷人	山梨県立都留興譲館高等学校	15		170	95				15 - 7	
新潟県	河野大樹	先鋒	長井良聖	新潟県立海洋高等学校	17	初	170	108				16 - 1	
		二陣	岩田涼	新潟県立海洋高等学校	15		183	130				16 - 2	
		中堅	生越健太	新潟県立長岡大手高等学校	15		173	75				16 - 3	
		副将	湯浅空人	新潟県立海洋高等学校	16	初	187	165				16 - 4	
		大将	多田福之助	新潟県立海洋高等学校	16	初	182	110				16 - 5	
		選手	山本大吾	新潟県立海洋高等学校	17	2	184	158				16 - 6	
		選手	関谷逞	新潟県立海洋高等学校	15	初	167	155				16 - 7	
長野県	小林雄矢	先鋒	伊藤怜央	更級農業高等学校	15		168	100				17 - 1	
		二陣	石黒天基	木曽青峰高等学校	15		170	78				17 - 2	
		中堅	吉本斗羽	木曽青峰高等学校	17	初	173	115				17 - 3	
		副将	千邑拓夢	木曽青峰高等学校	16		178	90				17 - 4	
		大将	畠山瑛太	更級農業高等学校	17		177	82				17 - 5	
		選手	藤懸慎多郎	木曽青峰高等学校	15		173	88				17 - 6	
		選手	矢澤孝太郎	飯田OIDE長姫高等学校	17		166	62				17 - 7	
富山县	中山昌	先鋒	水島礼煌	高岡向陵高等学校	17	初	180	140				18 - 1	
		二陣	三澤賢人	高岡向陵高等学校	16	初	178	135				18 - 2	
		中堅	平河シャアン	高岡向陵高等学校	17	初	178	125				18 - 3	
		副将	島尻大詩	高岡向陵高等学校	17	初	172	145				18 - 4	
		大将	井畠悠希	高岡向陵高等学校	16	初	182	145				18 - 5	
		選手	島尻竜良	高岡向陵高等学校	16	初	172	120				18 - 6	
		選手											

少年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	在学学校名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
石川県	徳田哲雄	先鋒	野口明輝	金沢市立工業高等学校	17	2	175	130				19-1	
		二陣	大谷夏希	金沢市立工業高等学校	17	2	175	155				19-2	
		中堅	本間侑亮	金沢市立工業高等学校	17	初	185	160				19-3	
		副将	井口一太	金沢市立工業高等学校	17	2	181	145				19-4	
		大将	中村颯斗	金沢学院大学附属高等学校	15		175	110				19-5	
		選手	新関梓桜	金沢学院大学附属高等学校	17	初	180	125				19-6	
		選手	中口陽生	金沢学院大学附属高等学校	17	初	172	110				19-7	
福井県	福島祐樹	先鋒	北村駿人	福井農林高等学校	16	初	181	111				20-1	
		二陣	小林恒介	福井農林高等学校	16	初	176	101				20-2	
		中堅	池端勇希	奥越明成高等学校	16	初	172	114				20-3	
		副将	福島正之	福井農林高等学校	17	初	177	82				20-4	
		大将	藤田璃音	福井農林高等学校	17		171	65				20-5	
		選手	森野連太朗	羽水高等学校	16		187	76				20-6	
		選手	坂井昌志	福井農林高等学校	15		174	58				20-7	
静岡県	栗原大介	先鋒	益子拓也	飛龍高等学校	17	2	185	165				21-1	
		二陣	山之内大徳	飛龍高等学校	17		170	100				21-2	
		中堅	安岡風琥	飛龍高等学校	17		166	100				21-3	
		副将	西尾勇斗	飛龍高等学校	17	2	168	85				21-4	
		大将	岸本一路	飛龍高等学校	17	2	173	120				21-5	
		選手	福里豪志	静岡県立静岡商業高等学校	17		171	105				21-6	
		選手											
愛知県	板倉将昭	先鋒	波部仁志	南山高等学校	16		165	70				22-1	
		二陣	久野聰	愛知工業大学名電高等学校	17		165	90				22-2	
		中堅	内藤雷太	愛知工業大学名電高等学校	17		175	135				22-3	
		副将	加藤綾真	愛知工業大学名電高等学校	15		167	100				22-4	
		大将	奥田恵史	愛知工業大学名電高等学校	17		182	125				22-5	
		選手											
		選手											
三重県	下里匡希	先鋒	後藤隼斗	三重県立石薬師高等学校	17		175	150				23-1	
		二陣	平賀瑛大	三重県立宇治山田商業高等学校	16	初	172	137				23-2	
		中堅	中西銳	三重県立宇治山田商業高等学校	17	初	176	150				23-3	
		副将	森口義仁	三重県立宇治山田商業高等学校	15		181	118				23-4	
		大将	中西章翔	三重県立宇治山田商業高等学校	17	初	176	124				23-5	
		選手	山本虎雅	三重県立宇治山田商業高等学校	15		182	118				23-6	
		選手	谷水壱斗	三重県立宇治山田商業高等学校	17	初	176	117				23-7	
岐阜県	小森豊文	先鋒	春日井雅大	さくら国際高等学校	16		178	117				24-1	
		二陣	田中東明	岐阜県立岐阜農林高等学校	17		184	125				24-2	
		中堅	梅村宗佑	岐阜県立岐阜農林高等学校	17		174	124				24-3	
		副将	田島千照	岐阜県立岐阜農林高等学校	16		173	100				24-4	
		大将	重綱陽翔	大垣日本大学高等学校	15		186	128				24-5	
		選手	奥村裕人	岐阜市立岐阜商業高等学校	17		175	110				24-6	
		選手											

少年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	在学学校名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
滋賀県	橋本拓実	先鋒	川上 大知	滋賀県立長浜北高等学校	15		185	178				25 - 1	
		二陣	三橋 昇也	滋賀県立長浜北星高等学校	16	初	184	170				25 - 2	
		中堅	相川 蓮	滋賀県立八日市南高等学校	17	初	170	130				25 - 3	
		副将	藤本 結志	滋賀県立八日市高等学校	15		175	87				25 - 4	
		大将	宮川 璃桜	滋賀県立長浜農業高等学校	17		190	105				25 - 5	
		選手											
		選手											
京都府	池田明優	先鋒	和田野 翔哉	京都市立日吉ヶ丘高等学校	16		174	105				26 - 1	
		二陣	井上 耀	京都市立日吉ヶ丘高等学校	17	初	175	85				26 - 2	
		中堅	原田 泰誠	京都市立日吉ヶ丘高等学校	15	初	180	92				26 - 3	
		副将	小林 蒼空	京都市立日吉ヶ丘高等学校	17		173	80				26 - 4	
		大将	奈佐 翼	京都市立日吉ヶ丘高等学校	17		180	112				26 - 5	
		選手	上田 恭吾	京都市立日吉ヶ丘高等学校	17		167	65				26 - 6	
		選手	鶴凪 海	京都市立日吉ヶ丘高等学校	16		171	60				26 - 7	
大阪府	谷岡偉志郎	先鋒	松井 遥海	近畿大学附属高等学校	16	2	170	100				27 - 1	
		二陣	東山 勝貴	近畿大学附属高等学校	16	2	170	125				27 - 2	
		中堅	来守谷 唯人	近畿大学附属高等学校	17	2	178	109				27 - 3	
		副将	松井 碧星	近畿大学附属高等学校	17	2	170	136				27 - 4	
		大将	稻富 央樹	近畿大学附属高等学校	17	2	172	105				27 - 5	
		選手	西尾 鳩太	近畿大学附属高等学校	15	初	170	99				27 - 6	
		選手	重村 鴻之介	近畿大学附属高等学校	16	2	178	145				27 - 7	
兵庫県	真利順一	先鋒	上垣 凜人	報徳学園高等学校	16		180	140				28 - 1	
		二陣	西田 晶	報徳学園高等学校	15	初	175	110				28 - 2	
		中堅	田中 彰人	報徳学園高等学校	17	2	174	141				28 - 3	
		副将	中川 隆雅	報徳学園高等学校	16	初	175	120				28 - 4	
		大将	岩本 岳士	報徳学園高等学校	15	初	179	137				28 - 5	
		選手	福本 優太	報徳学園高等学校	17	初	173	96				28 - 6	
		選手	山村 虎徹	報徳学園高等学校	15		182	115				28 - 7	
和歌山县	志村大器	先鋒	藤谷 奏斗	和歌山県立箕島高等学校	16	初	170	120				30 - 1	
		二陣	延原 輝真	和歌山県立箕島高等学校	16	初	170	115				30 - 2	
		中堅	橋爪 楓芽	和歌山県立箕島高等学校	17		180	135				30 - 3	
		副将	井ノ上 力也	和歌山県立箕島高等学校	17	初	170	100				30 - 4	
		大将	長島 吏夢	和歌山県立箕島高等学校	16	初	180	155				30 - 5	
		選手	麻田 遥人	和歌山県立箕島高等学校	17	3	180	120				30 - 6	
		選手	山田 心太朗	和歌山県立箕島高等学校	16	初	180	135				30 - 7	
鳥取県	石浦外喜義	先鋒	片桐 恭晟	鳥取城北高等学校	15		172	140				31 - 1	
		二陣	豊田 倫之亮	鳥取城北高等学校	16	初	165	110				31 - 2	
		中堅	チョローンバートル サンチルガリデ	鳥取城北高等学校	16	初	195	155				31 - 3	
		副将	井上 泰我	鳥取城北高等学校	17	初	190	155				31 - 4	
		大将	小林 梅太	鳥取城北高等学校	17	初	190	160				31 - 5	
		選手	川崎 永遠	鳥取城北高等学校	16	初	176	110				31 - 6	
		選手	富山 大翔	鳥取城北高等学校	16	初	177	127				31 - 7	

少年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	在学学校名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
島根県	竹本昇	先鋒	山崎誠心	島根県立隱岐水産高等学校	16	初	160	85				32-1	
		二陣	加藤朱嵐	出雲西高等学校	16		174	76				32-2	
		中堅	山本透吾	島根県立隱岐水産高等学校	15	初	170	85				32-3	
		副将	吉田大蔵	島根県立隱岐水産高等学校	15	初	170	75				32-4	
		大将											
		選手											
		選手											
岡山县	津村勝人	先鋒	夕川純一朗	岡山理科大学附属高校	15		180	126				33-1	
		二陣	酒井丈瑠	岡山理科大学附属高校	16		169	142				33-2	
		中堅	土橋誠羽	岡山理科大学附属高校	16	初	177	120				33-3	
		副将	中村晃陽	岡山理科大学附属高校	17	初	168	93				33-4	
		大将	後藤優日	岡山理科大学附属高校	16	初	172	79				33-5	
		選手	江道寺晴大	岡山県立勝山高校	17		183	135				33-6	
		選手	中村皇太	岡山理大附属高校	15		165	73				33-7	
広島県	谷崎大樹	先鋒	山崎輝真	尾道高等学校	15		177	90				34-1	
		二陣	村松心	近畿大学附属広島高等学校東広島校	17		178	100				34-2	
		中堅	進藤哲平	広島県立竹原高等学校	15		165	85				34-3	
		副将	西村倖智	広島県立竹原高等学校	17	初	168	83				34-4	
		大将	藤井琉天	尾道高等学校	16		175	87				34-5	
		選手	山中堅慎	広島県立竹原高等学校	17	初	170	102				34-6	
		選手	森岡健太	広島県立瀬戸田高等学校	16		165	95				34-7	
山口県	朝岡輝喜	先鋒	大木雅翔	山口県立南陽工業高等学校	15		165	95				35-1	
		二陣	宇都宮空星	山口県立下関北高等学校	17		170	65				35-2	
		中堅	中嶋誠一郎	山口県立南陽工業高等学校	16		168	97				35-3	
		副将	野上侑聖	山口県立下関北高等学校	17		171	60				35-4	
		大将	河野泰士	山口県立大津緑洋高等学校	17		169	76				35-5	
		選手	安田成輝	山口県立南陽工業高等学校	15		161	84				35-6	
		選手											
香川県	田中裕十	先鋒	野中稟太	県立農業経営高等学校	15		170	84				36-1	
		二陣	谷望来	県立高松南高等学校	17		168	120				36-2	
		中堅	佃亮弥	県立高松南高等学校	16		158	75				36-3	
		副将	谷澤樟大	県立高松南高等学校	17		170	78				36-4	
		大将	大石弦汰	県立高松南高等学校	15		172	120				36-5	
		選手	湯浅龍道	県立農業経営高等学校	16		176	70				36-6	
		選手											
徳島県	美馬弘典	先鋒	大野佑太	名西高等学校	15		170	105				37-1	
		二陣	石井暖人	名西高等学校	16		180	132				37-2	
		中堅	松原匠	名西高等学校	15		167	96				37-3	
		副将	長谷川獎	名西高等学校	17	初	170	117				37-4	
		大将	森本蒼空	名西高等学校	16		167	75				37-5	
		選手											
		選手											

少年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	在学学校名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
愛媛県	鎌谷健太郎	先鋒	渡邊聰一郎	愛媛県立野村高等学校	17	初	178	133				38 - 1	
		二陣	藤野璃星	愛媛県立野村高等学校	17	2	165	112				38 - 2	
		中堅	兵頭央脩	愛媛県立野村高等学校	16	初	176	140				38 - 3	
		副将	兵頭瑛太	愛媛県立野村高等学校	16	初	180	118				38 - 4	
		大将	河野竜士	愛媛県立野村高等学校	17	初	175	90				38 - 5	
		選手	岩森佑太	愛媛県立宇和島水産高等学校	15		170	117				38 - 6	
		選手	三瀬櫻	愛媛県立野村高等学校	17		172	85				38 - 7	
高知県	村上吉隆	先鋒	西岡大悟	高知県立高知工業高等学校	17		172	98				39 - 1	
		二陣	森川熙光	高知県立高知農業高等学校	16		176	92				39 - 2	
		中堅	アンドアディテヤ	明徳義塾高等学校	16	初	172	120				39 - 3	
		副将	竹村蓮	高知県立高知農業高等学校	17		180	160				39 - 4	
		大将	別役優樹	高知県立高知工業高等学校	16		167	93				39 - 5	
		選手	坂本遼	明徳義塾高等学校	17	初	158	120				39 - 6	
		選手	浜田美汰	明徳義塾高等学校	15		170	108				39 - 7	
福岡県	佐伯競	先鋒	園田大空	希望が丘高等学校	17	初	178	113				40 - 1	
		二陣	小川雄飛	福岡県立福岡魁誠高等学校	17	2	181	135				40 - 2	
		中堅	永露蓮	希望が丘高等学校	17	初	167	90				40 - 3	
		副将	古賀巧	希望が丘高等学校	17	初	177	110				40 - 4	
		大将	エルデネバートル デンデブドルジ	希望が丘高等学校	17	初	181	107				40 - 5	
		選手	福田優聖	希望が丘高等学校	17	初	181	120				40 - 6	
		選手	小早川賢銳	希望が丘高等学校	17	初	168	79				40 - 7	
佐賀県	轟木信之介	先鋒	小旗颯真	佐賀県立多久高等学校	15		168	87				41 - 1	
		二陣	熊本涼太郎	佐賀県立多久高等学校	17	初	173	88				41 - 2	
		中堅	岡本慶飛	佐賀県立多久高等学校	16		172	140				41 - 3	
		副将	小旗正宗	佐賀県立伊万里実業高等学校	17	初	173	127				41 - 4	
		大将	福田将大	北陵高等学校	17		164	68				41 - 5	
		選手	清水蒼空	佐賀県立多久高等学校	15		168	67				41 - 6	
		選手											
長崎県	石山雄太	先鋒	エゴール チュグン	長崎県立長崎鶴洋高等学校	17	初	188	168				42 - 1	
		二陣	佐藤青昊	長崎県立諫早農業高等学校	17	初	176	96				42 - 2	
		中堅	大浦朋晃	長崎県立諫早農業高等学校	17	初	174	98				42 - 3	
		副将	田渕龍馬	長崎県立諫早農業高等学校	16	初	166	115				42 - 4	
		大将	松口幸弘	長崎県立北松農業高等学校	17	初	172	98				42 - 5	
		選手	西山瑛太	長崎県立長崎鶴洋高等学校	17	初	170	115				42 - 6	
		選手	薄本翔平	長崎県立北松農業高等学校	16	初	174	135				42 - 7	
熊本県	早野将史	先鋒	山下正清	文徳高等学校	17	初	173	150				43 - 1	
		二陣	伊藤博英	熊本県立熊本農業高等学校	17	2	173	135				43 - 2	
		中堅	尾川蓮太	熊本県立熊本農業高等学校	16	2	183	135				43 - 3	
		副将	倉岡優太	熊本県立熊本農業高等学校	17	2	174	128				43 - 4	
		大将	坂田俊輔	文徳高等学校	17	初	178	130				43 - 5	
		選手	佐藤珀呂汎	熊本県立熊本農業高等学校	15		179	110				43 - 6	
		選手	濱洲叶白郎	文徳高等学校	17	初	171	133				43 - 7	

少年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	在学学校名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
大分県	恒賀正則	先鋒	田中翔盛	大分県立中津東高等学校	17		175	145				44-1	
		二陣	梅木広兜	大分県立日田林工高等学校	17	初	175	140				44-2	
		中堅	野口勇	大分県立日田林工高等学校	16	初	175	120				44-3	
		副将	野島陽向	大分県立中津東高等学校	17		165	98				44-4	
		大将	武石龍親	大分県立日田林工高等学校	17	初	170	125				44-5	
		選手	宮名利昭斗	東九州龍谷高等学校	17		175	115				44-6	
		選手	後藤大喜	東九州龍谷高等学校	17		182	99				44-7	
宮崎県	堀慎太郎	先鋒	河野暁志	鵬翔高等学校	17		175	80				45-1	
		二陣	河野春季	鵬翔高等学校	15		164	83				45-2	
		中堅	永野航	県立高千穂高等学校	17		178	100				45-3	
		副将	本村瑠唯	鵬翔高等学校	17		166	76				45-4	
		大将	金丸魁成	鵬翔高等学校	16		170	118				45-5	
		選手											
		選手											
鹿児島県	安田貴浩	先鋒	有川空雅	鹿児島実業高等学校	16	2	172	128				46-1	
		二陣	泉洸慎	樟南高等学校	17	2	168	105				46-2	
		中堅	俵幸平	樟南高等学校	17	2	175	120				46-3	
		副将	菅間伝心	鹿児島実業高等学校	17	2	173	125				46-4	
		大将	龍山克真	鹿児島実業高等学校	16	2	171	97				46-5	
		選手	益山虎大	鹿児島実業高等学校	16	2	166	90				46-6	
		選手	井手捺貴	鹿児島実業高等学校	16	初	171	125				46-7	
沖縄県	小濱寿	先鋒	玉城鳳真	北部農林高等学校	15		174	95				47-1	
		二陣	玉城春翔	北部農林高等学校	16		172	85				47-2	
		中堅	前田幸之丞	中部農林高等学校	16		170	85				47-3	
		副将	照屋颯人	中部農林高等学校	16		180	120				47-4	
		大将	川田太陽	北部農林高等学校	16		173	75				47-5	
		選手	宮城将	中部農林高等支援学校	16		167	120				47-6	
		選手	玉城伝紳	中部農林高等学校	16		163	70				47-7	

少年男子団体予選第1回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

高知県 対 熊本県							香川県 対 兵庫県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位
1	西岡 大悟						山下 正清	初					上垣 漢人	
	森川 熙光						伊藤 博英	2					西田 晶	初
	アナンド アディテヤ	初					尾川 蓮太	2					田中 彰人	2
	竹村 蓮						倉岡 優太	2					中川 隆雅	初
	別役 優樹						坂田 俊輔	初					岩本 岳士	初
大阪府 対 滋賀県							富山県 対 茨城県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位
2	松井 遥海	2					川上 大知						清水 毅史	
	東山 勝貴	2					三橋 昇也	初					今井 望夢	
	来守谷 唯人	2					相川 蓮	初					谷川 太志郎	
	松井 碧星	2					藤本 結志						秦 大士	
	稻富 央樹	2					宮川 璃桜						磯田 天音	
山形県 対 宮崎県							山口県 対 秋田県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位
3	樋口 大和						河野 晓志						石川 霞	2
	今川 令羅						河野 春季						石川 神羽	2
	板垣 成	初					永野 航						岸野 公祐	初
	沼澤 利珠						本村 瑠唯						長岐 征馬	初
	星川 怜紅						金丸 魁成						伊藤 綱大	3
千葉県 対 岐阜県							埼玉県 対 山梨県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位
4	浦山 将瑛	初					春日井 雅大						金子 聖	初
	澤 和輝						田中 東明						天野 雄策	
	喜友名 琉	初					梅村 宗佑						土方 蓮志	
	鴻田 匠汰						田島 千照						帶金 秀弥	
	加藤 文尊						重綱 陽翔						中村 那偉斗	
福岡県 対 北海道							愛知県 対 鹿児島県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位
5	園田 大空	初					濱野 涼						有川 空雅	2
	小川 雄飛	2					赤石 海						泉 洸慎	2
	永露 蓮	初					藤本 元氣						俵 幸平	2
	古賀 巧	初					鈴木 一二三	2					菅間 伝心	2
	エルデネバートル デンデブドルジ	初					牧野 大樹	初					龍山 克真	2
三重県 対 大分県							島根県 対 岩手県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位
6	後藤 隼斗						田中 翔盛						安ヶ平 瑞真	
	平賀 瑛大	初					梅木 広兜	初					工藤 瑞誠	初
	中西 錛	初					野口 勇	初					武田 明馬	
	森口 義仁						野島 陽向						武田 昇馬	初
	中西 章翔	初					武石 龍親	初					佐々木 勇吾	

少年男子団体予選第1回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

		広島県 対 佐賀県							愛媛県 対 石川県						
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
13	山崎輝真						小旗颯真		渡邊聰一郎	初				野口明輝	2
	村松心						熊本涼太郎	初	藤野璃星	2				大谷夏希	2
	進藤哲平						岡本慶飛		兵頭央脩	初				本間侑亮	初
	西村偉智	初					小旗正宗	初	兵頭瑛太	初				井口一太	2
	藤井琉天						福田将大		河野竜士	初				中村颯斗	
		新潟県 対 長崎県					福井県 対 宮城県								
14	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
	長井良聖	初				エゴール チュグン	初	北村駿人	初				遠藤健太郎		
	岩田涼					佐藤青昊	初	小林恒介	初				佐々木蓮斗		
	生越健太					大浦朋晃	初	池端勇希	初				千葉優弥	初	
	湯浅空人	初				田渕龍馬	初	福島正之	初				北條篤生		
		鳥取県 対 群馬県					静岡県 対 和歌山県								
15	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
	片桐恭晟					吉田浩大		益子拓也	2				藤谷奏斗	初	
	豊田倫之亮	初				里見成彦	初	山之内大徳					延原甥真	初	
	チョローンパートル サンチルガリデ	初				石川陽斗		安岡風琥					橋爪楓芽		
	井上泰我	初				丸橋翼	初	西尾勇斗	2				井ノ上力也	初	
		栃木県 対 東京都					徳島県 対 福島県								
16	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
	石川大凱	初				宮崎慶仁朗	初	大野佑太					菊田流雅	初	
	横山颯					児玉颯飛	2	石井暖人					佐藤光汰朗	初	
	深澤真咲斗					甲斐田龍馬	初	松原匠					蓮沼一聖		
	廣瀬櫂都	初				重田直太郎	初	長谷川獎	初				五十嵐涼馬	初	
		岡山県 対 沖縄県					森本蒼空								
17	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
	夕川純一朗					玉城鳳真		和田野翔哉					小笠原広祐	初	
	酒井丈瑠					玉城春翔		井上耀	初				須々田蒼天	初	
	土橋誠羽	初				前田幸之丞		原田泰誠	初				藤田偉榮	初	
	中村晃陽	初				照屋颯人		小林蒼空					三浦孝太	初	
		神奈川県 対 長野県					奈佐翼								
18	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
	バトエルデン バトルボルド					伊藤怜央		和田野翔哉					奈良悠真		
	吉岡竜大	2				石黒天基		井上耀	初						
	根上航平					吉本斗羽	初	原田泰誠	初						
	太田力月					千邑拓夢		小林蒼空							
		木村弥雲					川田太陽								

少年男子団体予選第2回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

高知県 対 宮崎県							香川県 対 秋田県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位
1	西岡 大悟						河野 晓志						石川 晟	2
	森川 熙光						河野 春季						石川 神羽	2
	アナンド アディテヤ	初					永野 航						岸野 公祐	初
	竹村 蓮						本村 瑠唯						長岐 征馬	初
	別役 優樹						金丸 魁成						伊藤 綱大	3
大阪府 対 岐阜県							富山県 対 山梨県							
2	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗		選手氏名	段位
	松井 遥海	2					春日井 雅大						金子 聖	初
	東山 勝貴	2					田中 東明						天野 雄策	
	来守谷 唯人	2					梅村 宗佑						土方 蓮志	
	松井 碧星	2					田島 千照						帶金 秀弥	
稻富 央樹 2 対 重綱 陽翔							井畠 悠希 初 対 中村 那偉斗							
山形県 対 北海道							山口県 対 鹿児島県							
3	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗		選手氏名	段位
	樋口 大和						濱野 涼						有川 空雅	2
	今川 令羅						赤石 海						泉 洸慎	2
	板垣 成	初					藤本 元気						俵 幸平	2
	沼澤 利珠						鈴木 一二三	2					菅間 伝心	2
星川 怜紅 対 牧野 大樹 初							河野 泰士 対 龍山 克真							
千葉県 対 大分県							埼玉県 対 岩手県							
4	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗		選手氏名	段位
	浦山 将瑛	初					田中 翔盛						田宮 愛喜	初
	澤 和輝						梅木 広兜	初					垣添 玄空	
	喜友名 瑞	初					野口 勇	初					奥田 蒼真	初
	鴻田 匠汰						野島 陽向						竹澤 光	
加藤 丈尊 初 対 武石 龍親 初							永松 慧悟 初 対 佐々木 勇吾							
福岡県 対 兵庫県							愛知県 対 佐賀県							
5	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗		選手氏名	段位
	園田 大空	初					上垣 凜人						波部 仁志	
	小川 雄飛	2					西田 晶	初					久野 聰	
	永露 蓮	初					田中 彰人	2					内藤 雷太	
	古賀 巧	初					中川 隆雅	初					加藤 綾真	
エルネバートル デンデブドルジ 初 対 岩本 岳士 初							奥田 恵史 初 対 福田 将大							
三重県 対 茨城県							島根県 対 長崎県							
6	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗		選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗		選手氏名	段位
	後藤 隼斗						清水 肅史						山崎 誠心	初
	平賀 瑛大	初					今井 望夢						加藤 朱嵐	
	中西 錠	初					谷川 太志郎						山本 透吾	
	森口 義仁						秦 大士						吉田 大蔵	
中西 章翔 初 対 磯田 天音							吉田 大蔵 初 対 松口 幸弘							

少年男子団体予選第2回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

13	広島県 対 群馬県						愛媛県 対 和歌山県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	
	山崎輝真					吉田浩大		渡邊聰一郎	初			藤谷奏斗	初
	村松心					里見成彦	初	藤野璃星	2			延原甥真	初
	進藤哲平					石川陽斗		兵頭央脩	初			橋爪楓芽	
	西村偉智	初				丸橋翼	初	兵頭瑛太	初			井ノ上力也	初
14	藤井琉天					松田興征		河野竜士	初			長島吏夢	初
	新潟県 対 東京都						福井県 対 福島県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	選手氏名	段位
	長井良聖	初				宮崎慶仁朗	初	北村駿人	初			菊田流雅	初
	岩田涼					児玉颯飛	2	小林恒介	初			佐藤光汰朗	初
	生越健太					甲斐田龍馬	初	池端勇希	初			蓮沼一聖	
15	湯浅空人	初				重田直太郎	初	福島正之	初			五十嵐涼馬	初
	多田福之助	初				澤田一輝		藤田璃音				清野勇翔	
	鳥取県 対 沖縄県						静岡県 対 青森県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	選手氏名	段位
	片桐恭晟					玉城鳳真		益子拓也	2			小笠原広祐	初
	豊田倫之亮	初				玉城春翔		山之内大徳				須々田蒼天	初
16	ショーローンパートル サンチルガリデ	初				前田幸之丞		安岡風琥				藤田偉榮	初
	井上泰我	初				照屋颯人		西尾勇斗	2			三浦孝太	初
	小林梅太	初				川田太陽		岸本一路	2			奈良悠真	
	栃木県 対 長野県						徳島県 対 熊本県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	選手氏名	段位
	石川大凱	初				伊藤怜央		大野佑太				山下正清	初
17	横山颯					石黒天基		石井暖人				伊藤博英	2
	深澤真咲斗					吉本斗羽	初	松原匠				尾川蓮太	2
	廣瀬櫂都	初				千邑拓夢		長谷川獎	初			倉岡優太	2
	高橋安滋					畠山瑛太		森本蒼空				坂田俊輔	初
	岡山県 対 石川県						京都府 対 滋賀県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	選手氏名	段位
18	夕川純一朗					野口明輝	2	和田野翔哉				川上大知	
	酒井丈瑠					大谷夏希	2	井上耀	初			三橋昇也	初
	土橋誠羽	初				本間侑亮	初	原田泰誠	初			相川蓮	初
	中村晃陽	初				井口一太	2	小林蒼空				藤本結志	
	後藤優日	初				中村颯斗		奈佐翼				宮川璃桜	
	神奈川県 対 宮城県												
19	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位						
	バトルエルデン バトルボルド					遠藤健太郎							
	吉岡竜大	2				佐々木蓮斗							
	根上航平					千葉優弥	初						
	太田力月					北條篤生							
	木村弥雲					富田陸斗	初						

少年男子団体予選第3回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

高知県 対 北海道							香川県 対 鹿児島県							
1	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	西岡 大悟					濱野 涼		野中 祁太					有川 空雅	2
	森川 熙光					赤石 海		谷 望来					泉 洸慎	2
	アナンド アディテヤ	初				藤本 元気		佃 亮弥					俵 幸平	2
	竹村 蓮					鈴木 一二三	2	谷澤 樟大					菅間 伝心	2
	別役 優樹					牧野 大樹	初	大石 弦汰					龍山 克真	2
大阪府 対 大分県							富山県 対 岩手県							
2	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	松井 遥海	2				田中 翔盛		水島 礼煌	初				安ヶ平 瑞真	
	東山 勝貴	2				梅木 広兜	初	三澤 賢人	初				工藤 瑞誠	初
	来守谷 唯人	2				野口 勇	初	平河 シャーン	初				武田 明馬	
	松井 碧星	2				野島 陽向		島尻 大詩	初				武田 昇馬	初
	稻富 央樹	2				武石 龍親	初	井畠 悠希	初				佐々木 勇吾	
山形県 対 兵庫県							山口県 対 佐賀県							
3	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	樋口 大和					上垣 凜人		大木 雅翔					小旗 風真	
	今川 令羅					西田 晶	初	宇都宮 空星					熊本 涼太郎	初
	板垣 成	初				田中 彰人	2	中嶋 誠一郎					岡本 慶飛	
	沼澤 利珠					中川 隆雅	初	野上 侑聖					小旗 正宗	初
	星川 怜紅					岩本 岳士	初	河野 泰士					福田 将大	
千葉県 対 茨城県							埼玉県 対 長崎県							
4	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	浦山 将瑛	初				清水 毅史		田宮 愛喜	初				エゴール チュグン	初
	澤 和輝					今井 望夢		垣添 玄空					佐藤 青昊	初
	喜友名 瑞	初				谷川 太志郎		奥田 蒼真	初				大浦 朋晃	初
	鴻田 匠汰					秦 大士		竹澤 光					田渕 龍馬	初
	加藤 文尊					磯田 天音		永松 慧悟	初				松口 幸弘	初
福岡県 対 秋田県							愛知県 対 群馬県							
5	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	園田 大空	初				石川 晟	2	波部 仁志					吉田 浩大	
	小川 雄飛	2				石川 神羽	2	久野 聰					里見 成彦	初
	永露 蓮	初				岸野 公祐	初	内藤 雷太					石川 陽斗	
	古賀 巧	初				長岐 征馬	初	加藤 綾真					丸橋 翼	初
	エルデネバートル デンデブドルジ	初				伊藤 綱大	3	奥田 恵史					松田 興征	
三重県 対 山梨県							島根県 対 東京都							
6	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	後藤 隼斗					金子 聖	初	山崎 誠心	初				宮崎 慶仁朗	初
	平賀 瑛大	初				天野 雄策		加藤 朱嵐					児玉 風飛	2
	中西 錫	初				土方 蓮志		山本 透吾	初				甲斐田 龍馬	初
	森口 義仁					帶金 秀弥		吉田 大蔵	初				重田 直太郎	初
	中西 章翔	初				中村 那偉斗							澤田 一輝	

少年男子団体予選第3回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

		広島県 対 沖縄県						愛媛県 対 青森県					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	選手氏名	段位
13	山崎輝真						玉城鳳真		渡邊聰一郎	初		小笠原広祐	初
	村松心						玉城春翔		藤野璃星	2		須々田蒼天	初
	進藤哲平						前田幸之丞		兵頭央脩	初		藤田偉榮	初
	西村偉智	初					照屋颯人		兵頭瑛太	初		三浦孝太	初
	藤井琉天						川田太陽		河野竜士	初		奈良悠真	
		新潟県 対 長野県						福井県 対 熊本県					
14	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	選手氏名	段位	
	長井良聖	初				伊藤怜央		北村駿人	初		山下正清	初	
	岩田涼					石黒天基		小林恒介	初		伊藤博英	2	
	生越健太					吉本斗羽	初	池端勇希	初		尾川蓮太	2	
	湯浅空人	初				千邑拓夢		福島正之	初		倉岡優太	2	
		鳥取県 対 石川県						静岡県 対 滋賀県					
15	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	選手氏名	段位	
	片桐恭晟					野口明輝	2	益子拓也	2		川上大知		
	豊田倫之亮	初				大谷夏希	2	山之内大徳			三橋昇也	初	
	ショーローンバートル サンチルガリデ	初				本間侑亮	初	安岡風琥			相川蓮	初	
	井上泰我	初				井口一太	2	西尾勇斗	2		藤本結志		
		栃木県 対 宮城県						徳島県 対 宮崎県					
16	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	選手氏名	段位	
	石川大凱	初				遠藤健太郎		大野佑太			河野暁志		
	横山颯					佐々木蓮斗		石井暖人			河野春季		
	深澤真咲斗					千葉優弥	初	松原匠			永野航		
	廣瀬櫂都	初				北條篤生		長谷川獎	初		本村瑠唯		
		岡山県 対 和歌山県						森本蒼空					
17	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	選手氏名	段位	
	夕川純一朗					藤谷奏斗	初	和田野翔哉			春日井雅大		
	酒井丈瑠					延原甥真	初	井上耀	初		田中東明		
	土橋誠羽	初				橋爪楓芽		原田泰誠	初		梅村宗佑		
	中村晃陽	初				井ノ上力也	初	小林蒼空			田島千照		
		神奈川県 対 福島県						奈佐翼					
18	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	選手氏名	段位	
	バトルエルデン バトルボルド					菊田流雅	初				重綱陽翔		
	吉岡竜大	2				佐藤光汰朗	初						
	根上航平					蓮沼一聖							
	太田力月					五十嵐涼馬	初						
		木村弥雲						清野勇翔					

少年男子団体予選勝数得点表

都道府県名	得点			勝 数	得点計	順 位	都道府県名	得点			勝 数	得点計	順 位
	1	2	3					1	2	3			
1 北海道							25 滋賀県						
2 青森県							26 京都府						
3 岩手県							27 大阪府						
4 宮城县							28 兵庫県						
5 秋田県							29 奈良県						
6 山形県							30 和歌山県						
7 福島県							31 鳥取県						
8 茨城県							32 島根県						
9 栃木県							33 岡山県						
10 群馬県							34 広島県						
11 埼玉県							35 山口県						
12 千葉県							36 香川県						
13 東京都							37 徳島県						
14 神奈川県							38 愛媛県						
15 山梨県							39 高知県						
16 新潟県							40 福岡県						
17 長野県							41 佐賀県						
18 富山县							42 長崎県						
19 石川県							43 熊本県						
20 福井県							44 大分県						
21 静岡県							45 宮崎県						
22 愛知県							46 鹿児島県						
23 三重県							47 沖縄県						
24 岐阜県													

団体決勝トーナメント戦進出都道府県実績表

勝 数	得 点	都 道 府 県 名						
3勝	15点							
	14点							
	13点							
	12点							
	11点							
	10点							
	9点							
2勝	12点							
	11点							
	10点							
	9点							
	8点							
	7点							
	6点							

少年男子団体予選同点決勝戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

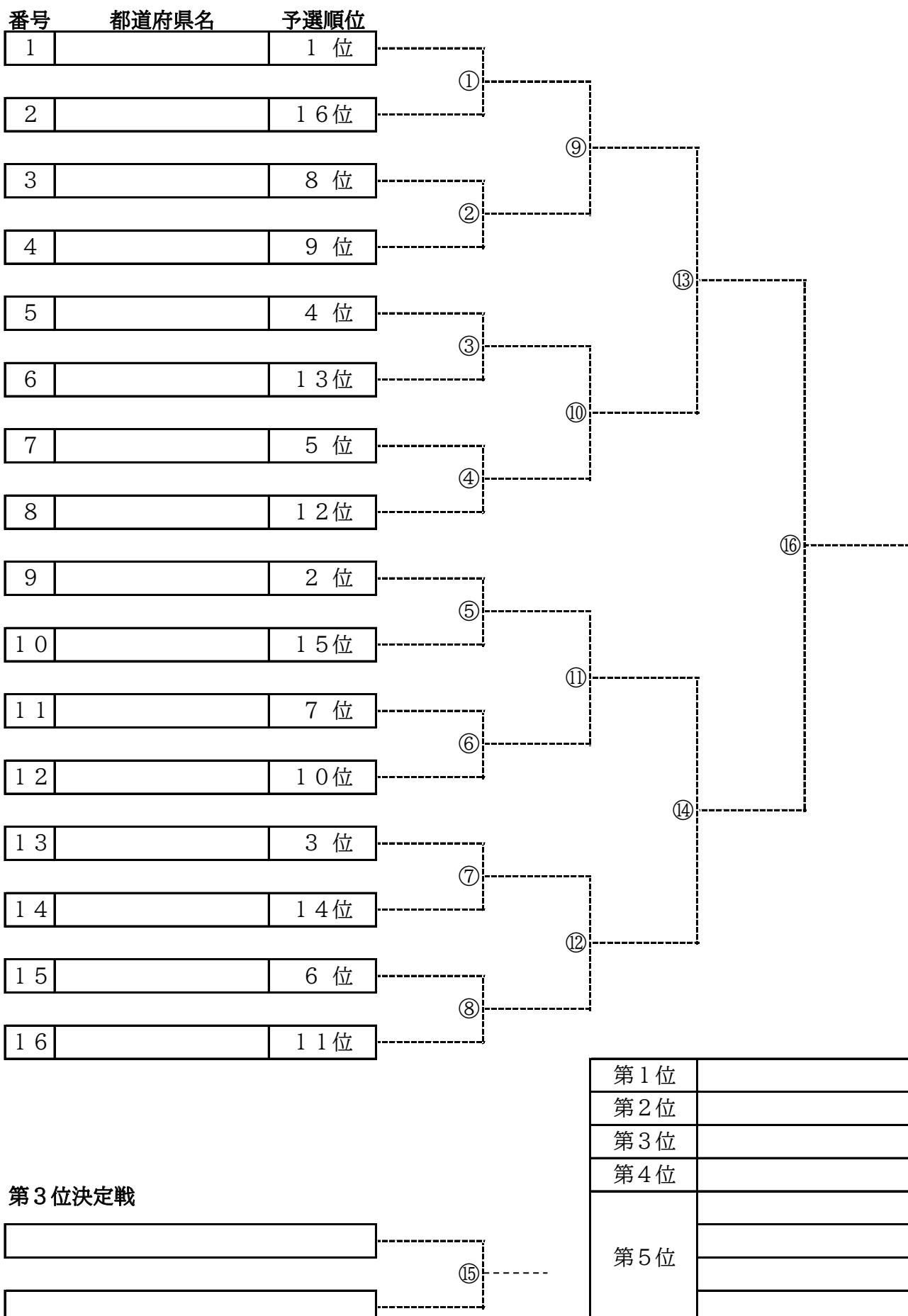
	対							対						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
1							7							
2	対						8	対						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
3	対						9	対						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
4	対						10	対						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
5	対						11	対						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
6	対						12	対						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位

[MEMO]

第 2 日 目
9月30日(火)

少年男子団体決勝トーナメント戦組合せ表

※抽選終了後の組合せ表を貼付けして下さい。



少年男子団体決勝トーナメント戦対戦表 (第1回戦)

(東)

(西)

第1回戦	1 ①	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	2 ②	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	3 ③	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	4 ④	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	5 ⑤	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	6 ⑥	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	7 ⑦	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	8 ⑧	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名

少年男子団体決勝トーナメント戦対戦表
(準々決勝戦～決勝戦)

(東)

(西)

準々 決勝戦	1 ⑨	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	2 ⑩	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	3 ⑪	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	4 ⑫	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
準決 勝戦	1 ⑬	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	2 ⑭	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
第3位 決定戦	⑮	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
決勝戦	⑯	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名

少年男子個人決勝トーナメント戦組合せ表

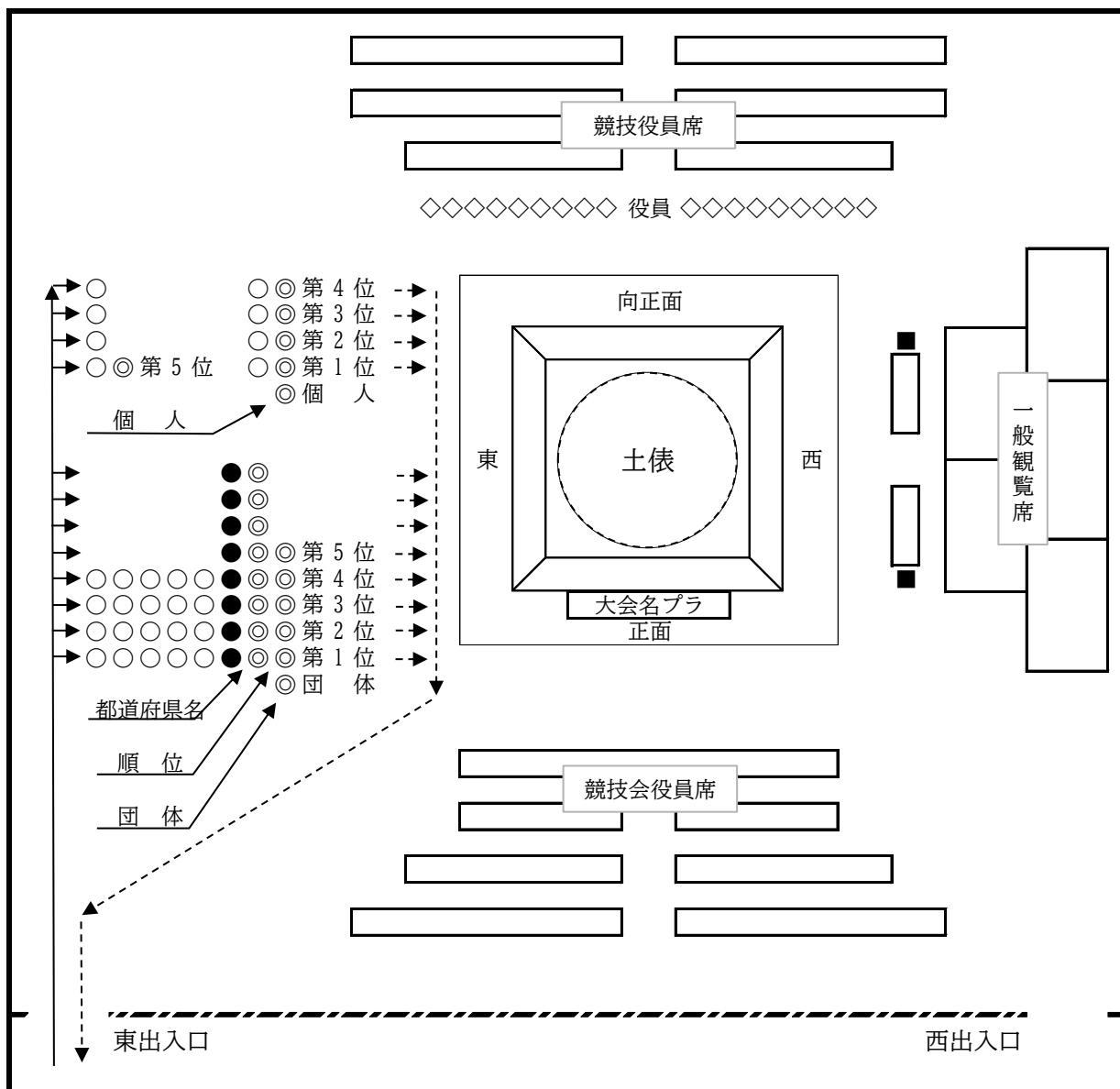
※個人戦抽選終了後、トーナメント表を貼付して下さい。

少年男子表彰式

9月30日(火) 13時00分

次	第
<p>[役員・選手団整列]</p> <p>1. 開式通告 2. 成績発表 滋賀県相撲連盟 理事長 辻 久美仁 3. 奨状授与 競技会 会長 豊田 章男</p>	<p>4. 閉式通告 [選手団退場] ※選手団退場後、感謝状贈呈・名誉段位証書授与 [役員退場]</p>

選手団配置概要図



※監督は、スリッパを着用する。

【凡例】 プラカード ◎ 監督 ● 選手 ○ 入場経路 → 退場経路 - - - →

成年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	勤務先名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
北海道	白神治	先鋒	白神嶺治	(株)白神さく泉	22	3	181	155				1 - 1	
		中堅	横尾悠翔	東洋大学	19	3	175	152				1 - 2	
		大将	佐藤友輝	安平町役場	27	4	175	110				1 - 3	
		選手	佐藤勇輝	北広島市役所	33	4	168	110				1 - 4	
		選手	東亮佑	日本大学	20	3	172	100				1 - 5	
青森県	円子政範	先鋒	谷内勝哉	青森県立名久井農業高等学校(教)	22	4	180	145				2 - 1	
		中堅	山下渉	むつ市立むつ中学校(教)	22	4	175	130				2 - 2	
		大将	長内風道	近畿大学	19	3	175	115				2 - 3	
		選手	新保義也	青森県立柏木農業高等学校(教)	22	4	174	105				2 - 4	
		選手	佐藤駿耶	近畿大学	19	3	170	125				2 - 5	
岩手県	田澤和麻	先鋒	五十嵐敦	盛岡市役所	36	4	188	160				3 - 1	
		中堅	田村勇希	岩手県立平館高等学校(教)	23	3	175	145				3 - 2	
		大将	長内龍	岩手県立気仙光陵支援学校(教)	24	4	180	145				3 - 3	
		選手	上川力	三研ソイル株式会社	23	3	176	105				3 - 4	
		選手	谷地勇飛	岩手県立福岡高等学校(教)	25	3	174	120				3 - 5	
宮城県	安藤拓哉	先鋒	佐藤綜哉	宮城県農業高等学校(教)	22	4	174	115				4 - 1	
		中堅	後藤大翔	東京農業大学	21	3	180	135				4 - 2	
		大将	加藤聖也	株式会社ミツウロコヴェッセル東北	26	4	166	88				4 - 3	
		選手	北村直樹	小牛田農林高等学校(教)	30	4	175	100				4 - 4	
		選手	阿部凌成	東京農業大学	19	2	180	110				4 - 5	
秋田県	小林和成	先鋒	児玉優翔	駒澤大学	21	4	171	137				5 - 1	
		中堅	佐藤貴規	秋田県立秋田北鷹高等学校(教)	22	3	168	115				5 - 2	
		大将	平野颯人	株式会社プレステージ・インターナショナル	23	4	176	130				5 - 3	
		選手	高垣祐太郎	株式会社プレステージ・インターナショナル	27	3	178	165				5 - 4	
		選手	斎藤貴仁	近畿大学	21	3	170	98				5 - 5	
山形県	本間健治	先鋒	田村蒼汰	大東文化大学	18	2	178	125				6 - 1	
		中堅	阿部航大	障がい者支援施設 光生園	23	2	173	78				6 - 2	
		大将	斎藤大夢	息吹産業	23	3	175	95				6 - 3	
		選手											
		選手											
福島県	皆川良輔	先鋒	阿部佑磨	駒澤大学	19	3	185	180				7 - 1	
		中堅	斎藤健	株式会社東邦銀行	32	4	184	130				7 - 2	
		大将	薄勇樹	福島県立会津農林高等学校(教)	36	4	180	130				7 - 3	
		選手	二瓶顕人	学校法人松韻学園福島高等学校(教)	39	4	180	95				7 - 4	
		選手	志賀秀登	福島県立福島明成高等学校(教)	27	4	175	107				7 - 5	
茨城県	益子翔太	先鋒	仲野奏人	東洋大学	18	初	187	155				8 - 1	
		中堅	亀井颯人	TOPPAN株式会社	23	4	173	100				8 - 2	
		大将	丹羽大河	牛久市立下根中学校(教)	23	4	175	115				8 - 3	
		選手	金子尚平	小美玉市立小川北義務教育学校(教)	32	4	170	115				8 - 4	
		選手	篠崎颯太	東洋大学	20	3	185	130				8 - 5	

成年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	勤務先名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
栃木県	益子邦浩	先鋒	直江重虎	明治大学	19	初	177	140				9-1	
		中堅	西方航	栃木県立黒羽高等学校(教)	31	4	185	120				9-2	
		大将	益子慎太郎	栃木県立南那須特別支援学校(教)	25	3	171	97				9-3	
		選手	大塚風太	国士館大学	20	初	172	133				9-4	
		選手	宮崎伊吹	東光タイヤ工業(株)	21		170	110				9-5	
群馬県	伏島啓太	先鋒	内田龍志	専修大学	21	2	175	103				10-1	
		中堅	瀧啓介	(公財)群馬県スポーツ協会	27	4	175	133				10-2	
		大将	葛西永遠	(株)グッドワン	25	3	178	145				10-3	
		選手	関口健太郎	(株)グッドワン	27	4	171	90				10-4	
		選手	武井奏良	立教大学	21	2	165	95				10-5	
埼玉県	榎本翔太	先鋒	内山翔太	日本通運株式会社	31	4	183	140				11-1	
		中堅	田崎正美	日本大学	19	初	175	112				11-2	
		大将	小山内力樹	日本通運株式会社	30	4	180	155				11-3	
		選手	小笠原将吏	(株)小笠原組	34	4	173	125				11-4	
		選手											
千葉県	山本勇吾	先鋒	三上大輝	日本通運株式会社	22	4	193	151				12-1	
		中堅	成川力哉	拓殖大学	19	2	185	117				12-2	
		大将	松永ジョージ	自営	23	3	182	155				12-3	
		選手	角田雄佑	株式会社エーワン	23	3	176	108				12-4	
		選手	斎藤榛	拓殖大学	19	2	177	91				12-5	
東京都	満留久摩	先鋒	鳥海真太郎	さいたま市立中島小学校(職)	31	3	178	110				13-1	
		中堅	橋本侑京	(株)エール	27	4	178	110				13-2	
		大将	横山響	日本体育大学	18	初	172	105				13-3	
		選手	横山司	早稲田大学	19	2	176	165				13-4	
		選手	衣笠秀晃	(株)TKS	26	4	173	105				13-5	
神奈川県	清田英彦	先鋒	リビルクリストファー	日本体育大学	21	3	192	165				14-1	
		中堅	バトジアルガル ムンクジャルガル	新名学園旭丘高等学校(教)	22	3	182	180				14-2	
		大将	奥知久	日本体育大学(職)	22	3	175	80				14-3	
		選手	小原颯太	法政大学	20		180	120				14-4	
		選手	柿谷圭司	老後を幸せにする会	35	3	170	80				14-5	
山梨県	堀内弥	先鋒	風間翔太	健康科学大学	18		175	97				15-1	
		中堅	小松亮太	株式会社シーシーダブル	22	4	175	140				15-2	
		大将	角田歩夢	ファナック株式会社	22	2	170	105				15-3	
		選手	遠藤大輔	有限会社浅野食品	29	初	170	120				15-4	
		選手	小野竜練	セコム山梨株式会社	25	初	165	110				15-5	
新潟県	福原忠之	先鋒	岡田晃周	新潟県立海洋高等学校(教)	23	4	175	95				16-1	
		中堅	長谷川凌雅	日本体育大学	21	初	175	145				16-2	
		大将	寺尾拓真	糸魚川市立青海中学校(教)	24	4	181	100				16-3	
		選手	川邊颯太	富士建設(株)	24	4	164	96				16-4	
		選手											

成年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	勤務先名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
長野県	横山雄大	先鋒	渡辺 拓	木ク卜(株)	26	4	170	105				17-1	
		中堅	高橋 透 真	東京農業大学	21	3	175	140				17-2	
		大将	本庄 優介	木ク卜(株)	23	4	192	120				17-3	
		選手	山内 裕太	長野市役所	26	4	180	100				17-4	
		選手	北村 優太	東京農業大学	20	3	178	130				17-5	
富山県	鈴木悦朗	先鋒	黒川 宗一郎	富山県相撲連盟	33	4	190	150				18-1	
		中堅	岡田 尚也	富山県相撲連盟	25	4	170	110				18-2	
		大将	山岸 力	東洋大学	20	3	171	97				18-3	
		選手	八嶋 凱登	富山県相撲連盟	22	4	167	110				18-4	
		選手	上田 将平	富山県相撲連盟	35	4	176	125				18-5	
石川県	山上慈明	先鋒	池田 俊	(株)ソディック	23	4	185	135				19-1	
		中堅	篠 侑磨	金沢学院大学	20	3	172	115				19-2	
		大将	三輪 隼斗	(株)ソディック	30	4	175	110				19-3	
		選手	森田 陽彦	金沢学院大学	20	3	178	136				19-4	
		選手	土井 敏太	(株)ソディック	23	4	160	105				19-5	
福井県	堀智行	先鋒	榎波 将史	目黒日本大学高等学校(教)	27	4	182	125				20-1	
		中堅	古澤 大樹	嶺北特別支援学校(職)	30	4	174	140				20-2	
		大将	宮下 治也	嶺北特別支援学校(職)	31	4	181	170				20-3	
		選手	武内 楓夢	金沢学院大学	20	3	175	120				20-4	
		選手	五十嵐 司	(株)伊藤電機	25	3	167	133				20-5	
静岡県	福里紳太郎	先鋒	菅原 悠翔	東洋大学	20	3	182	175				21-1	
		中堅	宇佐見 峻佑	クリエイト株式会社	28	4	172	110				21-2	
		大将	柳川 紗音	鹿島木材株式会社	21		183	125				21-3	
		選手	植松 裕貴	株式会社クリエイティブ	29	3	171	100				21-4	
		選手											
愛知県	竹内大洋	先鋒	杉本 弘樹	日本体育大学	20	3	191	170				22-1	
		中堅	藤澤 詩音	(株)アイシン	24	4	178	100				22-2	
		大将	北野 泰聖	(株)アイシン	23	4	173	105				22-3	
		選手	岡田 祐輔	(株)アイシン	31	4	175	105				22-4	
		選手											
三重県	滝田真	先鋒	竹内 宏晟	志摩市役所	26	4	177	130				23-1	
		中堅	佐藤 崇	明野高等学校(教)	29	4	172	110				23-2	
		大将	角田 虎紀	東洋大学	21	3	172	145				23-3	
		選手	大山 蓮斗	関西大学	19	初	175	100				23-4	
		選手											
岐阜県	松橋良平	先鋒	篠田 虎汰朗	明治大学	19	初	172	125				24-1	
		中堅	松橋 宙也	岐阜県立郡上特別支援学校(教)	23	3	180	110				24-2	
		大将	田畠 瑞治郎	大垣市役所	24	4	172	110				24-3	
		選手	生駒 智之	朝日大学	20	3	170	140				24-4	
		選手	丸山 紘史	岐阜県立岐阜農林高等学校(教)	26	4	180	100				24-5	

成年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	勤務先名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
滋賀県	小川吉高	先鋒	北野龍也	福山パーセルサービス株式会社	23	4	185	120				25-1	
		中堅	大元貴志	豊郷町立日栄小学校(教)	32	4	175	152				25-2	
		大将	西大星	滋賀県立長浜養護学校(教)	28	4	175	115				25-3	
		選手	田中英司郎	滋賀県立長浜養護学校(教)	23	3	180	86				25-4	
		選手											
京都府	隼木至	先鋒	青山将志	京都府立鳥羽高等学校(教)	30	4	180	150				26-1	
		中堅	山上貴弘	上村ガラス株式会社	21		178	100				26-2	
		大将	高橋大和	ソニーライフ保険株式会社	29	3	175	145				26-3	
		選手	斎藤藍	同志社大学	20	3	178	115				26-4	
		選手	小林翔	京都府立鳥羽高等学校(教)	22	3	175	100				26-5	
大阪府	辻野智尋	先鋒	神藤輝	近畿大学	20	3	173	130				27-1	
		中堅	岩見剛也	間口グループ(株)	34	4	177	130				27-2	
		大将	城裕貴	間口グループ(株)	25	3	176	130				27-3	
		選手											
		選手											
兵庫県	江本典隆	先鋒	井上雅也	兵庫県警察	30	2	175	147				28-1	
		中堅	三宅大	有限会社興隆	23	3	178	98				28-2	
		大将	山中新大	関西大学(職)	25	4	181	100				28-3	
		選手	森本一帆	兵庫県相撲連盟	26	3	176	115				28-4	
		選手											
奈良県	研谷博	先鋒	福永顕	新東工業株式会社	26	初	175	120				29-1	
		中堅	高橋龍馬	関西学院大学	21	3	165	75				29-2	
		大将	狭間響	大和大学	19	初	180	106				29-3	
		選手	清水佑弥	株式会社KADOKAWA	29	3	169	103				29-4	
		選手	山本佳昭	社会福祉法人ひまわり	40	4	183	112				29-5	
和歌山県	池田真之	先鋒	西出大毅	日本大学	18	4	180	170				30-1	
		中堅	宮崎麗	和歌山県庁	26	4	176	145				30-2	
		大将	沢田日出夫	和歌山県庁	31	4	180	160				30-3	
		選手	富田元輝	和歌山県庁	37	6	185	145				30-4	
		選手	富田有輝	和歌山県庁	39	5	183	145				30-5	
鳥取県	小村仁志	先鋒	成田力道	日本大学	20	2	175	160				31-1	
		中堅	中島望	日本大学(職)	29	4	195	160				31-2	
		大将	佐々木耕大	有限会社野田組	31	4	185	140				31-3	
		選手	西郷智博	鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課	33	4	185	150				31-4	
		選手	木崎雄也	日本大学(職)	28	4	175	130				31-5	
島根県	松井雄介	先鋒	小池千大	島根県立隠岐水産高等学校(教)	23	4	179	80				32-1	
		中堅	池田晃大	隠岐の島町役場	35	5	179	90				32-2	
		大将	松井孝弘	隠岐の島町役場	25	3	179	145				32-3	
		選手	田中太陽	隠岐の島町役場	21		179	118				32-4	
		選手											

成年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	勤務先名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
岡山県	小野 隆志	先鋒	國次晃輔	東洋大学	19	3	176	120				33-1	
		中堅	林涼太	岡山県相撲連盟	22	2	175	165				33-2	
		大将	小野陽介	岡山理科大学附属高校(教)	25	4	178	106				33-3	
		選手	恒次洸輝	(株)ナイカイアーキット	30	4	173	96				33-4	
		選手	元座亮也	東洋大学	18	2	175	140				33-5	
広島県	谷崎 雄貴	先鋒	長尾光真	三井金属鉱業(株)竹原製錬所	35	4	175	115				34-1	
		中堅	児玉亮	拓殖大学	21	3	175	145				34-2	
		大将	星野旭克	株式会社アイメックス	27	4	175	125				34-3	
		選手	谷中尚	株式会社J-Powerビジネスサービス	29	3	174	125				34-4	
		選手	斎藤芯太郎	近畿大学	19	3	175	145				34-5	
山口県	楊井 政人	先鋒	中山修羅	山口県立豊浦総合支援学校(教)	24	3	175	120				35-1	
		中堅	朝岡秀太	山口県立長府高等学校(教)	31	4	168	90				35-2	
		大将	山口颯斗	日本体育大学	21	2	179	108				35-3	
		選手	須藤洸邦	下関市立豊田中学校(教)	33	3	180	155				35-4	
		選手											
香川県	堀井 隆夫	先鋒	上原彰文	県立農業経営高等学校(教)	32	4	177	145				36-1	
		中堅	伊賀慎之助	日本大学	19	2	172	135				36-2	
		大将	横田匡加	三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校(教)	32	4	177	145				36-3	
		選手	藤澤賢清	さぬき市立さぬき南中学校(教)	24	4	168	100				36-4	
		選手	谷澤慶大	香川県小豆総合事務所	21	2	170	90				36-5	
徳島県	本田 隆史	先鋒	濱田啓史	(株)愛媛銀行	29	2	170	128				37-1	
		中堅	四宮瑠可	阿南第一中学校(教)	27	4	171	93				37-2	
		大将	相田和哉	大東文化大学	21	3	175	135				37-3	
		選手	四宮玲央	徳島トヨタ自動車(株)	22	3	170	86				37-4	
		選手	早渕伊咲	大東文化大学	20	2	175	85				37-5	
愛媛県	上杉 博賢	先鋒	福原丈一朗	東洋大学	18	2	180	130				38-1	
		中堅	田中大介	日本通運株式会社	27	4	185	160				38-2	
		大将	山口怜央	公益財団法人正光会	26	4	175	110				38-3	
		選手	近平佳多朗	愛南町役場	29	4	185	105				38-4	
		選手	久保海心	(株)三福ホールディングス	22	3	170	110				38-5	
高知県	岩松辰彦	先鋒	有光一生	高知県立高知農業高等学校(教)	25	4	165	105				39-1	
		中堅	中村悠星	日本通運株式会社	27	4	170	135				39-2	
		大将	奥田史祐	東洋大学	20	3	175	125				39-3	
		選手	高橋新	室戸市立羽根中学校(教)	23	3	175	95				39-4	
		選手											
福岡県	渡邊祐二	先鋒	一ノ瀬康平	福岡県立八女工業高等学校(教)	33	5	181	150				40-1	
		中堅	吉見龍之介	九州スズキ販売株式会社福岡支店	33	4	172	95				40-2	
		大将	山崎柊	日本体育大学	20	3	175	135				40-3	
		選手	伊藤拓海	法政大学	21	初	170	100				40-4	
		選手											

成年男子参加監督・選手一覧表

都道府県名	監督氏名	出場順位	選手氏名	勤務先名等	年齢	段位	身長cm	体重kg	予選成績			選手番号	備考
									1	2	3		
佐賀県	祐輔	先鋒	田中裕隆	Team SAGA SSP	23	4	176	135				41-1	
		中堅	満上颯悟	日本体育大学	20	3	180	125				41-2	
		大将	松永周三	唐津市消防本部	30	4	176	105				41-3	
		選手	宮崎龍輝	株式会社アトックス	27	4	175	115				41-4	
		選手	豆田恭成	玄海テック株式会社	23	初	180	95				41-5	
長崎県	慎吾	先鋒	木下優希	東京農業大学	21	3	185	160				42-1	
		中堅	佐藤架月	長崎刑務所	22	3	175	125				42-2	
		大将	高橋修	長崎県立長崎鶴洋高等学校(教)	36	4	188	123				42-3	
		選手	田中達也	長崎県立鶴南特別支援学校(教)	36	4	180	115				42-4	
		選手	松園大成	長崎県立長崎鶴洋高等学校(教)	26	4	180	135				42-5	
熊本県	浩貴	先鋒	川副楓馬	早稲田大学	21	3	175	145				43-1	
		中堅	古川晴貴	日本通運株式会社	29	4	178	125				43-2	
		大将	古川貴博	文徳高等学校(教)	29	4	178	120				43-3	
		選手	本田豪太郎	日本大学	20	3	180	135				43-4	
		選手	小永佑也	社会福祉法人五色会	32	4	180	130				43-5	
大分県	裕司	先鋒	新川大楽	フンドーキン醤油株式会社	22	3	192	180				44-1	
		中堅	橋本幸一	フンドーキン醤油株式会社	29	4	181	140				44-2	
		大将	江田基騎	大分県立日田支援学校(教)	22	初	183	135				44-3	
		選手	間地良太	楊志館高等学校(教)	27	3	180	120				44-4	
		選手	岩元優樹	大分県立日田林工高等学校(教)	24	4	177	115				44-5	
宮崎県	哲郎	先鋒	松本拓也	日向市役所	24	4	168	115				45-1	
		中堅	加藤順也	県立延岡星雲高等学校(教)	27	4	172	145				45-2	
		大将	下田大樹	宮崎県西臼杵支庁	19	3	173	103				45-3	
		選手	下田航樹	延岡市役所	19	3	175	105				45-4	
		選手											
鹿児島県	俊隆	先鋒	里海斗	奄美市役所	22	4	175	140				46-1	
		中堅	西加陽斗	日本大学	21	4	167	116				46-2	
		大将	谷山隆太	鹿児島県立明桜館高等学校(教)	23	4	175	135				46-3	
		選手	濱口颯翔	日本大学	21	4	176	145				46-4	
		選手	龍山和彥	瀬戸内町役場	30	4	166	100				46-5	
沖縄県	忠勝	先鋒	山城将吾	沖縄ガス	31	4	173	130				47-1	
		中堅	木崎誠仁	ニッセイファシリティ	22	3	183	135				47-2	
		大将	新垣翔太	はなさき支援学校(職)	22	3	182	120				47-3	
		選手	幸地佑大	港川中学校(教)	28	4	173	95				47-4	
		選手	與那霸大地	日本大学	21	3	168	85				47-5	

成年男子団体予選第1回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

石川県		対				鳥取県		福井県		対				栃木県		
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
1	池田俊	4				成田力道	2	7	榎波将史	4				直江重虎	初	
	篠侑磨	3				中島望	4		古澤大樹	4				西方航	4	
	三輪隼斗	4				佐々木耕大	4		宮下治也	4				益子慎太郎	3	
2	奈良県				京都府				群馬県				宮崎県			
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	8	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
	福永顕	初				青山将志	4		内田龍志	2				松本拓也	4	
	高橋龍馬	3				山上貴弘			瀧啓介	4				加藤順也	4	
3	狭間響	初				高橋大和	3	9	葛西永遠	3				下田大樹	3	
	沖縄県				大分県				山口県				富山県			
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
	山城将吾	4				新川大楽	3		中山修羅	3				黒川宗一郎	4	
4	木崎誠仁	3				橋本幸一	4	10	朝岡秀太	4				岡田尚也	4	
	新垣翔太	3				江田基騎	初		山口颯斗	2				山岸力	3	
	茨城県				青森県				東京都				鹿児島県			
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
5	仲野奏人	初				谷内勝哉	4	11	鳥海真太郎	3				里海斗	4	
	亀井颯人	4				山下渉	4		橋本侑京	4				西加陽斗	4	
	丹羽大河	4				長内風道	3		横山響	初				谷山隆太	4	
6	滋賀県				佐賀県				静岡県				和歌山県			
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	12	菅原悠翔	3				西出大毅	4	
	北野龍也	4				田中裕隆	4		宇佐見峻佑	4				宮崎麗	4	
	大元貴志	4				満上颯悟	3		柳川紗音					沢田日出夫	4	
7	西大星	4				松永周三	4	12	島根県				岩手県			
	神奈川県				兵庫県				選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位		小池千大	4				五十嵐敦	4	
	リビルクリストファー	3				井上雅也	2		池田晃大	5				田村勇希	3	
8	バトジャルガルムンクジャルガル	3				三宅大	3		松井孝弘	3				長内龍	4	
	奥知久	3				山中新大	4									

成年男子団体予選第1回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

13	福岡県 対 山形県							秋田県 対 長野県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	一ノ瀬 康平	5				田 村 蒼汰	2	児 玉 優翔	4				渡 辺 拓	4
	吉 見 龍之介	4				阿 部 航 大	2	佐 藤 貴 規	3				高 橋 透 真	3
14	山 崎 栄	3				斎 藤 大 夢	3	平 野 鳩 人	4				本 庄 優 介	4
	岐阜県 対 愛媛県							香川県 対 徳島県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	篠 田 虎 汎 朗	初				福 原 丈 一 朗	2	上 原 彰 文	4				濱 田 啓 史	2
15	松 橋 宙 也	3				田 中 大 介	4	伊 賀 慎 之 助	2				四 宮 瑠 可	4
	田 畑 燐 治 朗	4				山 口 怜 央	4	横 田 匠 加	4				相 田 和 哉	3
	宮城県 対 長崎県							北海道 対 愛知県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
16	佐 藤 総 哉	4				木 下 優 希	3	白 神 嶺 治	3				杉 本 弘 樹	3
	後 藤 大 翔	3				佐 藤 架 月	3	横 尾 悠 翔	3				藤 澤 詩 音	4
	加 藤 聖 也	4				高 橋 修	4	佐 藤 友 輝	4				北 野 泰 聖	4
	千葉県 対 熊本県							福島県 対 埼玉県						
17	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	三 上 大 輝	4				川 副 楓 馬	3	阿 部 佑 磨	3				内 山 翔 太	4
	成 川 力 哉	2				古 川 晴 貴	4	斎 藤 健	4				田 崎 正 美	初
	松 永 ジョージ	3				古 川 貴 博	4	薄 勇 樹	4				小 山 内 力 樹	4
18	山梨県 対 三重県							新潟県 対 大阪府						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	風 間 翔 太					竹 内 宏 真	4	岡 田 晃 周	4				神 藤 輝	3
	小 松 亮 太	4				佐 藤 崇	4	長 谷 川 凌 雅	初				岩 見 剛 也	4
24	角 田 歩 夢	2				角 田 虎 紀	3	寺 尾 拓 真	4				城 裕 貴	3
	広島県 対 高知県							(最少得点) 対 岡山県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	長 尾 光 真	4				有 光 一 生	4						國 次 晃 輔	3
24	児 玉 亮	3				中 村 悠 星	4						林 涼 太	2
	星 野 旭 克	4				奥 田 史 祐	3						小 野 陽 介	4

成年男子団体予選第2回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

石川県 対 佐賀県							福井県 対 和歌山県								
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
1	池田俊	4				田中裕隆	4	7	榎波将史	4				西出大毅	4
	篠侑磨	3				満上颯悟	3		古澤大樹	4				宮崎麗	4
	三輪隼斗	4				松永周三	4		宮下治也	4				沢田日出夫	4
2	奈良県 対 兵庫県							群馬県 対 岩手県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	8	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	福永顕	初				井上雅也	2		内田龍志	2				五十嵐敦	4
	高橋龍馬	3				三宅大	3		瀧啓介	4				田村勇希	3
3	狭間響	初				山中新大	4		葛西永遠	3				長内龍	4
	沖縄県 対 栃木県							山口県 対 山形県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	9	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	山城将吾	4				直江重虎	初		中山修羅	3				田村蒼汰	2
4	木崎誠仁	3				西方航	4		朝岡秀太	4				阿部航大	2
	新垣翔太	3				益子慎太郎	3		山口颯斗	2				斎藤大夢	3
5	茨城県 対 宮崎県							東京都 対 愛媛県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	10	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	仲野奏人	初				松本拓也	4		鳥海真太郎	3				福原丈一朗	2
	亀井颯人	4				加藤順也	4		橋本侑京	4				田中大介	4
6	丹羽大河	4				下田大樹	3		横山響	初				山口怜央	4
7	滋賀県 対 富山県							静岡県 対 長崎県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	11	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	北野龍也	4				黒川宗一郎	4		菅原悠翔	3				木下優希	3
	大元貴志	4				岡田尚也	4		宇佐見峻佑	4				佐藤架月	3
8	西大星	4				山岸力	3		柳川紗音					高橋修	4
9	神奈川県 対 鹿児島県							島根県 対 熊本県							
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	12	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	リビルクリストファー	3				里海斗	4		小池千大	4				川副楓馬	3
	バトジャルガルムンクジャルガル	3				西加陽斗	4		池田晃大	5				古川晴貴	4
10	奥知久	3				谷山隆太	4		松井孝弘	3				古川貴博	4

成年男子団体予選第2回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

13	福岡県 対 三重県							秋田県 対 大阪府						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	一ノ瀬 康平	5				竹内 宏晟	4	児玉 優翔	4				神藤 輝	3
	吉見 龍之介	4				佐藤 崇	4	佐藤 貴規	3				岩見 剛也	4
14	山崎 栄	3				角田 虎紀	3	平野 颯人	4				城 裕貴	3
	岐阜県 対 高知県							香川県 対 岡山県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	篠田 虎汰郎	初				有光 一生	4	上原 彰文	4				國次 晃輔	3
15	松橋 宙也	3				中村 悠星	4	伊賀 慎之助	2				林涼太	2
	田畠 燥治郎	4				奥田 史祐	3	横田 匠加	4				小野 陽介	4
	宮城県 対 長野県							北海道 対 鳥取県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
16	佐藤 総哉	4				渡辺 拓	4	白神 嶺治	3				成田 力道	2
	後藤 大翔	3				高橋 透真	3	横尾 悠翔	3				中島 望	4
	加藤 聖也	4				本庄 優介	4	佐藤 友輝	4				佐々木 耕大	4
	千葉県 対 徳島県							福島県 対 京都府						
17	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	三上 大輝	4				濱田 啓史	2	阿部 佑磨	3				青山 将志	4
	成川 力哉	2				四宮 瑠可	4	斎藤 健	4				山上 貴弘	
	松永 ジョージ	3				相田 和哉	3	薄 勇樹	4				高橋 大和	3
18	山梨県 対 愛知県							新潟県 対 大分県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	風間 翔太					杉本 弘樹	3	岡田 晃周	4				新川 大楽	3
	小松 亮太	4				藤澤 詩音	4	長谷川 凌雅	初				橋本 幸一	4
23	角田 歩夢	2				北野 泰聖	4	寺尾 拓真	4				江田 基騎	初
	広島県 対 埼玉県							(最少得点) 対 青森県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	長尾 光真	4				内山 翔太	4						谷内 勝哉	4
24	児玉 亮	3				田崎 正美	初						山下 渉	4
	星野 旭克	4				小山内 力樹	4						長内 風道	3

成年男子団体予選第3回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

石川県		富山県				福井県		長崎県					
選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
1 池田俊	4				黒川宗一郎	4	7 櫻波将史	4				木下優希	3
篠侑磨	3				岡田尚也	4	古澤大樹	4				佐藤架月	3
三輪隼斗	4				山岸力	3	宮下治也	4				高橋修	4
奈良県		鹿児島県				群馬県		熊本県					
選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
2 福永顕	初				里海斗	4	8 内田龍志	2				川副楓馬	3
高橋龍馬	3				西加陽斗	4	瀧啓介	4				古川晴貴	4
狭間響	初				谷山隆太	4	葛西永遠	3				古川貴博	4
沖縄県		和歌山県				山口県		三重県					
選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
3 山城将吾	4				西出大毅	4	9 中山修羅	3				竹内宏晟	4
木崎誠仁	3				宮崎麗	4	朝岡秀太	4				佐藤崇	4
新垣翔太	3				沢田日出夫	4	山口颯斗	2				角田虎紀	3
茨城県		岩手県				東京都		高知県					
選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
4 仲野奏人	初				五十嵐敦	4	10 鳥海真太郎	3				有光一生	4
亀井颯人	4				田村勇希	3	橋本侑京	4				中村悠星	4
丹羽大河	4				長内龍	4	横山響	初				奥田史祐	3
滋賀県		山形県				静岡県		長野県					
選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
5 北野龍也	4				田村蒼汰	2	11 菅原悠翔	3				渡辺拓	4
大元貴志	4				阿部航大	2	宇佐見峻佑	4				高橋透真	3
西大星	4				斎藤大夢	3	柳川紗音					本庄優介	4
神奈川県		愛媛県				島根県		徳島県					
選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
6 リビルクリストファー	3				福原丈一朗	2	12 小池千大	4				濱田啓史	2
バトジャルガルムンクジャルガル	3				田中大介	4	池田晃大	5				四宮瑠可	4
奥知久	3				山口怜央	4	松井孝弘	3				相田和哉	3

成年男子団体予選第3回戦対戦表

(東)

(西)

(東)

(西)

13	福岡県 対 愛知県							秋田県 対 大分県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	一ノ瀬 康平	5				杉 本 弘樹	3	児 玉 優翔	4				新 川 大 楽	3
	吉 見 龍之介	4				藤 澤 詩 音	4	佐 藤 貴 規	3				橋 本 幸 一	4
14	山 崎 栄	3				北 野 泰 聖	4	平 野 鳩 人	4				江 田 基 騎	初
	岐阜県 対 埼玉県							香川県 対 青森県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	篠 田 虎 汎 朗	初				内 山 翔 太	4	上 原 彰 文	4				谷 内 勝 哉	4
15	松 橋 宙 也	3				田 崎 正 美	初	伊 賀 慎 之 助	2				山 下 渉	4
	田 畑 燐 治 朗	4				小 山 内 力 樹	4	横 田 匠 加	4				長 内 風 道	3
	宮城県 対 大阪府							北海道 対 佐賀県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
16	佐 藤 総 哉	4				神 藤 輝	3	白 神 嶺 治	3				田 中 裕 隆	4
	後 藤 大 翔	3				岩 見 剛 也	4	横 尾 悠 翔	3				満 上 鳩 悟	3
	加 藤 聖 也	4				城 裕 貴	3	佐 藤 友 輝	4				松 永 周 三	4
	千葉県 対 岡山県							福島県 対 兵庫県						
17	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	三 上 大 輝	4				國 次 晃 輔	3	阿 部 佑 磨	3				井 上 雅 也	2
	成 川 力 哉	2				林 涼 太	2	斎 藤 健	4				三 宅 大	3
	松 永 ジョージ	3				小 野 陽 介	4	薄 勇 樹	4				山 中 新 大	4
18	山梨県 対 鳥取県							新潟県 対 栃木県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	風 間 翔 太					成 田 力 道	2	岡 田 晃 周	4				直 江 重 虎	初
	小 松 亮 太	4				中 島 望	4	長 谷 川 凌 雅	初				西 方 航	4
24	角 田 歩 夢	2				佐 々 木 耕 大	4	寺 尾 拓 真	4				益 子 慎 太 郎	3
	広島県 対 京都府							(最少得点) 対 宮崎県						
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位
	長 尾 光 真	4				青 山 将 志	4						松 本 拓 也	4
24	児 玉 亮	3				山 上 貴 弘							加 藤 順 也	4
	星 野 旭 克	4				高 橋 大 和	3						下 田 大 樹	3

成年男子団体予選勝数得点表

都道府県名	得点			勝 数	得点計	順 位	都道府県名	得点			勝 数	得点計	順 位
	1	2	3					1	2	3			
1 北海道							25 滋賀県						
2 青森県							26 京都府						
3 岩手県							27 大阪府						
4 宮城县							28 兵庫県						
5 秋田県							29 奈良県						
6 山形県							30 和歌山県						
7 福島県							31 鳥取県						
8 茨城県							32 島根県						
9 栃木県							33 岡山县						
10 群馬県							34 広島県						
11 埼玉県							35 山口県						
12 千葉県							36 香川県						
13 東京都							37 徳島県						
14 神奈川県							38 愛媛県						
15 山梨県							39 高知県						
16 新潟県							40 福岡県						
17 長野県							41 佐賀県						
18 富山县							42 長崎県						
19 石川県							43 熊本県						
20 福井県							44 大分県						
21 静岡県							45 宮崎県						
22 愛知県							46 鹿児島県						
23 三重県							47 沖縄県						
24 岐阜県													

団体決勝トーナメント戦進出都道府県実績表

勝 数	得 点	都 道 府 県 名						
3勝	9点							
	8点							
	7点							
	6点							
2勝	7点							
	6点							
	5点							
	4点							

成年男子団体予選同点決勝戦対戦表

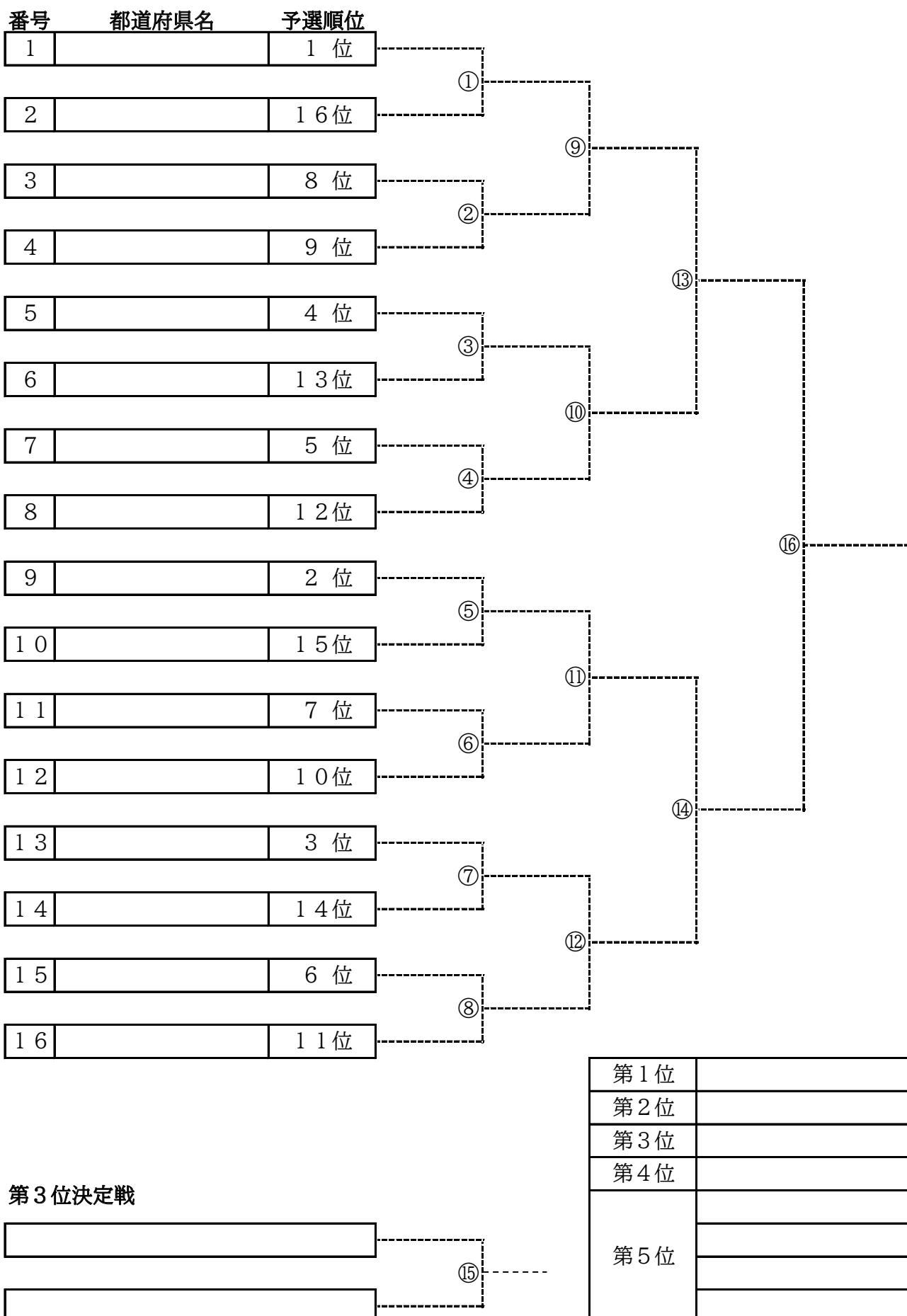
(東)		(西)		(東)		(西)							
1	対						7	対					
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
2	対						8	対					
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	
3	対						9	対					
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	
4	対						10	対					
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	
5	対						11	対					
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	
6	対						12	対					
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	

[MEMO]

第 3 日 目
10月1日(水)

成年男子団体決勝トーナメント戦組合せ表

※抽選終了後の組合せ表を貼付けして下さい。



成年男子団体決勝トーナメント戦対戦表 (第1回戦)

(東)

(西)

第1回戦	①	対					
		選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	②	対					
	③	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
	⑧						

成年男子団体決勝トーナメント戦対戦表
(準々決勝戦～決勝戦)

		(東)						(西)					
準々 決勝戦	1 ⑨	対											
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位						
	2 ⑩	対											
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位						
準決 勝戦	3 ⑪	対											
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位						
	4 ⑫	対											
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位						
第3位 決定戦	1 ⑬	対											
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位						
決勝戦	2 ⑭	対											
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位						
⑮	対												
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位						
⑯	対												
	選手氏名	段位	勝敗	決まり手	勝敗	選手氏名	段位						

成年男子個人決勝トーナメント戦組合せ表

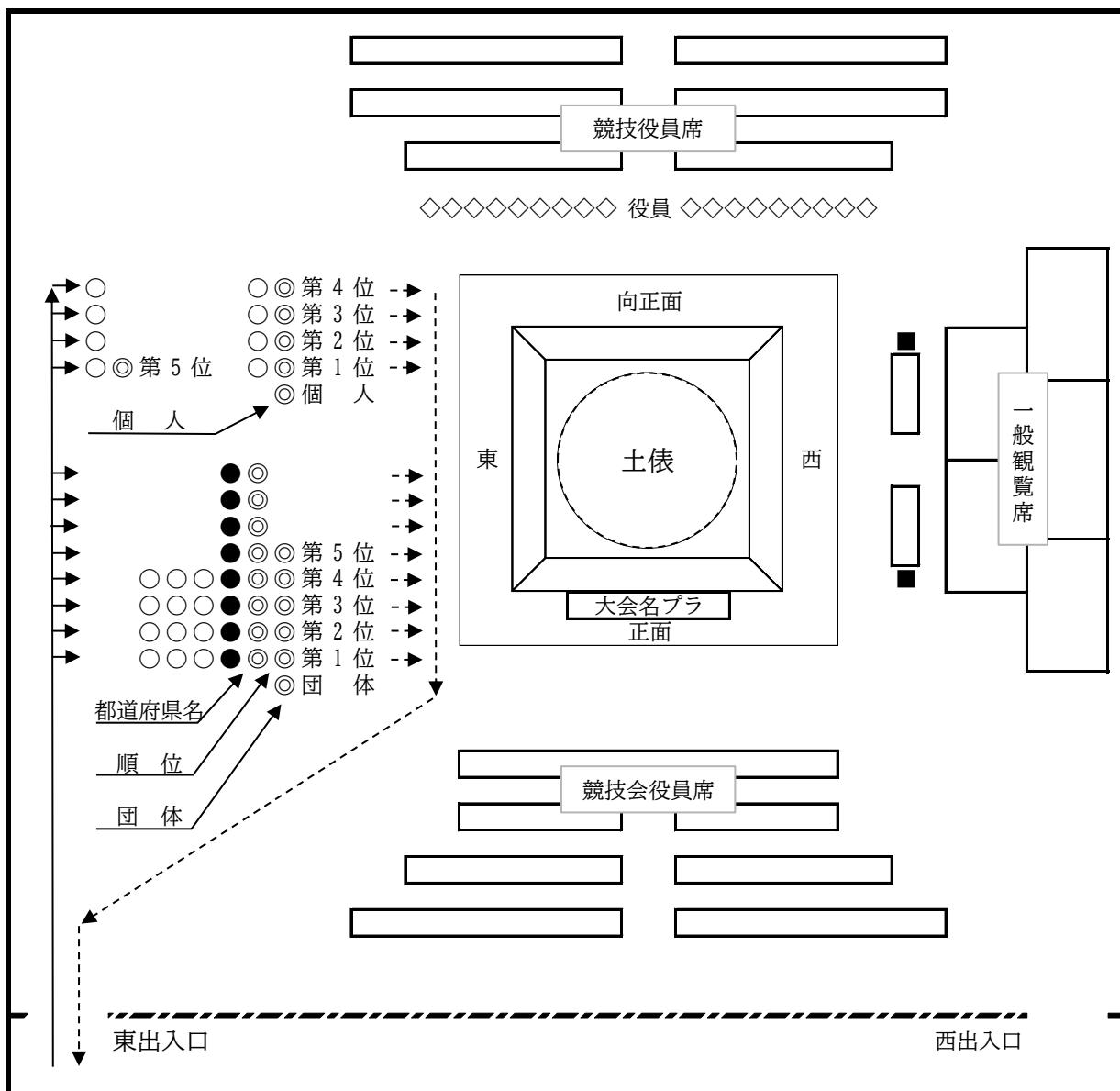
※個人戦抽選終了後、トーナメント表を貼付して下さい。

成年男子表彰式

10月1日（水）11時35分

次	第
<p>[役員・選手団整列]</p> <p>1. 開式通告 2. 成績発表 滋賀県相撲連盟 常任理事 野瀬 信 3. 賞状授与 競技会 会長 豊田 章男</p>	<p>4. 閉式通告 [役員・選手団退場]</p>

選手団配置概要図



※監督は、スリッパを着用する。

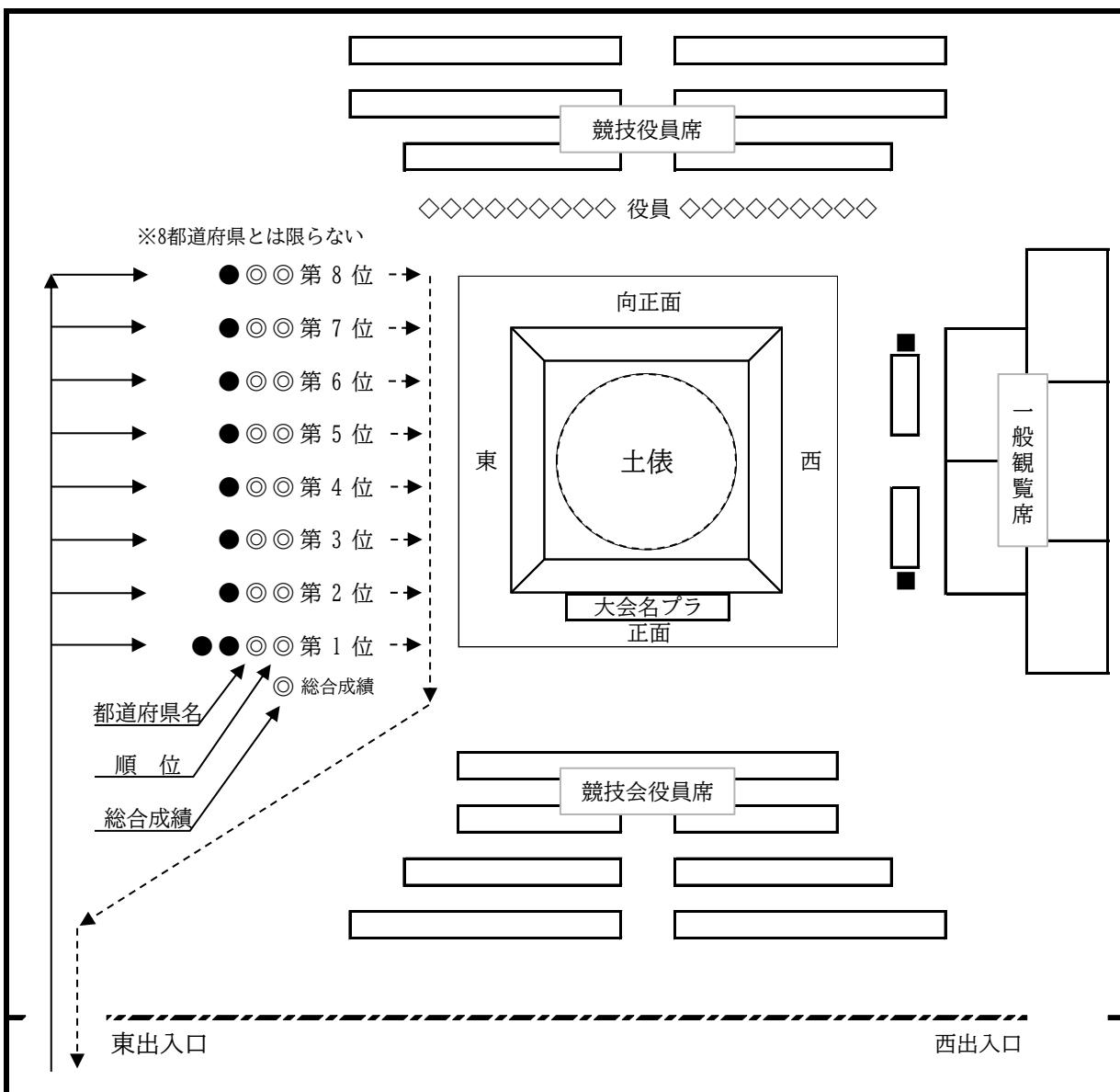
【凡例】 プラカード ◎ 監督 ● 選手 ○ 入場経路 → 退場経路 - - - →

総合表彰式

10月1日（水）12時00分

次	第
[役員・選手団整列]	
1. 開式通告	6. 歓送のことば わたSHIGA輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会 会長（長浜市長） 浅見宣義
2. 成績発表 競技会 総務委員長 木崎 孝之助	7. 国旗儀礼、国歌斉唱
3. 表彰状授与 (公財)日本相撲連盟 会長 豊田 章男	8. 大会旗・連盟旗・県旗・市旗儀礼、「若い力」斉唱
4. 大会会長トロフィー授与 (公財)日本相撲連盟 会長 豊田 章男	9. 競技会終了宣言 滋賀県相撲連盟 理事長 辻 久美仁
5. 競技会会長あいさつ (公財)日本相撲連盟 会長 豊田 章男	10. 閉式通告 [役員・選手団退場]

選手団配置概要図



※監督は、スリッパを着用する。

【凡例】 プラカード ◎ 監督 ● 選手 ○ 入場経路 → 退場経路 - - - →

相撲競技成績採点方法

【総合成績決定方法】

総合成績（天皇杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第1位から第8位までを決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1 競技得点

天皇杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子	1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位（4チーム）各7.5点の競技得点を与える。
少 年 男 子	1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位（4チーム）各12.5点の競技得点を与える。

2 参加得点

大会に参加した都道府県に10点を与える。

総合成績（天皇杯得点）得点表

都道府県名 順位・得点	種別		少年男子		成年男子		競技得点合計	参加得点	総合成績（天皇杯得点）	
	順位	競技得点	順位	競技得点	合 計	順位			合 計	順位
1 北海道										
2 青森県										
3 岩手県										
4 宮城县										
5 秋田県										
6 山形県										
7 福島県										
8 茨城県										
9 栃木県										
10 群馬県										
11 埼玉県										
12 千葉県										
13 東京都										
14 神奈川県										
15 山梨県										
16 新潟県										
17 長野県										
18 富山县										
19 石川県										
20 福井県										
21 静岡県										
22 愛知県										
23 三重県										
24 岐阜県										
25 滋賀県										
26 京都府										
27 大阪府										
28 兵庫県										
29 奈良県										
30 和歌山县										
31 鳥取県										
32 島根県										
33 岡山县										
34 広島県										
35 山口県										
36 香川県										
37 徳島県										
38 愛媛県										
39 高知県										
40 福岡県										
41 佐賀県										
42 長崎県										
43 熊本県										
44 大分県										
45 宮崎県										
46 鹿児島県										
47 沖縄県										

栄光の記録

これまでの競技開催地

回	年次	開 催 地	
1	昭21	奈 良 県	橿 原 町
2	昭22	石 川 県	七 尾 市
3	昭23	福 岡 県	太 宰 府 町
			直 方 市
4	昭24	東 京 都	昭 和 町
5	昭25	愛 知 県	津 島 市
6	昭26	広 島 県	三 原 市
7	昭27	福 島 県	福 島 市
8	昭28	高 知 県	高 知 市
9	昭29	北 海 道	札 幌 市
10	昭30	神 奈 川 県	川 崎 市
11	昭31	兵 庫 県	尼 崎 市
12	昭32	静 岡 県	大 仁 町
13	昭33	富 山 県	高 岡 市
14	昭34	東 京 都	靖 国 神 社
15	昭35	熊 本 県	水 俣 市
16	昭36	秋 田 県	湯 沢 市
17	昭37	岡 山 県	総 社 市
18	昭38	山 口 県	長 門 市
19	昭39	新 鴻 県	新 鴻 市
20	昭40	岐 阜 県	八 幡 町
21	昭41	大 分 県	宇 佐 町
22	昭42	埼 玉 県	蕨 市
23	昭43	福 井 県	大 野 市
24	昭44	長 崎 県	平 戸 市
25	昭45	岩 手 県	淨 法 寺 町
26	昭46	和 歌 山 県	和 歌 山 市
27	昭47	鹿 児 島 県	串 木 野 市
特	昭48	沖 繩 県	糸 滿 市
28	昭48	千 葉 県	八 千 代 市
29	昭49	茨 城 県	那 珂 湊 市
30	昭50	三 重 県	鳥 羽 市
31	昭51	佐 賀 県	有 田 町
32	昭52	青 森 県	十 和 田 市
33	昭53	長 野 県	木 曽 福 島 町
34	昭54	宮 崎 県	高 崎 町
35	昭55	栃 木 県	黒 羽 町
36	昭56	滋 賀 県	日 野 町
37	昭57	島 根 県	掛 合 町
38	昭58	群 馬 県	桐 生 市
39	昭59	奈 良 県	都 祐 村

回	年次	開 催 地	
40	昭60	鳥 取 県	東 伯 町
41	昭61	山 梨 県	忍 野 村
42	昭62	沖 繩 県	名 護 市
43	昭63	京 都 府	京 都 市
44	平元	北 海 道	夕 張 市
45	平2	福 岡 県	志 免 町
46	平3	石 川 県	穴 水 町
47	平4	山 形 県	鶴 岡 市
48	平5	徳 島 県	石 井 町
49	平6	愛 知 県	刈 谷 市
50	平7	福 島 県	原 町 市
51	平8	広 島 県	竹 原 市
52	平9	大 阪 府	堺 市
53	平10	神 奈 川 県	三 浦 市
54	平11	熊 本 県	宇 土 市
55	平12	富 山 県	大 門 町
56	平13	宮 城 県	栗 駒 町
57	平14	高 知 県	室 戸 市
58	平15	静 岡 県	焼 津 市
59	平16	埼 玉 県	草 加 市
60	平17	岡 山 県	和 気 町
61	平18	兵 庫 県	南 あ わ じ 市
62	平19	秋 田 県	潟 上 市
63	平20	大 分 県	宇 佐 市
64	平21	新 鴻 県	村 上 市
65	平22	千 葉 県	木 更 津 市
66	平23	山 口 県	下 関 市
67	平24	岐 阜 県	郡 上 市
68	平25	東 京 都	大 島 町
69	平26	長 崎 県	平 戸 市
70	平27	和 歌 山 県	和 歌 山 市
71	平28	岩 手 県	八 幡 平 市
72	平29	愛 媛 県	西 予 市
73	平30	福 井 県	大 野 市
74	令元	茨 城 県	土 浦 市
75	令2	中 止	—
76	令3	中 止	—
77	令4	栃 木 県	大 田 原 市
特別	令5	鹿 児 島 県	奄 美 市
78	令6	佐 賀 県	玄 海 町
79	令7	滋 賀 県	長 浜 市

栄光の総合成績優秀団体

回	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1	制	度	な	し	
2	東京都	大阪府	京都府	石川県	兵庫県
3	北海道	長崎県	青森県 高知県	-	新潟県
4	兵庫県	青森県	北海道	大阪府	石川県 山口県 福岡県
5	高知県	兵庫県	北海道	青森県 愛知県	-
6	北海道	福岡県	長崎県	高知県 秋田県	岩手県
7	北海道	青森県	新潟県	岩手県 愛知県	-
8	北海道	東京都	高知県	兵庫県	愛知県 和歌山県
9	兵庫県	東京都	愛知県	青森県 和歌山県	-
10	北海道	愛知県	兵庫県	石川県	福岡県
11	兵庫県	北海道	長崎県	千葉県	高知県
12	高知県	兵庫県	北海道	大阪府	愛媛県
13	東京都	福岡県	北海道	愛知県	兵庫県
14	東京都	兵庫県	秋田県	福岡県	北海道
15	福岡県	北海道	東京都	徳島県	兵庫県
16	東京都	北海道	兵庫県	秋田県 愛知県 福岡県	-
17	東京都	青森県	和歌山県	大阪府 高知県	-
18	高知県	秋田県	北海道 青森県 東京都	-	-
19	東京都	青森県	新潟県	大阪府 高知県 福岡県	-
20	高知県	兵庫県	大阪府	神奈川県	東京都 大分県
21	和歌山県	福岡県	青森県	大分県	長崎県
22	高知県	埼玉県	東京都	和歌山県 兵庫県	-
23	福岡県	福井県	青森県 愛知県	-	東京都 兵庫県 高知県 長崎県
24	高知県	宮城県	福岡県	石川県	青森県 長崎県
25	岩手県	福岡県	和歌山県	青森県 東京都 新潟県 長崎県	-
26	和歌山県	愛知県 福岡県	-	青森県	埼玉県
27	愛知県 高知県	-	和歌山県	鹿児島県	福島県 沖縄県
28	和歌山県	高知県	千葉県	福井県	東京都
29	和歌山県	高知県	東京都	長崎県 鹿児島県	-
30	青森県	和歌山県	愛知県	三重県	鹿児島県
31	青森県	東京都	鹿児島県	石川県 高知県	-
32	青森県	静岡県	東京都	福岡県	秋田県 和歌山県
33	青森県	和歌山県	東京都	石川県	埼玉県 愛知県
34	青森県	鹿児島県	東京都	和歌山県	高知県 福岡県

回	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
35	高知県	東京都	和歌山県	千葉県	秋田県
36	青森県	和歌山県	東京都	愛知県	千葉県
37	高知県	東京都 滋賀県	-	熊本県	鹿児島県
38	和歌山県	青森県 東京都	-	群馬県	埼玉県 石川県
39	東京都 鹿児島県	-	和歌山県	石川県	青森県
40	東京都 石川県	-	青森県 岩手県 和歌山県	-	-
41	青森県	兵庫県	千葉県 石川県	-	埼玉県 東京都
42	青森県	山梨県 和歌山県	-	熊本県 鹿児島県 沖縄県	-
43	大阪府	青森県	和歌山県 鹿児島県	-	東京都
44	青森県	和歌山県	岩手県 石川県	-	熊本県
45	東京都	青森県	京都府	千葉県 高知県	-
46	石川県	青森県	埼玉県	高知県	千葉県 東京都
47	石川県	山形県	青森県	東京都	埼玉県
48	青森県	千葉県	大阪府	徳島県	秋田県
49	愛知県	青森県	秋田県 石川県	-	京都府
50	鹿児島県	大分県	岩手県	秋田県 和歌山県	-
51	熊本県	青森県	京都府	秋田県	山形県
52	青森県	高知県 秋田県	-	岩手県	熊本県
53	青森県	熊本県	和歌山県	岩手県	鹿児島県
54	青森県	熊本県	秋田県	和歌山県	鳥取県 東京都
55	大分県	鳥取県	高知県	富山県	埼玉県 東京都
56	高知県 熊本県	-	石川県	埼玉県 大分県	-
57	石川県	埼玉県	青森県 福岡県	-	熊本県 大分県
58	埼玉県	青森県	和歌山県	高知県	鹿児島県
59	青森県	埼玉県	高知県	大分県	鳥取県
60	鳥取県	熊本県	青森県	秋田県	群馬県
61	鳥取県	埼玉県	兵庫県	青森県	石川県
62	埼玉県	石川県	青森県	熊本県	兵庫県
63	石川県	鳥取県	埼玉県	茨城県	熊本県
64	石川県	鳥取県	青森県	埼玉県	京都府
65	石川県	埼玉県	新潟県	富山県	千葉県
66	鳥取県	石川県	埼玉県	和歌山県	秋田県
67	石川県	埼玉県	秋田県	千葉県	和歌山県
68	鳥取県	新潟県	石川県	青森県	熊本県
69	石川県	秋田県	鳥取県	埼玉県	長崎県
70	石川県	埼玉県	東京都	秋田県	富山県
71	愛媛県	埼玉県	青森県	福岡県	新潟県
72	熊本県	埼玉県	新潟県	愛媛県	千葉県
73	埼玉県	神奈川県	鳥取県	愛媛県	富山県
74	熊本県	鳥取県	和歌山県	静岡県	新潟県
75	-	-	-	-	-
76	-	-	-	-	-
77	鳥取県	富山県	和歌山県	埼玉県	静岡県
78	鳥取県	和歌山県	鹿児島県	熊本県	千葉県

栄えある勝者

種別 少年男子

第1回・第2回=中等学校、第3回~第17回=高等学校、第18回~第29回=高等学校男子、
第30回~=少年男子

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位	第2位	
			第3位		第3位	
1	高知県 仙頭 備・武市 壽男・有光 一		秋田県	有光 一	仙頭 備	高知県
			大分県	(高知県)	垣淵 茂男	和歌山県
2	高知県 加納 一明・武市 壽男・仙頭 備		秋田県	仙頭 備	小竹 稔	和歌山県
			北海道	(高知県)	高瀬 黙	北海道
3	北海道 工藤元一郎・平 聖一・北湯口光雄		石川県	平 聖一	川口 音芳	愛媛県
			高知県	(北海道)	原田 哲利	青森県
4	兵庫県 山田 好治・嵯峨 司・小池 輝夫		北海道	大森 茂雄	工藤元一郎	北海道
			青森県	(新潟県)	嵯峨 司	兵庫県
5	高知県 澤田 俊男・前田 隆雄・武田 健一		北海道	越智 政友	小西富士夫	北海道
			和歌山県	(愛媛県)	前田 隆雄	高知県
6	北海道 照井 久見・山口 義明・山口 敏之		福岡県	越智 政友	宮川 忠助	新潟県
			高知県	(兵庫県)	水谷 恒夫	兵庫県
7	北海道 山口 義明・布目 豊・石黒 馨		新潟県	福沢 尚行	釜原 憲二	高知県
			大阪府	(青森県)	布目 豊	北海道
8	和歌山県 東 透・浜野 之・中尾 三郎		高知県	岡田 義行	中尾 三郎	和歌山県
			兵庫県	(徳島県)	米沼 政雄	青森県
9	和歌山県 堀西 久雄・浜野 之・中尾 三郎		徳島県	中尾 三郎	長浜 隆志	秋田県
			兵庫県	(和歌山県)	堀西 久雄	和歌山県
10	高知県 森本 幸雄・岡崎 嘉男・早川 紀夫		鳥取県	早川 紀夫	谷本 英喜	愛媛県
			石川県	(高知県)	大塚 範	大分県
11	高知県 島崎 正隆・横山 鉄也・早川 紀夫		兵庫県	相沢 勉	早川 紀夫	高知県
			北海道	(山形県)	荒木 孝	北海道
12	和歌山県 北山 中・岡本 定範・開 健次郎		高知県	友景 通忠	平野 孝行	徳島県
			大阪府	(山口県)	岡崎 憲史	高知県
13	愛知県 村田 繁元・神谷 静・近藤 正勝		高知県	近藤 正勝	平野 孝行	徳島県
			石川県	(愛知県)	入福 清志	高知県
14	秋田県 安田 清一・加藤 昭悦・須磨 敏雄・秋川 靖司		福岡県	大澤 康博	久末 正憲	北海道
			北海道	(石川県)	新保 茂	福岡県
15	東京都 堀口 圭一・滝沢憲太郎・高羽 基之		徳島県	宮崎 正克	小川 広行	徳島県
			北海道	(愛知県)	高見 利彦	北海道
16	秋田県 庄司 勝男・加藤 強・佐々木三知夫		北海道	佐々木三知夫	堀口 圭一	東京都
			大阪府	(秋田県)	水谷 信也	愛知県
17	青森県 三上 章夫・渋谷 正敏・穀田 忠重		和歌山県	渋谷 正敏	村上 義光	熊本県
			石川県	(青森県)	高羽 基之	東京都
18	青森県 渋谷 正敏・佐々木兼一・河野 敏		高知県	輪島 博	片岡 清	山口県
			愛知県	(石川県)	亀井 博文	和歌山県
19	青森県 佐々木兼一・田中 英壽・河野 敏		秋田県	臼井 仁志	増田 唯雄	北海道
			高知県	(東京都)	松本 茂	東京都
20	大分県 長松 和輝・野仲 功一・一瀬 哲宣		熊本県	竹内 晋崖	山崎 国雄	青森県
			青森県	(愛知県)	内藤 繁澄	兵庫県
21	熊本県 井手 雅視・高松 正博・畠中 賢二・福島 唯雄		和歌山県	畠中 賢二	荒瀬 英生	高知県
			青森県	(熊本県)	川田 広幸	大分県

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位	第2位	
		第3位		第3位		
22	東京都 小杉 正幸・蛇沢 幸一・吉田 守		高知県	中山 国久	荒瀬 英生	高知県
			千葉県	(高知県)	赤嶺 俊雄	沖縄県
23	兵庫県 福田 耕治・松沢 昭夫・田村 広一		石川県	岸田 篤美	山中 一秀	愛知県
			愛知県	(高知県)	田村 広一	兵庫県
24	青森県 市川 弘・一戸 琢哉・野村 双一		三重県	舛田 茂	竹島 末喜	高知県
			石川県	(石川県)	大賀 早志	長崎県
25	青森県 小笠原武則・三浦 武正・斎藤 正則		山形県	石川 孝志	神谷 久秀	東京都
			大分県	(山形県)	小笠原武則	青森県
26	兵庫県 川口 尚・福沢 秀樹・木村 秀人		青森県	国見須賀雄	中熊 誠一	熊本県
			山形県	(高知県)	大水 茂喜	青森県
27	鹿児島県 本白水一郎・花田 安・榎 憲一		愛知県	花田 安	加藤 信一	山形県
			高知県	(鹿児島県)	谷 嗣弘	和歌山県
28	高知県 国見須賀雄・浜田 隆幸・藤沢 和穂		愛知県	平野 展秀	国見須賀雄	高知県
			大分県	(愛知県)	板井 圭介	大分県
29	鹿児島県 花田 安・倉園 一雄・日高 六男		高知県	藤沢 和穂	浜田 隆幸	高知県
			和歌山県	(高知県)	小谷 一美	和歌山県
30	青森県 平館 秀伸・葛西 孝彦・柴田 博喜		鹿児島県	町戸 徹	葛西二三彦	青森県
			千葉県	(高知県)	江橋 弘一	茨城県
31	青森県 平館 秀伸・山崎 幸一・奥谷 公次		東京都	山林 博之	前田 松美	兵庫県
			鹿児島県	(千葉県)	平館 秀伸	青森県
32	静岡県 中村 和弥・中嶋 和男・渡辺 英仁		秋田県	市ノ渡三四四	豊田 吉男	愛知県
			東京都	(青森県)	北館 敬男	岩手県
33	青森県 田中 伸司・小野 誠・杉野森正也		石川県	井上 喜博	西原 清廉	広島県
			和歌山県	(東京都)	杉野森正也	青森県
34	青森県 小野 誠・長谷川正勝・倉内 恒明		鹿児島県	木崎孝之助	城山 徳久	三重県
			高知県	(鹿児島県)	弓削 洋一	鹿児島県
35	東京都 増沢 淳・下路 直・伊藤 敏・西澤 正夫		高知県	岩本 剛	伊藤 晋太	大分県
			秋田県	(奈良県)	中尾 義継	熊本県
36	青森県 青山 直樹・田中 光輝・森山 祐二・渋谷 和彦		東京都	久嶋 啓太	中尾 義継	熊本県
			愛知県	(和歌山県)	秋本 久雄	高知県
37	東京都 島崎 智一・八武崎振一・大川 和彦		鹿児島県	稻葉 昌一	真利 順一	兵庫県
			石川県	(石川県)	赤石 高幸	青森県
38	東京都 橋本 洋・井上 太・八武崎振一		和歌山県	久嶋 啓太	齋藤 一雄	東京都
			石川県	(和歌山県)	山田 道紀	兵庫県
39	東京都 吉田 太一・山本 一馬・柴田 直樹・水梨 勝		青森県	齋藤 一雄	林 正人	和歌山県
			鹿児島県	(東京都)	井上 太	東京都
40	石川県 隼木 至・松井 秀和・片岡 幸博・坂口 豊穂		青森県	伊藤 淳	政川 薫	千葉県
			鹿児島県	(秋田県)	井上 太	東京都
41	兵庫県 森田 章嗣・西田 崇晃・富嶋 義明・坪田 義智		東京都	伊藤 淳	松村 賢一	東京都
			石川県	(秋田県)	真利 伸	兵庫県
42	山梨県 小沢 大輔・庄司 孝宏・平井 秀樹		熊本県	藤本 恵三	花田 勝	東京都
			石川県	(東京都)	栗本 剛	兵庫県
43	石川県 白崎 東洋・大澤 恵介・室谷 弘樹・池澄 孝爾		高知県	白崎 東洋	室谷 弘樹	石川県
			兵庫県	(石川県)	栗本 剛	兵庫県
44	熊本県 下田 正貴・伊藤 辰博・成松由紀夫		青森県	尾曾 武人	加藤 耕市	東京都
			高知県	(茨城県)	山本 敏生	高知県
45	東京都 加藤 耕市・谷村 竜太・中尾 浩規		高知県	柳川 信行	中尾 浩規	東京都
			京都府	(高知県)	加藤 耕市	東京都

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位	第2位	
		第3位		第3位		
46	石川県 出島 武春・浅田 晃秀・後藤 泰一		岩手県 熊本県	出島 武春 (石川県)	柳川 信行 浅田 晃秀	高知県 石川県
47	石川県 園山 智之・梅木 崇行・五百崎 剛		埼玉県 鳥取県	中島 健朗 (熊本県)	沢田 明伸 岡本 篤	青森県 埼玉県
48	青森県 米谷 光貴・小山内貴久・対馬 竜太		埼玉県 東京都	斎藤直飛人 (埼玉県)	西野 豪志 田宮 啓司	埼玉県 鳥取県
49	石川県 五百崎 剛・岡部 新・森山 升		兵庫県 青森県	加藤 精彦 (青森県)	田宮 啓司 高濱 竜郎	鳥取県 熊本県
50	石川県 平野 正人・岡部 新・成田 純哉		大分県 岩手県	岡部 新 (石川県)	福浦 勝 竹内 雅人	兵庫県 茨城県
51	山形県 阿部 智志・小川 貴志 若松 怜・佐藤 望・渡部 俊人		熊本県 秋田県	東井 広行 (福島県)	小笠原史男 萩野 孝生	青森県 高知県
52	高知県 井上 耕寿・中村 護 萩野 孝生・井上 兼一・池浦 亮		石川県 青森県	三好 正人 (大阪府)	下原三四郎 東井 広行	埼玉県 福島県
53	熊本県 内田 水・釣本 利典 白石 信広・谷口 正紀・吉川 晃一		静岡県 青森県	杉田 喜章 (大阪府)	横山 英希 吉川 晃一	岡山県 熊本県
54	鳥取県 井上 俊男・舛田 貴博 石前 辰徳・境澤 賢一・田熊 貴彦		秋田県 埼玉県	渋谷 悟 (秋田県)	垣添 雅俊 井上 俊男	大分県 鳥取県
55	埼玉県 永井 明慶・市原 孝行 奥谷 猛・井上 晋哉・前田 勝		高知県 石川県	菊次 一弘 (高知県)	今林弘一郎 森下 祐哉	山形県 高知県
56	高知県 菊次 一弘・梶原 大樹 石黒 壮児・寺田 洋介・森下 祐哉		鳥取県 青森県	寺下 隆浩 (石川県)	吉田 勝雄 森下 祐哉	熊本県 高知県
57	埼玉県 市原 孝行・澤井豪太郎 奥谷 猛・高山 和典・山本 龍一		青森県 石川県	森下 祐哉 (高知県)	松本 太一 奥谷 猛	高知県 埼玉県
58	埼玉県 深尾 光彦・佐野マービンJr. 佐久間亮太・高山 和典・澤井豪太郎		高知県 愛知県	澤井豪太郎 (埼玉県)	木村 雄 影山雄一郎	鳥取県 高知県
59	埼玉県 佐野マービンJr.・高山 和典 奥谷 荒・宮本 泰成・澤井豪太郎		高知県 青森県	澤井豪太郎 (埼玉県)	坂口 靖幸 伊東 良	石川県 千葉県
60	鳥取県 山口 雅弘・富田 大樹 伊藤 優・ブルグ・オル・金子 竜也		熊本県 埼玉県	村上 良太 (群馬県)	伊藤 優 奥谷 荒	鳥取県 埼玉県
61	兵庫県 川上 和久・李 大源 島子 隆司・増田 鷹輝・橋本 誠也		埼玉県 鳥取県	李 大源 (兵庫県)	佐久間貴之 島子 隆司	埼玉県 兵庫県
62	熊本県 土肥 剛也・園田 純平 江藤 幸長・山本 拓馬・元杉 有成		石川県 埼玉県	山口 雅弘 (鳥取県)	矢鋪光太郎 滝田 真	石川県 三重県
63	石川県 中出 雄真・武田 恭平 川端 翔伍・袖川 智志・遠藤 聖大		埼玉県 茨城県	武田 恭平 (石川県)	滝田 真 中出 雄真	三重県 石川県
64	石川県 川端 翔伍・高木 立太 黒川宗一郎・齋心 大明・中出 雄真		青森県 埼玉県	正代 直也 (熊本県)	黒川宗一郎 高木 立太	石川県 石川県
65	埼玉県 中村 大輝・岩崎 正也 内山 翔太・武政進之助・沢田日出夫		新潟県 石川県	長谷川将臣 (青森県)	橋本 拓実 大道 久司	新潟県 長野県
66	鳥取県 アルタンホヤグ インノロブ・福田秀一郎 木崎 信志・宮下 治也・佐々木耕大		埼玉県 石川県	木崎 信志 (鳥取県)	イチソノロブ 沢田日出夫	鳥取県 埼玉県
67	埼玉県 佐藤 貴信・矢後 太規 藤原虎太郎・名和 闘志・小山内力樹		秋田県 石川県	打越 奎也 (青森県)	トゥルボルト 新保 杏也	鳥取県 青森県
68	鳥取県 永田 健斗・谷本 将成 木崎伸之助・清家 隆志・中島 望		新潟県 青森県	斎藤 学 (青森県)	松永 久志 永田 健斗	新潟県 鳥取県
69	石川県 小原 悠弥・北川 甫 小林 亮太・城山 聖羅・西野 倫理		鳥取県 埼玉県	白石 雅仁 (千葉県)	中嶋 亮介 西野 倫理	愛知県 石川県

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位	第2位	
		第3位		第3位		
70	石川県 佐藤 淳史・重松 龍大 深井 拓斗・干場 伸介・城山 聖羅		埼玉県 東京都	城山 聖羅 (石川県)	田中 大介 間地 良太	愛媛県 大分県
71	埼玉県 西川 登輝・齋藤 大輔 納谷幸之介・宮崎 麗・手計富士紀		愛媛県 青森県	川副 圭太 (熊本県)	高橋 優太 渡辺 拓	新潟県 長野県
72	埼玉県 齋藤 大輔・納谷幸之介 塚原 隆明・春山万太郎・手計富士紀		熊本県 千葉県	納谷幸之介 (埼玉県)	住木 厳太 ビヤンバ・スレン	愛媛県 千葉県
73	埼玉県 春山万太郎・齋藤 大輔 二本柳 亘・新井 有里・神山 龍一		神奈川県 鳥取県	齋藤 大輔 (埼玉県)	神山 龍一 中村 泰輝	埼玉県 新潟県
74	鳥取県 小関 拓道・延原 闘真 向中野真豪・落合 哲也・志戸 俊輔		和歌山県 熊本県	亀井 鳩人 (茨城県)	池田 俊 江連 春樹	石川県 茨城県
75	—		— —	—	— —	— —
76	—		— —	—	— —	— —
77	鳥取県 アルカンゲリル ツリルフー・河本 優聖 成田 力道・成松祐之介・松井奏凪人		富山県 静岡県	成田 力道 (鳥取県)	ソソルフー 成松祐之介	鳥取県 鳥取県
特別	愛媛県 宇野伊央理・福原文一朗 兵頭虎大郎・田中 鳩太・末 知弘		和歌山県 東京都	國次 晃輔 (静岡県)	西出 大毅 齋藤 忠剛	和歌山県 埼玉県
78	鳥取県 西村 和真・加藤 哀翔 小林 梅太・三橋条ノ真・井上 泰我		和歌山県 千葉県	福崎真逢輝 (鹿児島県)	瀧田朔乃介 尾川 蓮太	東京都 熊本県

種別 成年男子

第1回～第34回、第43回～第62回=制度なし

回	団体の部				個人の部			
	第1位 (出場選手)			第2位	第1位		第2位	
		第3位			第3位		第3位	
35	高知県 田中 昭・小島 功士 籠尾賀寿彦・町戸 徹・京馬 和彦		和歌山県 葛西二三彦 千葉県 (青森県)		葛西二三彦 (青森県)	石川 周治 富田 忠典	愛知県 和歌山県	
36	和歌山県 梅田 真吾・関沢 俊文 富田 忠典・浜口 泉・谷 翔弘		青森県 関沢 俊文 東京都 (和歌山県)		関沢 俊文 (和歌山県)	葛西二三彦 大野 俊幸	青森県 千葉県	
37	滋賀県 後河内真澄・阿部 正司 内田 安佳・高塚 進・奥谷 公次		高知県 竹川 裕司 青森県 (山梨県)		竹川 裕司 (山梨県)	葛西 孝彦 葛西二三彦	青森県 青森県	
38	青森県 小林 保秀・小笠原武則 円子 昭浩・葛西 孝彦・葛西二三彦		群馬県 安井 和男 埼玉県 (東京都)		安井 和男 (東京都)	本松 哲浩 葛西二三彦	福岡県 青森県	
39	和歌山県 矢須 渉・谷 翔弘 加藤 信一・橋本 剛・富田 忠典		鹿児島県 竹川 裕司 岩手県 (山梨県)		竹川 裕司 (山梨県)	杉村 隆史 小川 清彦	鳥取県 千葉県	
40	東京都 橋本 洋・島 清次郎 井上 喜博・平館 秀伸・安井 和男		岩手県 井上 喜博 福岡県 (東京都)		井上 喜博 (東京都)	安井 和男 山崎 幸一	東京都 群馬県	
41	青森県 川崎 信二・葛西 孝彦 柳原 清龍・葛西二三彦・田中 光輝		埼玉県 柳原 清龍 千葉県 (青森県)		柳原 清龍 (青森県)	安井 和男 井上 喜博	東京都 東京都	
42	和歌山県 矢須 渉・川島 強 福本 欣弘・橋本 剛・富田 忠典		鹿児島県 伊東 勝人 青森県 (大阪府)		伊東 勝人 (大阪府)	井上 喜博 山崎 幸一	東京都 群馬県	
63	鳥取県 山口 雅弘・石前 辰徳 レツエンドルフ・ガントウクス		石川県 宮本 泰成 大阪府 (兵庫県)		宮本 泰成 (兵庫県)	手島 進吾 松永六十四	京都府 長崎県	
64	鳥取県 山口 雅弘・石前 辰徳 レツエンドルフ・ガントウクス		長崎県 森本 太良 石川県 (奈良県)		森本 太良 (奈良県)	富田 貴男 坂下 昭徳	青森県 石川県	
65	石川県 坂下 昭徳・荒木関賢悟 武田 恭平		熊本県 明月院秀政 富山県 (東京都)		明月院秀政 (東京都)	坂本 昭文 薄 勇樹	大分県 福島県	
66	富山県 堀 篤史・谷村 優一 黒川宗一郎		大分県 山口 雅弘 和歌山県 (鳥取県)		山口 雅弘 (鳥取県)	中村 優太 荒木関賢悟	山口県 石川県	
67	石川県 荒木関賢悟・遠藤 聖大 坂下 昭徳		和歌山県 遠藤 聖大 岐阜県 (石川県)		遠藤 聖大 (石川県)	荒木関賢悟 安田 竜浩	石川県 岐阜県	
68	長崎県 野口 清之・松永六十四 高橋 修		石川県 中村 大輝 大分県 (東京都)		中村 大輝 (東京都)	高田 在秀 松永 昭久	大分県 東京都	
69	長崎県 野口 清之・松永六十四 高橋 修		富山県 荒木関賢悟 秋田県 (石川県)		荒木関賢悟 (石川県)	黒川宗一郎 吉田 勝雄	富山県 熊本県	
70	富山県 石橋 広暉・堀 篤史 黒川宗一郎		石川県 黒川宗一郎 長崎県 (富山県)		黒川宗一郎 (富山県)	森本 太良 橋本 拓実	和歌山県 新潟県	
71	新潟県 村山 大洋・橋本 拓実 三輪 隼斗		三重県 西郷 智博 愛媛県 (鳥取県)		西郷 智博 (鳥取県)	城山 聖羅 村田 亮	三重県 石川県	
72	新潟県 村山 大洋・佐藤 崇 三輪 隼斗		和歌山県 城山 聖羅 愛媛県 (三重県)		城山 聖羅 (三重県)	宮下 治也 西郷 智博	福井県 鳥取県	
73	新潟県 村山 大洋・高橋 優太 三輪 隼斗		三重県 城山 聖羅 石川県 (三重県)		城山 聖羅 (三重県)	宮下 治也 西野 倫理	福井県 石川県	
74	新潟県 村山 大洋・中村 泰輝 三輪 隼斗		青森県 中村 泰輝 熊本県 (新潟県)		中村 泰輝 (新潟県)	久保 裕 黒川宗一郎	青森県 富山県	
75	—		—		—	—	—	
76	—		—		—	—	—	
77	新潟県 村山 大洋・中村 泰輝 三輪 隼斗		長崎県 中村 泰輝 埼玉県 (新潟県)		中村 泰輝 (新潟県)	松園 大成 石崎 涼馬	長崎県 高知県	
特別	鳥取県 アルタングレル ツヅルワ・中島 望 松井奏凪人		石川県 川渕 一意 長崎県 (石川県)		川渕 一意 (石川県)	草野 直哉 古川 晴貴	熊本県 熊本県	
78	石川県 池田 俊・大森 康弘 三輪 隼斗		鹿児島県 大森 康弘 熊本県 (石川県)		鹿児島県 大森 康弘 (石川県)	花岡 真生 行徳 康祐	熊本県 東京都	

【以下、実施していない種別】

種別 成年男子B

第1回～第42回＝制度なし、第43回～第50回＝成年男子1部B、第51回～第62回＝成年男子B、第63回～＝制度なし

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位	第2位	第3位
		第3位			第3位	
43	鹿児島県 嘉野 貴文・日高 功省・慶永 建吾		沖縄県 大阪府	木崎 智久 (沖縄県)	大西 成志 田中 光輝	大阪府 青森県
44	青森県 風張 隆弘・駒井 正義・葛西二三彦		山口県 和歌山県	矢須 渉 (和歌山県)	成松 伸哉 加々美裕司	山口県 山梨県
45	青森県 駒井 正義・風張 隆弘・田中 光輝		沖縄県 山梨県	木崎 智久 (沖縄県)	山田 道紀 本田 浩二	埼玉県 熊本県
46	青森県 駒井 正義・風張 隆弘・工藤 幸穂		山形県 山梨県	加々美裕司 (山梨県)	伊藤 淳 禧久 昭広	秋田県 鹿児島県
47	青森県 駒井 正義・石戸谷浩文・田中 光輝		香川県 秋田県	本田 浩二 (熊本県)	岡 淳一 小野 司	山梨県 山形県
48	秋田県 伊藤 善明・児玉 一尚・伊藤 淳		青森県 香川県	渋谷 元張 (徳島県)	向井 達也 本田 浩二	愛知県 熊本県
49	愛知県 向井 達也・下留 友博・板倉 将昭		秋田県 青森県	工藤 幸穂 (青森県)	伊藤 淳 下留 友博	秋田県 愛知県
50	秋田県 児玉 一尚・三沢 靖彦・伊藤 淳		兵庫県 愛知県	田中 英一 (京都府)	江口 末広 工藤 幸穂	奈良県 青森県
51	青森県 藤林 誠治・工藤 幸穂・田中 光輝		大分県 熊本県	田島 大助 (長野県)	江口 末広 高山 正樹	奈良県 京都府
52	秋田県 児玉 一尚・伊藤 淳・館山 孝		大阪府 岩手県	田島 大助 (長野県)	犀藤 和憲 禧久 昭広	富山県 鹿児島県
53	青森県 藤林 誠治・三浦 雅志・対馬 竜太		秋田県 岩手県	対馬 竜太 (青森県)	岸田 光弘 岡 淳一	神奈川県 山梨県
54	青森県 藤林 誠治・相内 崇・対馬 竜太		熊本県 和歌山県	対馬 竜太 (青森県)	北崎 幸洋 浦山 英樹	大分県 富山県
55	岩手県 谷地 勇・越田 正信・小田島哲男		鹿児島県 富山県	鹿児島県 (富山県)	浦山 英樹 越田 正信	富山県 岩手県
56	熊本県 濱田 統司・高濱 寿夫・木村 純		大分県 石川県	五百崎 剛 (石川県)	田中 英一 平野 照二	京都府 長崎県
57	熊本県 北野 貴之・高濱 寿夫・木村 純		福岡県 石川県	池田 真之 (和歌山県)	舘山 孝 田中 英一	秋田県 京都府
58	静岡県 小山 潤・篠原 康治・加藤 耕市		秋田県 石川県	池田 真之 (和歌山県)	五百崎 剛 加藤 耕市	石川県 静岡県
59	青森県 中村 陽仁・外崎 公隆・増田 匠紀		熊本県 千葉県	五百崎 剛 (石川県)	石山 昇 加藤 耕市	新潟県 静岡県
60	鳥取県 レンツエンドルジ・ガントウクス・森 大樹・倉本慎太郎		秋田県 青森県	五百崎 剛 (石川県)	尾上 高志 山上 慶明	千葉県 石川県
61	山口県 室岡 隆広・寺田 洋介・松本 峰和		秋田県 鹿児島県	石山 昇 (新潟県)	浦山 英樹 満留 久摩	富山県 東京都
62	鳥取県 レンツエンドルジ・ガントウクス・森 大樹・倉本慎太郎		青森県 長崎県	日景 清悦 (秋田県)	石山 昇 磯村喜代和	新潟県 大分県

種別 成年男子A

第1回～第42回＝制度なし、第43回～第50回＝成年男子1部A、第51回～第62回＝成年男子A、第63回～＝制度なし

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位		第2位
			第3位			第3位
43	和歌山県 柳原 清龍・橋本 剛・富田 忠典	東京都 青森県	山崎 幸一 (群馬県)	井上 喜博 柳原 清龍	東京都 和歌山県	
44	和歌山県 柳原 清龍・橋本 剛・富田 忠典	石川県 埼玉県	伊東 勝人 (大阪府)	泥谷 哲二 山崎 幸一	東京都 群馬県	
45	東京都 安井 和男・泥谷 哲二・斎藤 一雄	千葉県 群馬県	橋本 剛 (和歌山県)	安井 和男 工藤 幸穂	東京都 青森県	
46	東京都 斎藤 一雄・安井 和男・泥谷 哲二	埼玉県 石川県	斎藤 一雄 (東京都)	吉橋 宏之 高田 亨司	千葉県 北海道	
47	鹿児島県 禧久 昭広・東 伸哉・重村 一人	東京都 石川県	斎藤 一雄 (東京都)	松本 司和 政川 薫	石川県 千葉県	
48	千葉県 政川 薫・吉橋 宏之・角田 昌	大阪府 山梨県	松本 司和 (石川県)	小松 宣人 泥谷 哲二	山梨県 東京都	
49	千葉県 角田 昌・吉橋 宏之・政川 薫	鹿児島県 京都府	大森 義一 (大分県)	伊東 勝人 吉橋 宏之	大阪府 千葉県	
50	和歌山県 細川 猛志・矢須 直・矢須 渉	東京都 京都府	真利 伸 (兵庫県)	本田 浩二 政川 薫	熊本県 千葉県	
51	京都府 伊藤 晋太・吉岡 圭文・隼木 至	和歌山県 青森県	加藤 耕市 (東京都)	中島 健朗 佐藤 真樹	熊本県 東京都	
52	青森県 成田 光彦・豊沢 貴光・対馬 竜太	東京都 岩手県	田宮 啓司 (鳥取県)	成田 光彦 伊東 勝人	青森県 大阪府	
53	青森県 成田 光彦・小山内貴久・工藤 幸穂	和歌山県 熊本県	田宮 啓司 (鳥取県)	高濱 寿夫 高濱 竜郎	熊本県 熊本県	
54	東京都 佐藤 真樹・小松 勝彦・加藤 耕市	青森県 熊本県	浅田 晃秀 (和歌山県)	中島 健朗 垣添 徹	熊本県 大分県	
55	東京都 佐藤 真樹・小松 勝彦・加藤 耕市	大分県 鳥取県	垣添 徹 (大分県)	加藤 耕市 石山 昇	東京都 新潟県	
56	和歌山県 矢須 直・高岡 鉄也・浅田 晃秀	埼玉県 石川県	成田 旭 (秋田県)	川崎 義富 森下 勤勉	滋賀県 富山県	
57	大分県 大西 雅継・坂本 昭文・山崎 仁	和歌山県 埼玉県	内田 水 (熊本県)	里山 浩作 矢島 健一	鹿児島県 埼玉県	
58	青森県 小笠原史男・富田 貴男・黒滝 有志	和歌山県 東京都	中野 一成 (石川県)	横山 英希 梅木 崇行	岡山県 埼玉県	
59	埼玉県 矢島 健一・渋谷 悟・梅木 崇行	大分県 青森県	坂本 昭文 (大分県)	梅木 崇行 前田 祯	埼玉県 大阪府	
60	青森県 田中 大陽・富田 貴男・小笠原史男	鳥取県 和歌山県	下田 圭将 (長崎県)	松谷 裕也 坂本 昭文	大分県 大分県	
61	鳥取県 井上 俊男・石前 辰徳・森 友樹	青森県 埼玉県	市原 孝行 (埼玉県)	森下 祐哉 白取 貴友	高知県 北海道	
62	埼玉県 矢島 健一・高山 和典・梅木 崇行	兵庫県 大分県	渋谷 悟 (秋田県)	吉田 勝雄 宮本 泰成	熊本県 兵庫県	

種別 大学・高専

第1回～第3回=大学・高専、第5回=大学、第4回・第6回～=制度なし

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位	第2位	
		第3位		第3位	第3位	
1	関西学院大 中津 嘉和・北村彌三郎 中村 富次・田中 進・奥山 一雄		紅陵大	中村 富次	吉井朋一郎	紅陵大
			早稲田大	(関学大)	山崎 明男	東農大
2	紅陵大 早稲田 悟・古味 盛義 一嶋 利男・黒川 修一・吉井朋一郎		明治大	吉井朋一郎	平田 信一	日本大
			大阪専門	(紅陵大)	有光 一	関学大
3	関西学院大 北村彌三郎・梅田 芳雄 中津 嘉和・杉本 章・有光 一		東京農大	影山 信雄	本田 三郎	立命大
			中央大	(明治大)	杉本 章	関学大
5	中央大 高瀬 黙・平 聖一 大森 茂雄・堀松 英明・高須 晃・三ヶ森琢治		明治大	高須 晃	柿原 長七	慶應大
			近畿大	(中央大)	木村 孝	関学大

種別 青年男子

第1回・第4回～第6回・第30回・第35回～=制度なし、第2回・第3回・第7回～第17回=青年、
第18回～第29回・第31回～第34回=青年男子、第11回～第14回=個人戦のみ

回	団体の部			個人の部			
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位	第2位		
		第3位		第3位	第3位		
2	高知県 野村 漢・田村 和夫・橋本 隆		兵庫県	小川 守男	橋本 隆	高知県	
			青森県	(徳島県)	水澤 昇	秋田県	
3	青森県 岩淵 岩男・宮本定五郎・一戸勘次郎		高知県	吉村 道明	中澤祐三郎	新潟県	
			大分県	(愛知県)	藪根栄二郎	兵庫県	
7	青森県 芳賀 和昭・宮本定五郎・山中 孫一		新潟県	木村 孝	濱川 正	岩手県	
			兵庫県	(兵庫県)	宮本定五郎	青森県	
8	東京都 岸田 智明・佐貫 棟造・塘田 泰助		北海道	仲谷 輝美	渡辺 義雄	北海道	
			高知県	(大分県)	林 友喜	高知県	
9	青森県 金田 義美・宮本定五郎・芳賀 和昭		兵庫県	大森 茂雄	福田 芳郎	兵庫県	
			大阪府	(兵庫県)	芳賀 和昭	青森県	
10	北海道 今 勝雄・野崎 次郎・青田 秀雄		愛知県	芳賀 和昭	中川 源一	大阪府	
			新潟県	(青森県)	田畠外志雄	石川県	
11	一般種別の先鋒と二陣を青年選手で編成。			川村 幸作	森下総五郎	高知県	
12				(高知県)	野崎 次郎	北海道	
13				佐々木博志	鈴木 福治	神奈川県	
14				(山口県)	赤崎 如彦	福岡県	
15				宮本 正憲	兵頭日出男	愛媛県	
16	福岡県 森 和人・酒井 大和・岡野 浩平		(和歌山県)	小野寺久義	宮城県		
17			兵頭日出男	宮本 正憲	和歌山県		
18	秋田県 秋川 靖司・小野 銀逸・加藤 昭悦		(愛媛県)	伊藤 博義	島根県		
			富山県	大森 康雄	岡野 浩平	福岡県	
			北海道	(北海道)	朝岡 黙	兵庫県	
			石川県	岡本 忠	石井 則夫	山形県	
			高知県	(愛媛県)	斎藤 政雄	秋田県	
			東京都	新村 弘	神 久雄	青森県	
			秋田県	(石川県)	平野 照	徳島県	
			大阪府	平野 照	熊本 光祐	佐賀県	
			佐賀県	(徳島県)	新村 弘	石川県	

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位	第2位	
		第3位		第3位		
19	和歌山県 桑原 正之・加藤 強・中島 信吾	千葉県 福岡県	大原 茂彦 (青森県)	小野 銀逸 中林 紀彦	秋田県 大阪府	
20	高知県 森田 明郎・中井 博重・神部 守喜	愛知県 兵庫県	鈴木斌次郎 (秋田県)	秋山 一夫 木下 肇	東京都 神奈川県	
21	青森県 横山 邦彦・長利 政志・工藤三十六・窪田 国勝	福岡県 長崎県	杉山 雅典 (福岡県)	中山 利幸 柿谷 昭雄	和歌山県 広島県	
22	兵庫県 志摩 誠二・山口 嘉秀・寺師 毅俊	福岡県 高知県	杉山 雅典 (福岡県)	佐藤 繁 西宮 義雄	福岡県 山口県	
23	福岡県 杉山 雅典・佐藤 繁・中村 和夫	福井県 奈良県	木下 肇 (高知県)	小関 節宏 斎藤 利光	東京都 新潟県	
24	福岡県 杉山 雅典・大里 修二・中村 和夫	和歌山県 北海道	杉山 雅典 (福岡県)	木下 肇 山口 勇雄	高知県 埼玉県	
25	福岡県 杉山 雅典・大里 修二・中村 和夫	鹿児島県 岩手県	河井 良一 (山形県)	杉山 雅典 福岡 孝	福岡県 福井県	
26	福岡県 永元 藤年・大里 修二・中村 和夫	高知県 鹿児島県	村井 栄 (和歌山県)	鈴木斌次郎 山口 勇雄	秋田県 埼玉県	
27	福島県 今野 清・高木 克巳・益山 吉男・籠谷 春美	和歌山県 高知県	加納 徳蔵 (和歌山県)	相馬 俊二 和田喜代治	愛知県 愛知県	
28	和歌山県 名島 安春・村井 栄・加納 徳蔵	福井県 福岡県	加納 徳蔵 (和歌山県)	村井 栄 京馬 和彦	和歌山県 高知県	
29	福岡県 笠原 弘幸・桑名 昌隆・板井 圭介	和歌山県 高知県	加納 徳蔵 (和歌山県)	新谷 俊郎 村井 栄	石川県 和歌山県	
31	鹿児島県 本白水一郎・下松八重文博・小野 尚	和歌山県 青森県	板井 圭介 (福岡県)	桑名 昌隆 久保 敏夫	福岡県 高知県	
32	青森県 大水 茂喜・鳥谷部繁次郎・相馬 俊二	和歌山県 佐賀県	板井 圭介 (福岡県)	久保 敏夫 西岡 準二	高知県 和歌山県	
33	埼玉県 青木 正弘・内 繁行・青木 義光	和歌山県 茨城県	鳥谷部繁次郎 (青森県)	船長 道利 楠原 秀実	高知県 茨城県	
34	青森県 鳥谷部繁次郎・溝江 勇・木村 清昭	埼玉県 福岡県	楠原 秀実 (茨城県)	木村 清昭 鳥谷部繁次郎	青森県 青森県	

種別 教員男子

第1回～第16回・第35回～=制度なし、第17回=教員、第18回～第34回=教員男子

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位		第2位
			第3位			第3位
17	高知県 山下 洋一・中井 幸増・小松 幹雄	東京都 青森県	今橋 靖刀 (山口県)	中井 幸増 塔尾 武夫	高知県 東京都	
18	高知県 中井 幸増・山下 洋一・竹内 英夫	山口県 新潟県	今橋 靖刀 (山口県)	相本 省一 山下 洋一	山口県 高知県	
19	新潟県 小川 光哉・中野 勝治・金子 孝司	東京都 高知県	村岡 満蔵 (鹿児島県)	三觜 純 山下 洋一	北海道 高知県	
20	高知県 中井 幸増・中川 浄・山下 洋一	大阪府 鹿児島県	村岡 満蔵 (鹿児島県)	今橋 靖刀 三觜 純	山口県 北海道	
21	大分県 藤田 公朗・三上 満雄・吉山 三治	和歌山県 岐阜県	吉山 三治 (大分県)	西村 圭司 三上 満雄	和歌山県 大分県	
22	埼玉県 佐藤 公朗・本田 喜一・青木 浩一・中田 善雄	高知県 大分県	星野 輝雄 (石川県)	布施 充 本田 喜一	岐阜県 埼玉県	
23	長崎県 平野 照・上岡 修久・堀 美奈登	福井県 岐阜県	平野 照 (長崎県)	青木 浩一 荒木関 勉	埼玉県 福井県	
24	宮城県 金子 哲郎・本田 喜一・金子 孝司	福井県 大分県	平野 照 (長崎県)	山内 雅夫 中田 善雄	福井県 埼玉県	
25	長崎県 平野 照・中島 善治・上岡 修久	岩手県 和歌山県	平野 照 (長崎県)	中島 善治 布施 充	長崎県 岐阜県	
26	和歌山県 山崎 博・武田 登・南野 忠昭	埼玉県 長崎県	平野 照 (長崎県)	山崎 博 南野 忠昭	和歌山県 和歌山県	
27	沖縄県 赤嶺 俊雄・儀間 一己・伊禮 正治	和歌山県 鹿児島県	山崎 博 (和歌山県)	中川 浄 武田 登	高知県 和歌山県	
特別	長崎県 平野 照・中島 善治・堀 美奈登	和歌山県 大分県	赤嶺 俊雄 (沖縄県)	平野 照 山崎 博	長崎県 和歌山県	
28	和歌山県 山崎 博・武田 登・関沢 俊文	千葉県 長崎県	山崎 博 (和歌山県)	武田 登 関沢 俊文	和歌山県 和歌山県	
29	和歌山県 上野 一義・関沢 俊文・山崎 博	青森県 茨城県	山崎 博 (和歌山県)	関沢 俊文 一戸 琢哉	和歌山県 青森県	
30	和歌山県 山崎 博・上野 一義・関沢 俊文	岩手県 青森県	関沢 俊文 (和歌山県)	武田 登 赤嶺 俊雄	青森県 沖縄県	
31	青森県 武田 登・市川 弘・小笠原武則	長崎県 高知県	武田 登 (青森県)	平野 照 関沢 俊文	長崎県 和歌山県	
32	青森県 武田 登・市川 弘・小笠原武則	和歌山県 宮城県	小笠原武則 (青森県)	赤嶺 俊雄 市川 弘	沖縄県 青森県	
33	青森県 小笠原武則・武田 登・市川 弘	和歌山県 大分県	小笠原武則 (青森県)	福田 耕治 関沢 俊文	兵庫県 和歌山県	
34	和歌山県 山崎 博・谷 嗣弘・関沢 俊文	青森県 沖縄県	市川 弘 (青森県)	宇田 富晴 小笠原武則	岐阜県 青森県	

種別 一般男子

第1回～第17回=一般、第18回～第34回=一般男子、第35回～=制度なし

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位		第2位
			第3位			第3位
1	長崎県 坂元 政美・前田 定信・吉原 政隆		大阪府 北海道	古塚 良夫 (兵庫県)	泉 仁三郎 大内 勇吾	大阪府 北海道
2	長崎県 喜 成秋・吉原 政隆・坂元 政美		大阪府 静岡県	坂元 政美 (長崎県)	加藤 永吉 菊地庄五郎	青森県 神奈川県
3	長崎県 喜 成秋・吉原 政隆・坂元 政美		新潟県 兵庫県	坂元 政美 (長崎県)	田内貢三郎 白川 興助	高知県 青森県
4	兵庫県 木村 孝・左官 一郎 有光 一・古塚 良夫・杉本 章		青森県 大阪府	坂元 政美 (長崎県)	白川 平治 豊平 悠三	福岡県 東京都
5	兵庫県 左官 一郎・成島 吉光 高田 和男・古塚 良夫・奥山 一雄		青森県 福岡県	平田 信一 (青森県)	宮本定五郎 坂元 政美	青森県 長崎県
6	長崎県 前田 定信・山田 信男 黒田五一郎・明松 福見・久保田郡十郎		福岡県 北海道	影山 信雄 (福岡県)	土井 栄喜 宮本定五郎	北海道 青森県
7	福岡県 影山 信雄・江熊 仁・坂元 政美		大阪府 北海道	坂元 政美 (福岡県)	影山 信雄 小濱 新次	福岡県 神奈川県
8	愛知県 中川甲太郎・吉村 道明・大矢 徳治		北海道 東京都	坂元 政美 (福岡県)	平 聖一 高須 晃	兵庫県 東京都
9	東京都 浅野初太郎・野原 憲治・高須 晃		愛知県 福岡県	井上 孝 (大阪府)	日比野満二 平 聖一	大阪府 兵庫県
10	福岡県 影山 信雄・江熊 仁・坂元 政美		東京都 兵庫県	坂元 政美 (福岡県)	高須 晃 江熊 仁	東京都 福岡県
11	兵庫県 泉 一志・田中 弥一 日比野満二・福田 芳郎・平 聖一		北海道 長崎県	高須 晃 (東京都)	北條 厳 平 聖一	東京都 兵庫県
12	兵庫県 泉 一志・田中 弥一 福田 芳郎・大森 茂雄・平 聖一		北海道 高知県	布目 豊 (東京都)	高須 晃 中澤祐三郎	東京都 新潟県
13	福岡県 谷口 敏治・岡野 浩平 大川 秀行・江熊 仁・坂元 政美		東京都 北海道	平 聖一 (兵庫県)	布目 豊 大森 茂雄	東京都 兵庫県
14	東京都 佐久間義明・水島 康夫 中尾 三郎・高須 晃・布目 豊		兵庫県 青森県	大森 茂雄 (兵庫県)	坂元 政美 平 聖一	福岡県 兵庫県
15	兵庫県 大森 茂雄・浜野 之・平 聖一		福岡県 熊本県	平 聖一 (兵庫県)	布目 豊 石黒 馨	東京都 東京都
16	東京都 佐々木由勝・石黒 馨・布目 豊		熊本県 兵庫県	布目 豊 (東京都)	野見 典展 田畠外志雄	和歌山県 京都府
17	大阪府 荒木 孝・筒井 国男・中川 源一		東京都 和歌山県	布目 豊 (東京都)	野見 典展 梶原 男也	和歌山県 福岡県
18	東京都 佐々木由勝・石黒 馨・布目 豊		福岡県 兵庫県	横山 之 (兵庫県)	田畠外志雄 野見 典展	京都府 和歌山県
19	東京都 佐々木由勝・石黒 馨・布目 豊		大阪府 福岡県	臼井 陽昌 (神奈川県)	岡本 忠 近藤 正勝	愛媛県 新潟県
20	東京都 成田 一成・田中 文三・近藤 正勝		神奈川県 大阪府	中川 源一 (大阪府)	野見 典展 大川 秀行	和歌山県 福岡県
21	福岡県 梶原 男也・大川 秀行・重松 和邦・村田甚之助		愛媛県 神奈川県	野見 典展 (和歌山県)	布目 豊 出口 暢通	大分県 和歌山県

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位	第2位	
		第3位		第3位	第3位	
22	和歌山県 三上 満・出口 暢通・野見 典展・佐野萬瑳義	石川県 埼玉県	臼井 陽昌 (神奈川県)	平野 照 庄司 勝男	長崎県 愛知県	
23	東京都 堀口 圭一・滝沢憲太郎・近藤 正勝・成田 一成	青森県 愛知県	近藤 正勝 (東京都)	堀口 圭一 臼井 陽昌	東京都 神奈川県	
24	高知県 杉本 黙・浜吉 武男・岡本 房男	東京都 石川県	臼井 陽昌 (神奈川県)	山田 進 田中 英壽	岐阜県 東京都	
25	東京都 田中 英壽・堀口 圭一・近藤 正勝・滝沢憲太郎	愛知県 神奈川県	田中 英壽 (東京都)	高見 利彦 山崎 国雄	埼玉県 青森県	
26	愛知県 竹内 晋岸・庄司 勝男・水谷 信也・大崎 泰男	青森県 埼玉県	杉山 雅典 (福岡県)	田中 英壽 松下 宏	東京都 福岡県	
27	愛知県 竹内 晋岸・庄司 勝男・水谷 信也・大崎 泰男	富山県 埼玉県	田中 英壽 (東京都)	高見 利彦 野見 典展	埼玉県 和歌山県	
特別	北海道 荒木 孝・増田 唯雄・村田 剛	福岡県	杉山 雅典	筒井 国男	兵庫県	
		高知県	(福岡県)	松下 宏	福岡県	
28	東京都 田中 英壽・館岡 儀秋・堀口 圭一	埼玉県 和歌山県	井手 雅視 (和歌山県)	田中 英壽 横山 啓一	東京都 高知県	
29	東京都 田中 英壽・館岡 儀秋・堀口 圭一	高知県 神奈川県	杉山 雅典 (福岡県)	柴田 清 竹内 晋岸	岐阜県 愛知県	
30	愛知県 竹内 晋岸・竹島 末喜・竹内 龍作	三重県 静岡県	杉山 雅典 (福岡県)	松下 宏 笹谷 洋三	福岡県 北海道	
31	東京都 籠尾賀寿彦・館岡 儀秋・田中 英壽	高知県 埼玉県	田中 英壽 (東京都)	館岡 儀秋 渡辺浩一郎	東京都 千葉県	
32	東京都 中山 国久・杉内 開吉・田中 英壽	福岡県 青森県	松下 宏 (福岡県)	杉山 雅典 石川 周治	福岡県 三重県	
33	東京都 中山 国久・館岡 儀秋・田中 英壽	愛知県 北海道	田中 英壽 (東京都)	宮川 隆 加藤 信一	石川県 和歌山県	
34	東京都 中山 国久・館岡 儀秋・田中 英壽	和歌山県 愛知県	籠尾賀寿彦 (高知県)	臼井 陽昌 村田 剛	神奈川県 北海道	

種別 成年男子2部

第1回～第42回・第51回～=制度なし

回	団体の部			個人の部		
	第1位 (出場選手)		第2位	第1位		第2位
			第3位			第3位
43	青森県 三上 恒寛・松居 司・前田 勝弘		東京都 岡崎 宏	岡崎 宏	志村 淳哉	大阪府
			大阪府 (高知県)		岡田 典政	大阪府
44	青森県 川村 政則・神 哲也・森 一仁		岩手県 安ヶ平哲男	安ヶ平哲男	川村 政則	青森県
			大阪府 (岩手県)		森 一仁	青森県
45	福岡県 坂本 三男・井上 昌光・柳川 喜正		京都府 長谷川晴重	長谷川晴重	前山 信幸	鹿児島県
			埼玉県 (山形県)		菊地 弘樹	青森県
46	千葉県 岩崎 弘之・角 亨・尾出 和義		石川県 前川 明広	前川 明広	吉倉 満	石川県
			高知県 (石川県)		坂口 豊穂	石川県
47	山形県 小山内忠広・加藤 弘之・岡崎 博		石川県 神 秀樹	神 秀樹	小山内忠広	山形県
			青森県 (青森県)		石川 雅也	高知県
48	千葉県 石塚 淳一・永嶋 友一・浜口 勝		徳島県 玉城 政志	玉城 政志	成田 琢弥	青森県
			大阪府 (香川県)		若田部 豊	大阪府
49	愛知県 田仲 寛人・柏木 克彦・森井 浩徳		高知県 岡本 大作	岡本 大作	田仲 寛人	愛知県
			秋田県 (高知県)		仲宗根 広	沖縄県
50	鹿児島県 友原菊二朗・禧久 祐三・片之坂由隆		千葉県 沖沢 秀一	沖沢 秀一	山蔭 貴輝	福島県
			福島県 (福島県)		島口 広幸	富山県

[MEMO]

会 場 案 内 等

No.	諸 室 名	競技名	第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スボ」 相模競技会	縮 尺	1/600 (A3)
1	競技員席	わたSHIGA輝く国スボ・障スボ	わたSHIGA輝く国スボ・障スボ	図面名	長浜市実行委員会
2	一般観覧席	2025	県民共済ドーム長浜【会場配置図】	作成日	R7.8.22
3	福祉席				
4	次回審判団控席				
5	次々回選手席				
6	大会役員席				
7	報道・観察員席				
8	競技員控所				
9	審判員控所				
10	土俵委員控所				
11	記録本部				
12	抽選所				
13	個人戦出場申込記入所				
14	選手・監督受付				
15	ボランティア受付				
16	実施本部				
17	報道・観察員控所				
18	競技会係員控所				
19	競技会補助員控所				
20	競技補助員控所				
21	更衣室・シャワールーム				
22	弁当交換所				
23	おもてなしコーナー				
24	選手・監督控所				
25	第1選手集合所				
26	第2選手集合所(2箇所)				
27	アップ場				
28	ドリンクコーナー				
29	選手・監督休憩所				
30	役員・観察員・報道員受付				
31	総合案内所				
32	日本相撲連盟控室				
33	救護室				
34	入賞者待機所				
35	写真撮影スポット				
36	近県・滋賀県相撲連盟控室				
37	記録速報室				
38	喫煙所(2ヶ所)				
39	コミ集積所				
40	駐車場係員控所(2ヶ所)				
41	洗濯・乾燥室				
42	一般休憩所				
43	売店				
44	貴重品ロッカー(リターン式)				

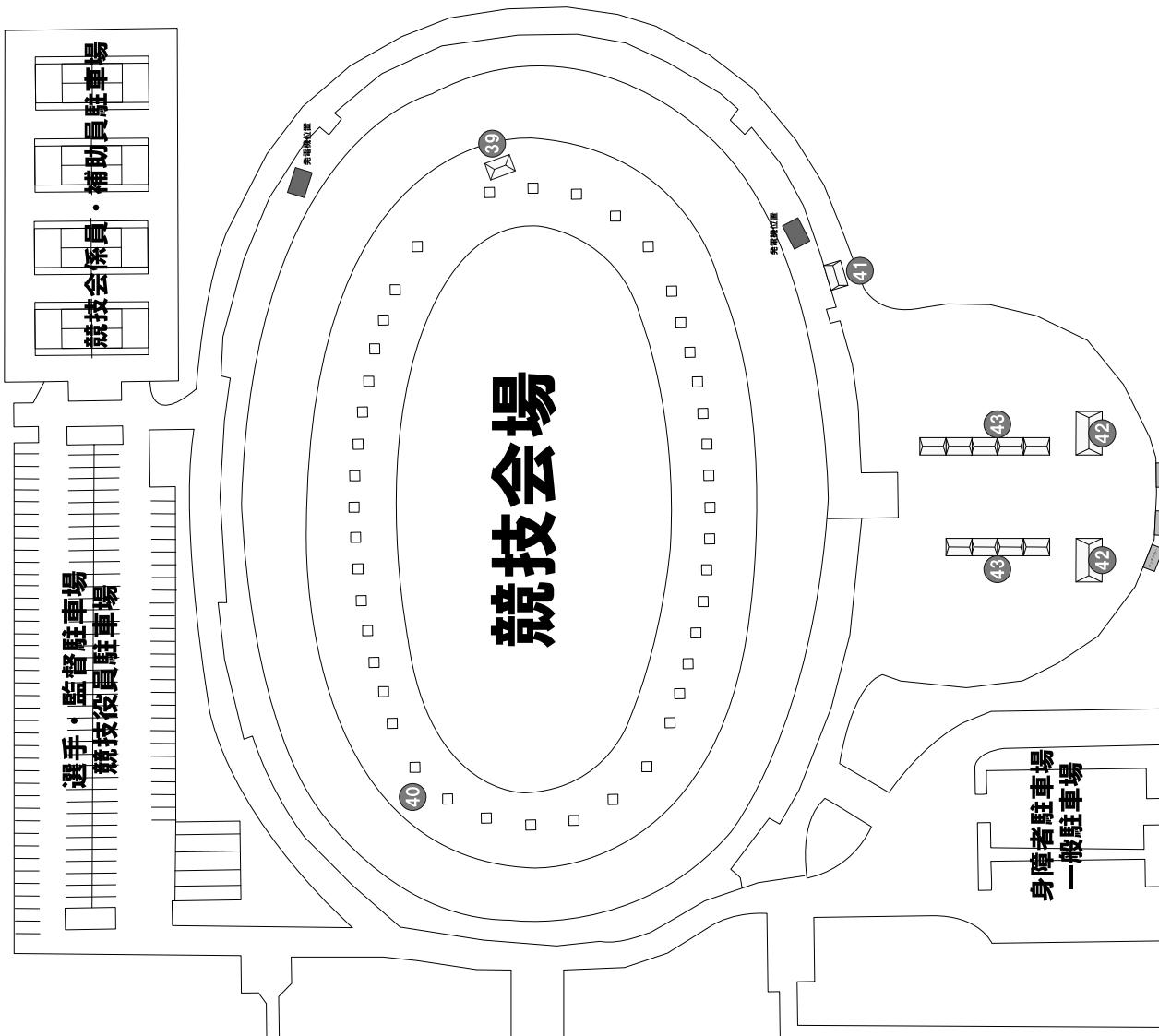


No.	諸 室 名
1	競技後観席
2	一般観客席
3	着地席
4	次回審判団控席
5	次々回選手席
6	大会後観席
7	報道・検索員席
8	競技後員控所
9	審判員控所
10	土俵委員控所
11	記録本部
12	抽選所
13	個人選出場申込記入所
14	選手・監督受付
15	ボランティア受付
16	実施本部
17	報道・検索員控所
18	競技会係員控所
19	競技会補助員控所
20	競技会員控所
21	更衣室・シャワー室
22	弁当引換所
23	おもてなしコーナー
24	選手・監督控所
25	第1選手集合所
26	第2選手集合所(2箇所)
27	アッフ場
28	ハイタッチコーナー
29	選手・監督休憩所
30	役員・検索員・報道員受付
31	総合案内所
32	日本相撲連盟監査室
33	教諭室
34	入管者待機所
35	写真撮影・补水室
36	近県・滋賀県相撲連盟監査室
37	記録更新箱
38	慶應所(2ヶ所)
39	コミ集合所
40	駐車場係員控所(2ヶ所)
41	洗濯・乾燥室
42	一般休憩所
43	売店
44	貴重品ロッカーリターン室

図面名	競技名	第79回国民スポーツ大会「わたしちiga 漢く国スボ」	相撲競技会	縮 尺	1/1000 (A3)
長浜市美行委員会	わたしちiga 漢く国スボ・障入ボ	長浜周辺【会場配置図】	作成日	R7.8.19	
長浜市美行委員会	第79回国民スポーツ大会「わたしちiga 漢く国スボ」	長浜周辺【会場配置図】	作成日	R7.8.19	

第79回国民スポーツ大会「わたしちiga 漢く国スボ」 第24回全国柔道選手権大会

第79回国民スポーツ大会「わたしちiga 漢く国スボ」 第24回全国柔道選手権大会



湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く国スポーツ・
第79回全国高等学校スポーツ大会

競技会場周辺図

● 相撲競技会場

県民共済ドーム長浜（滋賀県立長浜ドーム）

【滋賀県長浜市田村町 1320 番地 TEL : 0749-64-0808】

● 審判・監督会議会場

長浜文化芸術会館

【滋賀県長浜市大島町 37 番地 TEL : 0749-63-7400】



関係機関連絡先一覧

(1) 事務局

名 称	住 所	電話番号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 長浜市実行委員会事務局 (長浜市国スポ・障スポ大会推進室)	長浜市大島町 37 番地 (長浜文化芸術会館内)	0749-65-6303

(2) 審判・監督会議会場

名 称	住 所	電話番号
長浜文化芸術会館	長浜市大島町 37 番地	0749-63-7400

(3) 競技会場

名 称	住 所	電話番号
県民共済ドーム長浜 (滋賀県立長浜ドーム)	長浜市田村町 1320 番地	0749-64-0808

(4) 医療関係

名 称	住 所	電話番号
市立長浜病院	長浜市大戌亥町 313 番地	0749-68-2300
長浜市立湖北病院	長浜市木之本町黒田 1221 番地	0749-82-3315
長浜赤十字病院	長浜市宮前町 14 番 7 号	0749-63-2111

掲載先	URL	QR コード
一般社団法人湖北医師会	https://kohokuishikai.jp/	
医療情報ネット (ナビイ)	https://www.iryou.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2340/initialize	

(5) 警察・消防等

分類	名称	住所	電話番号
警察	長浜警察署	長浜市八幡中山町 300 番地	0749-62-0110
消防	長浜消防署	長浜市平方町 1135 番地	0749-62-9194
保健所	長浜保健所	長浜市平方町 1152 番地 2	0749-65-6660

(6) 公共交通機関

分類	名称	住所	電話番号
鉄道	JR 田村駅	県民共済ドーム長浜から徒歩 8 分	
	JR 長浜駅	長浜駅～田村駅 1 駅区間 (乗車時間 3 分 運賃 150 円)	
タクシー	長浜タクシー(株)	長浜市平方町 318 番地	0749-63-6318
	都タクシー(株) 長浜営業所	長浜市平方町 244 番地	0120-373-385
	(株)さくらタクシー	長浜市末広町 372 番地の 3	0749-63-7600
	近江タクシー(株) 長浜営業所	長浜市西上坂町 128 番地	0749-62-0106
	滋賀中央交通(株)	長浜市内保町 758 番地 4	0749-53-2708
	伊香交通(株)	長浜市木之本町木之本 1545 番地	0749-82-2135

(7) その他

分類	名称	電話番号
配宿	わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ配宿・輸送センター	077-510-1370
輸送	長浜市国スポ輸送・弁当センター	050-8894-7024
斡旋弁当	長浜市国スポ輸送・弁当センター	050-8894-7024

[MEMO]



超えて 伸びる

挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまで、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



Otsuka 大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信



スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『ス ポ ハ ラ （ス ポ ーツ ・ ハ ラ ス メ ン ト ）』 と は ？

「ス ポ ハ ラ （ス ポ ーツ ・ ハ ラ ス メ ン ト ）」 と は 、ス ポ ーツ の 現 場 に お い て 、「 暴 力 」 、 「 暴 言 」 、
「 ハ ラ ス メ ン ト 」 、 「 差 別 」 な ど “ 安 全 ・ 安 心 に ス ポ ーツ を 楽 し ゆ こ と を 壊 す 行 为 ” の こ と で す 。
指 導 者 と 指 導 を 受 け る 者 と の 関 係 のみ な ら ず 、ス ポ ーツ の 現 場 に お け る 関 係 者 の 誰 に も よ っ て も 、
ま た 誰 に 対 し て あ っ て も 、ス ポ ハ ラ は 起 こ り え ます 。



Japanese
Olympic
Committee



『スポハラ』根絶に向けた取組み



JSPO
Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど) に、

みんなが『NO !』と言う社会を目指して



ぼうりょくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口



どなたでもご利用可能!

お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



『スポハラ』根絶に向けた取組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

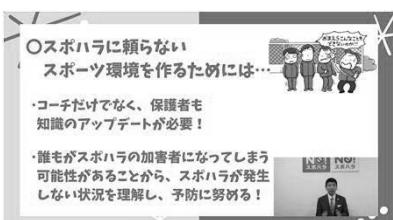


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。

すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。
SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



国スポ・障スポ滋賀2025 大会HP

<https://shiga-sports2025.jp/>



わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ2025 長浜市公式サイト

<https://nagahama-kokusupo2025.jp/>



長浜市公式

Instagram

国スポチャンネル

<https://japangamestv.japan-sports.or.jp/>



【競技記録・速報】インターネット・携帯サイト

開設期間 令和7年9月1日(月)～12月26日(金)

PC・スマホ

<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html>



フィーチャーフォン(ガラケー)

<http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>



国スポの観覧・観戦に関するお問い合わせ

わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

コールセンター TEL:0120-550-882

第79回国民スポーツ大会相撲競技会

わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会事務局

TEL:0749-65-6303

